



取扱説明書

インフォメーションディスプレイ

形名

PN-UN553S

PN-UN553V

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●ご使用前に「安全のために必ず守ること」(2 ページ) を必ずお読みください。

目次

ご使用の前に	1	安全のために必ず守ること	2
--------------	---	--------------------	---

1 章 設置

設置の概要	10	冷却ファン	17
設置	14	壁掛け用や天吊り用として使用する場合	18
取り付け場所について	16	ウォールマウントアダプターの使い方	19
取り付け向きについて	16	オプションボードを使用する場合	20
据付条件	17	別売のリモートコントロールキットを使用する場合	21

2 章 各部の名称

コントロールパネル	23	リモコン	26
ターミナルパネル	24		

3 章 接続

配線図	29	内部映像ソース	33
接続	29	メディアプレーヤー	34
外部ビデオ信号の接続	30	本機で利用できるオプションボード	35
コンピューターとの接続	30	USB 機器との接続	36
HDMI 出力端子のある機器との接続	32		

4 章 基本操作

電源オンモードと電源オフモード	38	ピクチャーモードの切り替え	40
リモコンの使用範囲	39	アスペクト変更	41
パワーマネージメント機能	39	ポイントズーム機能	42
インフォメーション	40	画面調節 (OSD 機能)	43
Plug&Play 機能 (DVI、DisplayPort、HDMI および VGA) ...	40	メディアプレーヤーでできること	45

5 章 高度な操作

電源スケジュールの作成.....	53	パスワードによるセキュリティー.....	68
高度な色補正機能.....	54	ボタン操作のロック.....	69
SPECTRAVIEW ENGINE の使い方.....	54	メディアプレーヤーの設定.....	71
スタンドアローンキャリブレーション.....	58	ネットワークおよびその他設定.....	72
その他のピクチャーモードの使い方.....	61	データコピー機能でUSBストレージデバイスまたは共有フォルダーのデータをコピーする.....	74
マルチ画面モード.....	62	Web viewer でSD-CARD VIEWER を使用する.....	74
PIP (Picture in picture) 機能の親画面と子画面の制限.....	65	他のディスプレイのSD-CARD VIEWER に接続する.....	76
セキュリティー設定とボタン操作のロック.....	67		

6 章 マルチディスプレイ設定

マルチディスプレイ接続.....	78	リモコン ID モード機能について.....	82
映像出力.....	81		

7 章 外部制御

接続インターフェース.....	84	マルチ接続について.....	89
コマンド.....	84	HTTP を使用したブラウザーによるネットワークの設定.....	90
HDMI CEC 対応コマンド.....	86	Web ページを使った OSD メニュー操作.....	91
RS-232C リモートコントロール.....	87	ネットワーク設定.....	92
LAN コントロール.....	88	Proof of Play 機能.....	98

8 章 困ったとき

故障かな?と思ったら.....	100	ディスプレイを長くご使用いただくために.....	105
-----------------	-----	--------------------------	-----

9 章 仕様

PN-UN553S.....	107	PN-UN553V.....	108
----------------	-----	----------------	-----

付録 A 外部のリソース

付録 B OSD 調節リスト

入力.....	111	マルチディスプレイ	124
映像設定	111	保護設定	127
音声設定	117	コントロール	128
スケジュール	118	オプション	133
マルチ入力	120	システム	134
OSD.....	123		

付録 C その他

保証とアフターサービス.....	135
------------------	-----

ご使用の前に

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI — B

⚠ 注意

添付のケーブルを使用してください。

DVI、USB、ミニ D-Sub15 ピンはシールドタイプのケーブルを使用してください。HDMI、DisplayPort、D-Sub 9 ピンはシールドタイプを使用してください。これ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となる場合があります。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

Adobe、Acrobat、Acrobat Reader は、Adobe Inc. (アドビ社) の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。Microsoft、Windows は、マイクロソフトグループの企業の商標です。

DisplayPort および DisplayPort ロゴは、Video Electronics Standards Association の米国その他の国における商標または登録商標です。

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。

PJLink および PJLink ロゴは、一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会の日本、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。

microSD ロゴ、microSDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。

その他の社名および商品名は、各社の商標および登録商標です。

本製品に含まれる GPL/LGPL 等適用ソフトウェアのライセンスについて

本製品には GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL) その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアに関する詳細は、当社 web サイトをご参照ください。

<https://jp.sharp/business/lcd-display/support/download/source.html>

(シャープ GPL 情報公開サイト)

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
- (2) この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。
- (3) 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気付きの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では (3) 項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

お知らせ 液晶ディスプレイに関するご注意

液晶ディスプレイは、精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや常時点灯しているドットが見えることがあります。これは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

HDMI®

安全のために必ず守ること

この取扱説明書に使用している表示と意味は次のようになっています。

誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	 注意	誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
---	--	---	--------------------------------------

図記号の意味は次のとおりです。

	▲ 記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘ 記号はしてはいけないことを表しています。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号はしなければならないことを表しています。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

●ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。



警告

万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜きディスプレイを安全な場所に移動する !!



プラグを抜く

異常のまま使用すると、ディスプレイの落下・火災・感電・火傷の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、ディスプレイを安全な場所に移動させ、販売店に修理をご依頼ください。

地震等での製品の転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止対策をおこなってください。転倒・落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したものです。すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。



使用禁止

故障（画面が映らないなど）や煙、異常な発熱、変な音・においがするときは使わない
火災・感電・火傷の原因となります。



使用禁止

ディスプレイがぐらつく、またはスタンド部にひびや亀裂がある場合は近づかない
お買い上げの販売店か、工事専門業者にご連絡ください。



禁止

傾斜面や不安定な場所に置かない
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。



傷つけ禁止

電源コードを傷つけない
重いものをのせたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったり、折り曲げたまま力を加えたりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。



分解禁止

裏ぶたを外さない
内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因となります。



修理・改造禁止

修理・改造をしない
けが・火災・感電の原因となります。



使用禁止

キャビネットを破損したときは使わない
火災・感電の原因となります。



禁止

異物をいれない
特にお子さまにご注意
火災・感電の原因となります。



禁止

アースリード線を挿入・接触しない
電源プラグのアースリード線を電源コンセントに挿入・接触させると火災・感電の原因となります。



水ぬれ禁止

風呂場や水のかかるところに置かない
水などがディスプレイの内部に入った場合はすぐに本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、故障・火災・感電などの原因となります。

 指示	正しい電源電圧で使用する 指定の電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因となります。 一般のご家庭のコンセント (AC100V) でお使いいただくための電源コードを添付しております。 AC100V 以外で使用しないでください。 本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。
 接触禁止	雷が鳴り出したら、電源コード・アンテナ線などには触れない 雷が鳴り出したら電源コード・アンテナ線には触れないでください。感電の原因となります。
 禁止	ポリ袋で遊ばない 特にお子さまにご注意 本体包装のポリ袋を頭からかぶると窒息の原因となります。
 禁止	液晶を口にしない 液晶パネルが破損し、液晶がもれ出た場合は、液晶を吸い込んだり、飲んだりしないようにしてください。 中毒を起こすおそれがあります。万一口に入ってしまったり、目に入ってしまった場合は、水でゆすいでいただき、医師の診断を受けてください。手や衣類に付いてしまった場合は、アルコールなどでふき取り、水洗いしてください。
 指示	据え付け、取り付けは必ず工事専門業者または販売店にご依頼ください。 工事が不完全ですと、死亡、けがの原因となります。

! 注意

設置のときは次のことをお守りください。

風通しが悪かったり、置き場所によっては、内部に熱がこもり、火災や感電の原因となることがあります。

 設置禁止	布などで通風口をふさがない
 禁止	横倒し、伏せ置き、上下さかさまにしない
 設置禁止	直射日光や熱器具のそばに置かない
 屋外での 使用禁止	屋外での使用禁止 本商品は屋内での使用を想定しています。屋外では使用しないでください。故障の原因となることがあります。
 禁止	液晶パネルに衝撃を加えない 液晶パネル面を硬いものでたたいたりして衝撃を加えないでください。破損してけがや故障の原因となることがあります。 移動する際も、液晶パネルに手などが接触しないようにしてください。
 設置禁止	車載用禁止 車載用など移動用途には使用できません。故障の原因となることがあります。
 禁止	電源コードやケーブル類をつけたまま移動しない 火災・感電の原因となることがあります。電源プラグや機器間の接続をはずしたことを確認のうえ、移動してください。
 禁止	ディスプレイや置き台には乗らない ディスプレイや置き台には乗らないでください。また、キャスター付き置き台にディスプレイを設置する場合は、必ずキャスター止めをしてください。ディスプレイが倒れたり、置き台が動いたりしてけがの原因となることがあります。
 設置禁止	湿気やほこりの多い所、油煙や湯気の当たる所に置かない 温度・湿度が急激に変化する環境で使用しない 結露が起きたときには、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。
 設置禁止	狭い所に置かない

 プラグを持つ	電源プラグを持って抜く コードを引っ張ると傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。
 ぬれ手禁止	ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となることがあります。
 プラグを抜く	お手入れの際は電源プラグを抜く 感電の原因となることがあります。
 抜けかかり禁止  しっかり 差し込んで	電源プラグを奥までさしこむ 電源プラグは奥までしっかりと差し込んでください。 しっかりと差し込まれていないと火災・感電の原因となることがあります。
 プラグを抜く	長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグを抜く
電源コードが容易に抜けるのを防止する 電源コードをディスプレイ本体付属のクランプとネジで固定することで本体の電源入力コネクタから容易に抜けるのを防止することができます。	
本機の使用に十分な電源容量が供給されることを確認する 電源コンセントに本器を接続するときには、使用に十分な電源容量が供給されていることを確認してください。	
 設置禁止	過電圧が加わるおそれのあるネットワークには接続しない 本機のLANポートは、過電圧が加わるおそれのないネットワークに接続してください。LANポートに過電圧が加わると、感電の原因となることがあります。
 アースリード線を 接続せよ	アースリード線を接続する 本機は電源コードのアース端子を大地アースに接続することを前提に設計されているアースつき2芯プラグ機器です。機器の安全確保のため、電源コードのアース接続線を、コンセントのアース端子に接続し、機器のアースを確実にとってご使用ください。アースを接続しないと感電するおそれがあります。アース工事は専門業者にご依頼ください。アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前におこなってください。また、アースを外す場合は、必ず電源コンセントから抜いてからおこなってください。
 通気口の掃除	キャビネットの通気口を掃除する キャビネットの通気口がごみやほこりでふさがると故障の原因となることがあります。1年に一度はキャビネットの通気口を掃除してください。 特に冷却ファンを動作させて使用する場合は、通気口にごみやほこりが付着しやすくなりますので、月に一度以上は、通気口を掃除してください。

 内部掃除	1年に一度は内部掃除を 内部にほこりがたまっただま使用と、火災や故障の原因となることがあります。内部掃除は販売店にご依頼ください。
 ほこりを取る	電源プラグのほこりなどは定期的に取り 火災の原因となることがあります。 1年に一度は電源プラグの定期的な清掃と接続を点検してください。
 使用禁止	推奨の溶剤でお手入れする ベンジンやシンナー、アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、ガラスクリーナー、ワックス、研磨クリーナー、粉石鹸などでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質・ひび割れしたり、塗装がはげる原因となることがあります。(化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。) また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。キャビネットおよびスタンドが変色したり、変質・ひび割れするなどの原因となることがあります。 パネル表面のお手入れに溶剤を使用される場合は水、エタノール、イソプロピルアルコールを推奨いたします。その際は溶剤が残らないようにしてください。推奨以外の溶剤(酸、アルカリ、アセトン等)は使用しないでください。溶剤類や水滴等がディスプレイ内部に入ったり表示面以外のディスプレイ表面に付着すると、商品を破壊するおそれがありますのでご注意ください。

ディスプレイの上手な使い方

 国内専用	日本国内専用です この液晶ディスプレイは日本国内用として製造・販売しています。 日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。 またこの商品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。 For use in Japan only This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.
 プラグを抜く	キャビネットのお手入れ お手入れの際は電源プラグを抜いてください。柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには水でうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。 溶剤をご使用の際は“推奨の溶剤でお手入れする”にて使用できる溶剤をご確認ください。
液晶パネルのお手入れ パネル表面は傷つきやすいので、硬いもので押したりこすったりしないように、取り扱いには十分注意してください。パネル表面は触指などにより汚れることのないようご注意ください。パネル表面が汚れた場合には、乾いた布で軽くふき取ってください。またきれいな布を使用されるとともに、同じ布の繰り返し使用はお避けください。	
上手な見方 明るすぎる部屋は目が疲れます。適度な明るさの中でご使用ください。 また、連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れます。	
部品寿命による影響 保証期間を超えて長くご使用した場合、部品劣化によるリスクが高まりますので、製品の買い替えのご検討をお願いします。	



重要なお知らせ

残像について

残像とは、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る現象ですが、故障ではありません。

残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。

「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えることをおすすめします。

また、ディスプレイを使用しないときは、パワーマネージメント機能(パワーセーブ)やスケジュール機能を使ったり、リモコンや  ボタンを操作してディスプレイを電源待機状態にすることをおすすめします。

1 章 設置

この章の内容：

- ⇒ 設置の概要（10 ページ）
- ⇒ 設置（14 ページ）
- ⇒ 取り付け場所について（16 ページ）
- ⇒ 取り付け向きについて（16 ページ）
- ⇒ 据付条件（17 ページ）
- ⇒ 冷却ファン（17 ページ）
- ⇒ 壁掛け用や天吊り用として使用する場合（18 ページ）
- ⇒ ウォールマウントアダプターの使い方（19 ページ）
- ⇒ オプションボードを使用する場合（20 ページ）
- ⇒ 別売のリモートコントロールキットを使用する場合（21 ページ）

付属品

万一、不足のものがありましたら、販売店にご連絡ください。

- ☐ 本体：1 台
- ☐ 電源コード：1 本
- ☐ HDMI ケーブル：1 本
- ☐ LAN ケーブル：1 本
- ☐ DisplayPort ケーブル：1 本
- ☐ セットアップマニュアル：1 部
- ☐ 保証書：1 部
- ☐ microSD カードスロットカバー：1 個
- ☐ クランプ：1 個
- ☐ ネジ（ワッシャー付き）（M4 × 10）：2 個
- ☐ ウォールマウントアダプター：4 個
- ☐ ウォールマウントアダプターネジ（M6 x 35）：4 個

設置の概要

1. 設置する場所を決める

⚠ 注意

- 設置する前に、本機の電源を入れて表示確認を行ってください。
- 本機の設置は、専門の技術者がおこなってください。
詳しくは販売店へお問い合わせください。
- 本機の移動と設置は、必ず 2 人以上でおこなってください。本機の落下によりけがの原因となることがあります。
- 本機は、温度センサーと、冷却ファン（オプションボード用のものを含む）を内蔵しています。
本機の温度が上昇すると、冷却ファンが自動的に動作します。

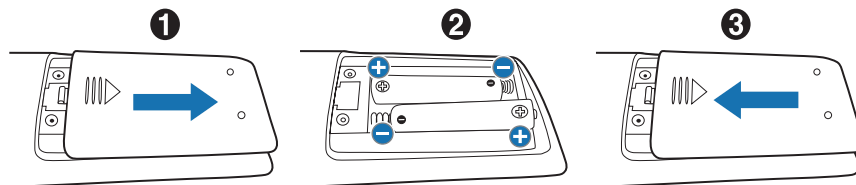
周囲の温度がオプションボードの許容範囲内であっても、オプションボード用の冷却ファンは動作し続けます。冷却ファンが動作しても内部温度が高温になると「警告」が表示されます。「警告」が表示されたら本機の使用を中止して電源を切り、温度が下がるのを待ってください。冷却ファンの動作により本機の早い段階での故障の可能性が減少し、画像の劣化や画面表示が残る「残像」の防止にもつながります。

ケースに入れて設置する場合や複数台並べて設置する場合は、OSD メニューの「内部温度」（127 ページ参照）により本機の内部温度をチェックしてください。周囲温度が本機の動作温度を上回ったときは、OSD メニューの「ファン制御」（127 ページ参照）により冷却ファンを「オン」にしてください。

お知らせ

液晶パネルに引っかき傷を付けないよう、本機の下にマットや毛布など柔らかいものを敷いてディスプレイを置いてください。

2. リモコン（オプション）に電池を入れる



1. カバーを軽く押し下げ、矢印の方向へ押す。
2. 付属の乾電池（単 4 形× 2 本）をリモコンに入れる。
リモコン内部の表示に従って、プラス（+）とマイナス（-）の向きを正しく入れてください。
3. カバーを元に戻す。

⚠ 注意

乾電池は誤った使い方をすると液もれや破裂することがありますので、次の点について特にご注意ください。

- 乾電池のプラス $\oplus$ とマイナス $\ominus$ を、表示のとおり正しく入れてください。
- 乾電池は種類によって特性が異なりますので、種類の違う乾電池は混ぜて使用しないでください。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
新しい乾電池の寿命を短くしたり、また、古い乾電池から液がもれるおそれがあります。
- 乾電池が使えなくなったら、液がもれて故障の原因となるおそれがありますのですぐ取り出してください。
また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。

お知らせ

- リモコン（オプション）に付属の乾電池は保存状態により短時間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長時間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出して保管してください。

3. 外部機器を接続する

- 接続する外部機器を保護するため、接続の際には主電源を切ってください。
- 接続する機器のそれぞれの取扱説明書に従って接続してください。

お願い

本機または外部機器の主電源がオンの場合、ケーブルの抜き差しはおこなわないでください。

4. 電源を接続する

⚠ 注意

電源コンセントに接続するときは、本体の使用に十分な電源容量が供給されることを確認してください。電源容量は「仕様」を参照ください。

お願い

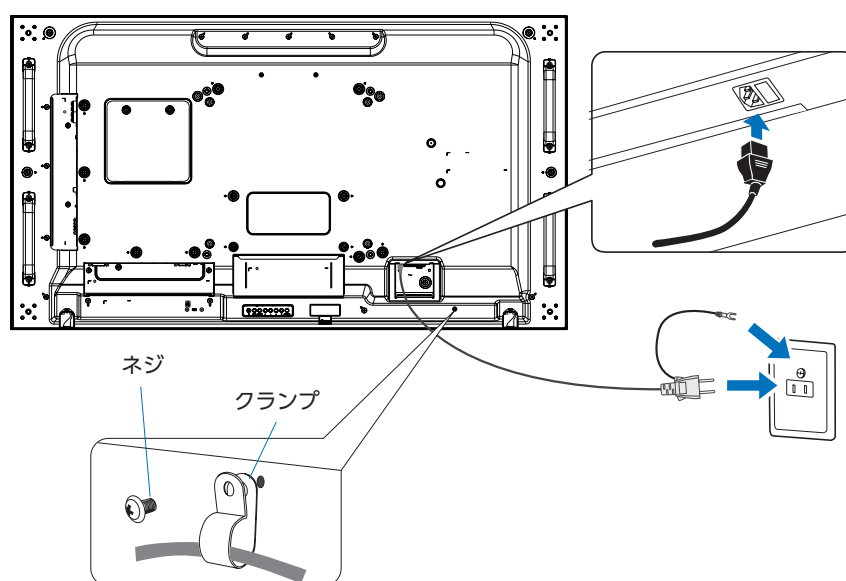
電源コードは本機に接続してから電源コンセントに接続してください。

1. 電源コードの一方の端を、本体の電源入力コネクタに差し込む。
奥までしっかり差し込んでください。

⚠ 注意

電源コードをディスプレイ本機付属のクランプとネジ (M4 × 10) で必ず固定することで本体の電源入力コネクタから容易に抜けるのを防止することができます。(締付トルク 139 ~ 189N・cm)

2. アースリード線を接地 (アース接続) する。
3. 電源プラグを AC100V 電源コンセントに接続する。



⚠ 警告

- 表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 本機には一般のご家庭のコンセント (AC100V) でお使いいただくための電源コードを添付しております。AC100V 以外で使用しないでください。
- 電源プラグのアースリード線は必ず接地 (アース) してください。
なお、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。
また、電源プラグのアースリード線は電源コンセントに挿入または接触させないでください。火災・感電の原因となります。
- 本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

お願い

本機は電源コンセントの近くに設置し、電源コンセント周辺は、電源プラグの抜き差しが容易なようにしておいてください。

5. ケーブル情報

注意

添付のケーブルを使用してください。

DVI、USB、ミニ D-Sub15 ピンはシールドタイプのケーブルを使用してください。HDMI、DisplayPort、D-Sub 9 ピンはシールドタイプを使用してください。これ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。

6. 主電源スイッチをオンにする。

本機の電源を入れてから、コンピューターや映像機器の主電源を入れる。

7. 接続した外部機器を操作する

接続した外部機器に対応する入力信号を選択して、外部機器からの映像をディスプレイに表示します。

8. 音声の調節をおこなう

必要に応じて音量を調節してください。

9. 画面の調節をおこなう。

- VGA(RGB) の入力コネクタ使用の場合は、“自動調節をする” の手順に従って自動調節をしてください。
- 自動調節をおこなってもうまく表示されない場合は OSD メニューの「映像設定」→「画面調節」をご覧ください。
- DVI 入力コネクタまたは DisplayPort 入力コネクタ使用の場合は、信号の情報により自動的に設定をおこなうため画面の調節は不要です。ただし、DVI 入力コネクタ使用の場合は、接続する機器により、OSD メニューの「マルチ入力」→「ターミナルモード」→「DVI モード」を「DVI-PC」または「DVI-HD」から最適な設定を選んでください。
- VIDEO 系の入力端子 (HDMI1、HDMI2、VGA(YPbPr)、VIDEO、MP) の場合は、調節は不要です。
- HDMI 入力コネクタ使用の場合は、OSD メニューの「マルチ入力」→「ターミナルモード」→「HDMI」で「設定 1」または「設定 2」から適切な設定を選んでください。

自動調節をする (VGA(RGB) 入力選択時のみ)

本機をコンピューターとアナログ接続の方法で接続したときは、最初に自動調節をおこないます。その後、さらに調節をおこなう必要がある場合は各調節項目を個別に調節してください。詳細は本取扱説明書の「画面調節 (OSD 機能)」を参照ください。

お知らせ

自動調節はアナログ接続をした際に、適切な画面を表示するよう、画面の水平／垂直位置、クロック周波数、位相、ホワイトレベルを自動で調節します。デジタル接続では自動調節は不要です。

1. 本機の電源を入れてから、コンピューターの主電源を入れる。
2. OSD メニューの「入力」で、映像入力を「VGA(RGB)」に切り替える。
3. 画面全体にワープロソフトの編集画面などの白い画像を表示する。
4. OSD メニューの「映像設定」→「画面調節」→「オートセットアップ」で設定する。

10. 長くお使いいただくために

ディスプレイに使用しているバックライトには寿命があり、バックライトの明るさは使用時間に応じて低下します。

また、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る「残像」という現象が発生する場合があります。

残像は画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなります。

本機を長くご使用いただくために、次の点にご注意ください。

- 使用していないときは本機の主電源を切ってください。
- 本体の  ボタンまたはリモコンの STANDBY ボタンで本機を電源待機状態にしてください。
- OSD メニューの「保護設定」→「パワーセーブ」を使用してください。信号が入力されないときに自動的にパワーセーブモードに切り替わります。
- OSD メニューの「スケジュール」を使用して、使用する時間に合わせて自動的に電源をオンまたは電源待機状態にしてください。

お知らせ

スケジュール機能を使用する場合は必ず OSD メニューの「スケジュール」→「日付 / 時刻設定」の設定をおこなってください。

- 液晶パネルにかかる負担を軽減するため、OSD メニューの「保護設定」→「スクリーンセーバー」を使用してください。

設置

お客様へ：

⚠ 注意

お客様による設置はおやめください。専門的な知識を持った設置業者による作業をおすすめします。設置業者の紹介につきましては、販売店へご相談ください。壁掛けや天吊り設置に関する設置業者との契約につきましてはお客様の責任においておこなってください。

設置後のメンテナンス

- ・ねじのゆるみや部品のずれ・ゆがみなど異常や不具合が発見された場合には、すぐに工事専門業者または販売店に修理を依頼してください。
- ・環境によっては経年変化で取り付け部などの強度が不足するおそれがあります。定期的に工事専門業者に点検を依頼し、メンテナンスをおこなってください。

なお、据え付け・取り付けの不備、誤使用、改造、天災などによる事故損害については、当社は一切責任を負いません。設置の依頼にあたっては以下の注意点を設置業者にご提示ください。

設置業者様へ：

壁や天井に本機を設置する際には、本機と取り付け金具を合わせた4倍の質量に耐える場所（コンクリートの壁や柱など）に取り付けてください。

本機の質量は「仕様」を参照ください。

誤った設置、改造、自然災害による損傷につきましては、保証の対象範囲外です。

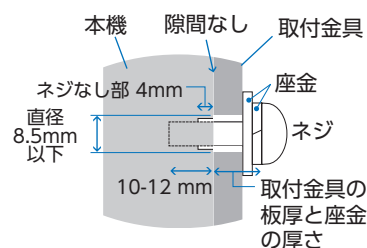
以上の推奨事項に従わなかった場合、保証書は無効になることがあります。

通風口を取付金具などの器具でふさがないようにご注意ください。

■ 取付金具について

⚠ 注意

- ・市販品は必ず VESA 規格に準拠した取付金具を使用してください。
- ・金具取り付け面の強度を十分確認して設置してください。
- ・市販の取付金具は、本機の4倍の質量に耐えるものを使用してください。
- ・取り付け前に、強度など安全性の確認をおこなってください。
- ・金具の一部がディスプレイの通風口をふさがないようにご注意ください。
- ・取り付け方法、安全な設置方法の詳細は、市販の取付金具の取扱説明書を参照ください。
- ・取付穴は背面に4個あります。取り付けの際は上下左右均等に取り付けてください。（推奨取り付け例は「壁掛け用や天吊り用として使用する場合」を参照ください）
- ・取付金具のネジ穴は直径 8.5mm 以下にしてください。
- ・ディスプレイの取付面と取付金具との間には隙間が無いようにしてください。
- ・インパクトドライバーを使用しないでください。



お願い

ディスプレイをマルチスクリーン構成で設置し長時間使用した場合、本機の内部温度の変化によりディスプレイが若干膨張することがあります。隣り合うディスプレイとの間に 1mm 以上の隙間をあけて設置されることをおすすめします。

■ 落下防止対応のお願い

ディスプレイを壁掛けや天吊りで設置する場合は、市販の壁掛け・天吊り金具を使用し、さらに落下防止用ワイヤーを設置してください。

⚠ 注意

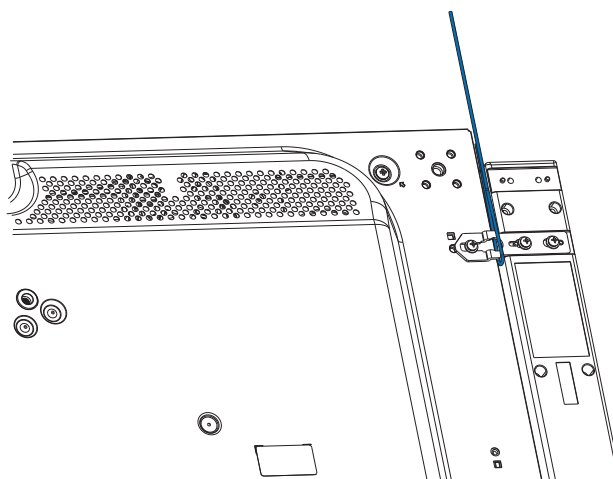
- 落下防止用ワイヤーのみでの壁掛け設置・天吊り設置は絶対におこなわないでください。
- 建物や構造物の丈夫な箇所とディスプレイの所定の箇所を市販のフック、金具などを用いて落下防止用ワイヤーで接続してください。
- 市販のフック、金具、ワイヤーはディスプレイを保持するのに十分強度のある物をご使用ください。
- 落下防止用ワイヤーは少したるませるように設置してください。

本体のハンドルに落下防止用ワイヤーを取り付ける場合は下図で示したハンドル位置を使用してください。

また、スピーカー金具に落下防止用ワイヤーを取り付ける場合は、下図の要領で取り付けてください。(締付トルク 139 ～ 189N・cm)

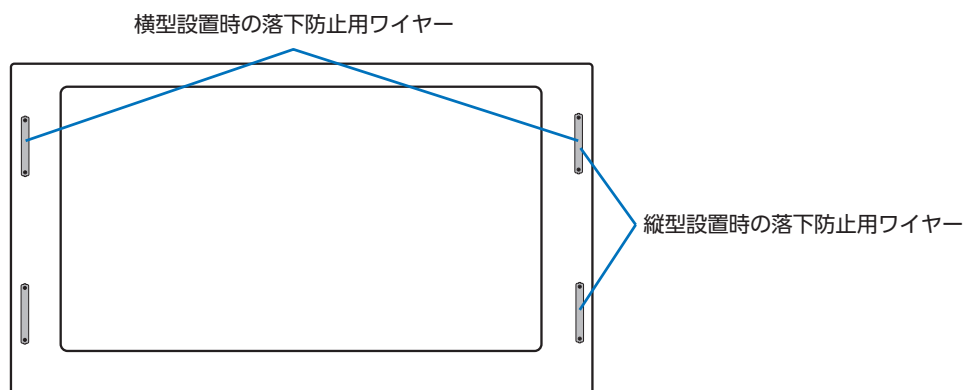
■ スピーカーが設置されたディスプレイにワイヤーを固定する場合（横型設置時のみ）

スピーカー取付金具を使用してワイヤーを固定します。



■ 落下防止用ワイヤー取り付け可能ハンドル位置

落下防止用ワイヤーは下図で示したハンドルを使用して取り付けてください。



取り付け場所について

⚠ 注意

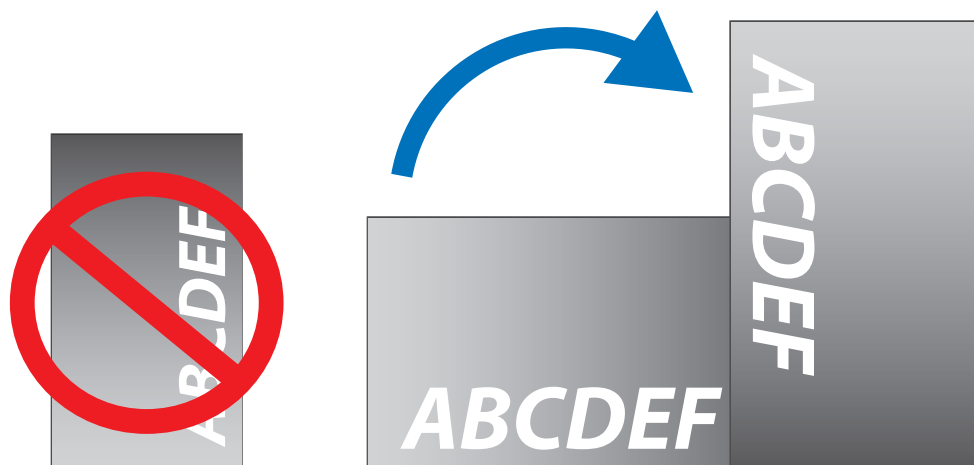
- 本機と取付金具の総重量を恒久的に十分に保持できる、強度のある場所を選んでください。強度の不十分なところに設置すると、落下して重大事故の原因となることがあります。
- 人が容易にぶら下がったり、寄り掛かれるような場所、頭や目がぶつかってしまうような場所、振動、衝撃の加わる場所、または、湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。火災や感電の原因となることがあります。
- 荷重は必ず梁などの堅牢な構造材で受けるようにし、確実に取り付けてください。
- 強度が不十分な設置面への直接取り付けはおこなわないでください。

お知らせ

設置の場所や状態によって本機内部に熱がこもらないように、空調や通風には十分配慮してください。

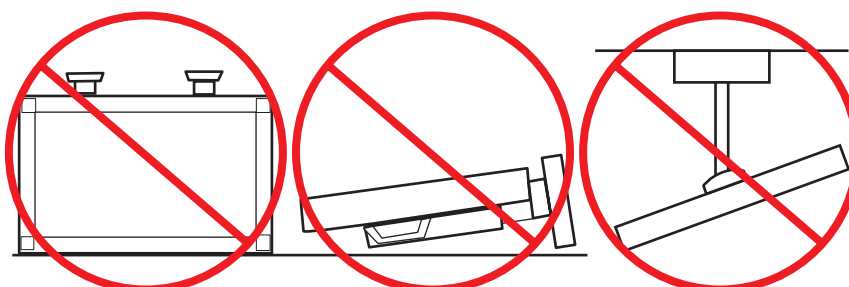
取り付け向きについて

本機を縦型の状態で使用するときは、必ず正面から見て左側面を上側にしてください。
上下逆さまでの設置はできません。



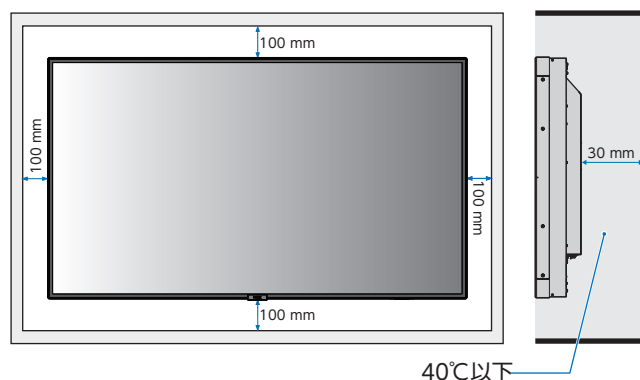
⚠ 注意

- 本機を傾けて設置しないでください。
- 横倒し、伏せ置き、上下さかさまにしないでください。画面が破損する原因となることがあります。



据付条件

熱がこもるのを防ぐため、狭い場所（壁埋め込みなど）に設置する場合は、ディスプレイの周囲は下図のように壁から離してください。



お知らせ

本機の使用環境温度の最大値は 40℃です。ケースなどに入れて使用される場合は、ケース内部の温度が 40℃以下となるよう、ケースにファンを取り付ける、通風口を設けるなどの処置をおこなってください。また、画面の表面温度が 60℃を超えないよう対処してください。前面を覆う場合は、覆ったものがたわんで、画面に触れないよう、十分な距離を空けてください。

本機は温度センサーおよび冷却ファンを内蔵し、内部温度が高くなると自動的に冷却ファンが動作します。また、冷却ファンが動作しても内部温度が高くなると「警告」が表示されます。「警告」が表示された状態での使用は故障の原因となることがありますので、主電源を切ってください。

冷却ファン

本機内蔵の冷却ファンは内部温度が上がると自動的に動作します。OSD メニューの「保護設定」→「ファン制御」で冷却ファンを常時動作するように設定することもできます。オプションボードを装着して使用する場合は内部温度が許容範囲内であってもオプションボードの冷却のため一部の冷却ファンが自動的に動作する場合があります。ケース内の設置や、液晶画面の表面にアクリル板などをつけてご使用になる場合は本機の内部温度上昇を OSD メニューの「保護設定」→「内部温度」で確認の上、必要に応じて冷却ファンの動作設定を変更してください。

壁掛け用や天吊り用として使用する場合

■ 壁掛け・天吊り時の注意事項

⚠ 注意

壁掛け・天吊りの設置をする前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

- 壁や天井の構造や強度により取り付けできない場合がありますので、取り付け場所については工事専門業者または販売店にご相談ください。

■ 設置方法

1. 机の上のような平らな場所にマットや毛布など柔らかいものを敷きます。

お知らせ

必ずディスプレイより大きい場所の上に置いてください。

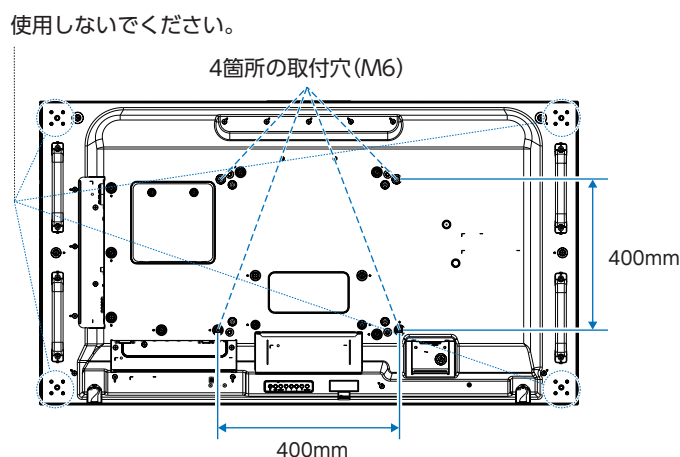
⚠ 注意

取り付け時に、本機に手を置いたり、力をかけたりしないでください。ディスプレイが変形するおそれがあります。

2. ディスプレイをその上に置きます。
3. 市販の取付金具を取り付けてください。

⚠ 注意

- 市販の取付金具は、本機を支えるのに十分なものを選んでください。
- 本機の質量は「仕様」を参照ください。

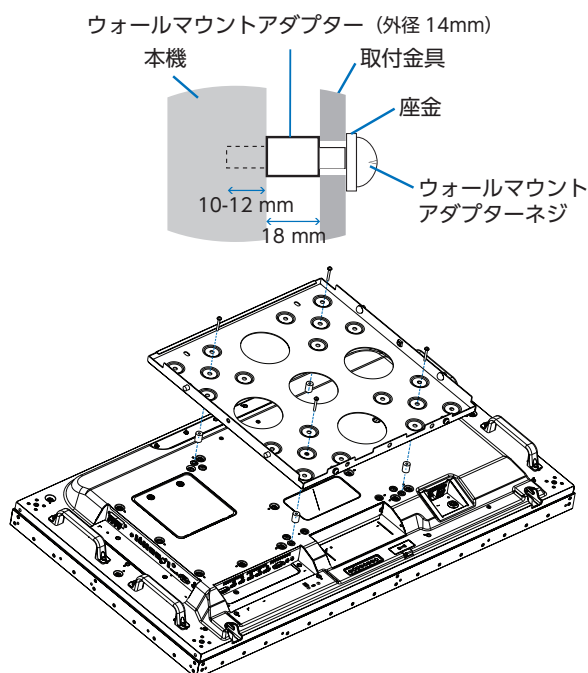


⚠ 注意

取り付け、取り外し方法の詳細は、市販の壁掛け用や天吊り用金具の取扱説明書を参照してください。

ウォールマウントアダプターの使い方

取付金具がディスプレイ本体の放熱口をふさぐ形状の場合に、付属のウォールマウントアダプター（外径 14mm）をお使いください。取り付けの際は、付属のウォールマウントアダプターネジをお使いください。ディスプレイ本体への挿入量が 10 ～ 12mm になるように座金などを用いて調節してください。



オプションボードを使用する場合

お知らせ

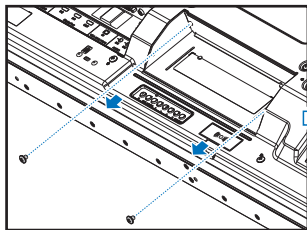
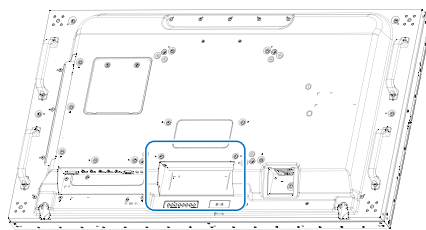
2025 年 7 月現在対応するオプションボードはありません。また将来の発売をお約束するものではありません。

1. 本機の主電源を切ってください。
2. 机の上のような平らな場所にマットや毛布など柔らかいものを敷き、その上にディスプレイを置きます。

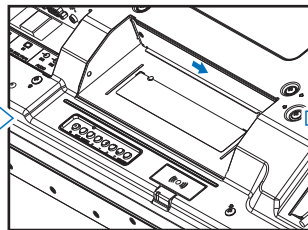
お願い

必ずディスプレイより大きい場所の上に置いてください。

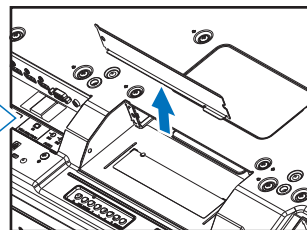
3. オプションボード用スロットのネジを外し (図 1)、オプションスロットカバーを右にスライドさせ (図 2)、上に持ち上げます。
4. オプションボードをセットします。取り外したネジで固定します (図 4)。
(締付トルク: 139 ~ 189N・cm)



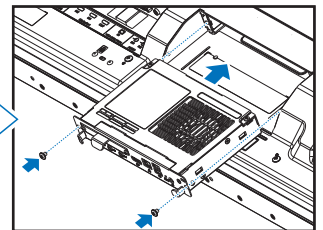
(図 1)



(図 2)



(図 3)



(図 4)

お願い

- オプションボードをネジで固定する前に、オプションボードに無理な力を加えて 前後左右に動かさないでください。故障の原因となります。
- オプションボードの上下を確認してから、オプションボードをセットしてください。

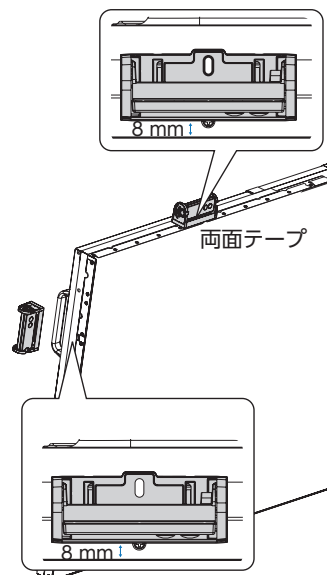
警告

オプションボードは取り外したネジを使用し、しっかりと固定してください。固定せずに使用すると、落下して重大事故の原因となります。

別売のリモートコントロールキットを使用する場合

■ センサーユニット（オプション）の取り付けについて

ディスプレイへの取り付けには、両面テープをお使いください。



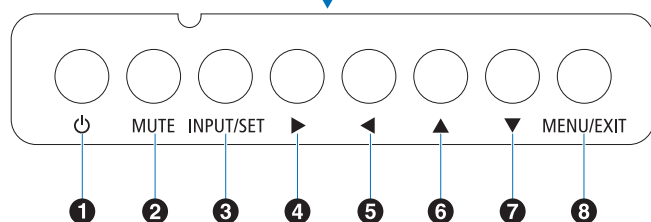
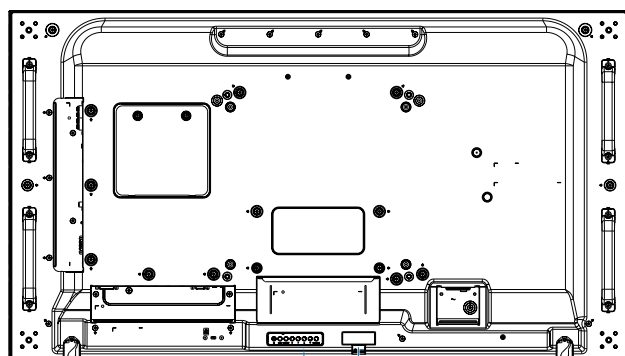
ディスプレイのすべての側面に取り付けられます。
ディスプレイの前面側から 8mm 離れた位置で固定してください。

2 章 各部の名称

この章の内容：

- ⇒ コントロールパネル (23 ページ)
- ⇒ ターミナルパネル (24 ページ)
- ⇒ リモコン (オプション) (26 ページ)

コントロールパネル



① 電源ボタン (電源ボタン)

電源をオン／電源待機するときに押します。

② MUTEボタン

音を消します。もう一度押すと元の音量で音がでます。

③ INPUT/SET ボタン (入力切替ボタン)

INPUT： 以下の映像入力を切り替えます。

[DVI]、[HDMI1]、[HDMI2]、[DisplayPort1]、
[DisplayPort2]、[VGA(YPbPr/RGB)]、[VIDEO]、
[MP]、[OPTION]*

名称は工場出荷時のものです。

SET： OSD 画面の表示時には、OSD 画面で調節した内容を決定します。

(OSD 画面表示時は、リモコンの SET ボタンと同じ機能になります。)

* 対応するオプションボード装着時のみ。2025 年 7 月現在
対応するオプションボードはありません。また将来の発売
をお約束するものではありません。

④ ▶ ボタン

主に 2 つの動作があります。

OSD 画面が表示されていないときに押すと、音量が大きくなります。

OSD 画面で調節項目を選択し、このボタンを押して設定値を調節します。

OSDはオンスクリーンディスプレイの略称です。

⑤ ◀ ボタン

主に 2 つの動作があります。

OSD 画面が表示されていないときに押すと、音量が小さくなります。

OSD 画面で調節項目を選択し、このボタンを押して設定値を調節します。

⑥ ▲ ボタン

OSD 画面が表示されていないときに押すと、OSD 画面を表示します。OSD 画面が表示されているときは、調節項目を選択します。

⑦ ▼ ボタン

OSD 画面が表示されていないときに押すと、OSD 画面を表示します。OSD 画面が表示されているときは、調節項目を選択します。

⑧ MENU/EXIT ボタン

OSD 画面が表示されていないときに押すと、OSD 画面を表示します。

OSD 画面が表示されているときは、ひとつ前の OSD 画面に戻ります。

⑨ リモコン受光部

ワイヤレスリモコンの信号受光部です。

⑩ 電源ランプ

電源ボタン入： 青色点灯 *

主電源スイッチ切時： 消灯

スケジュール待機時： 緑色と橙色交互に点滅 *¹

異常検出時 (自己診断)： 赤色点滅または赤色と青色の点滅
(38 ページ)

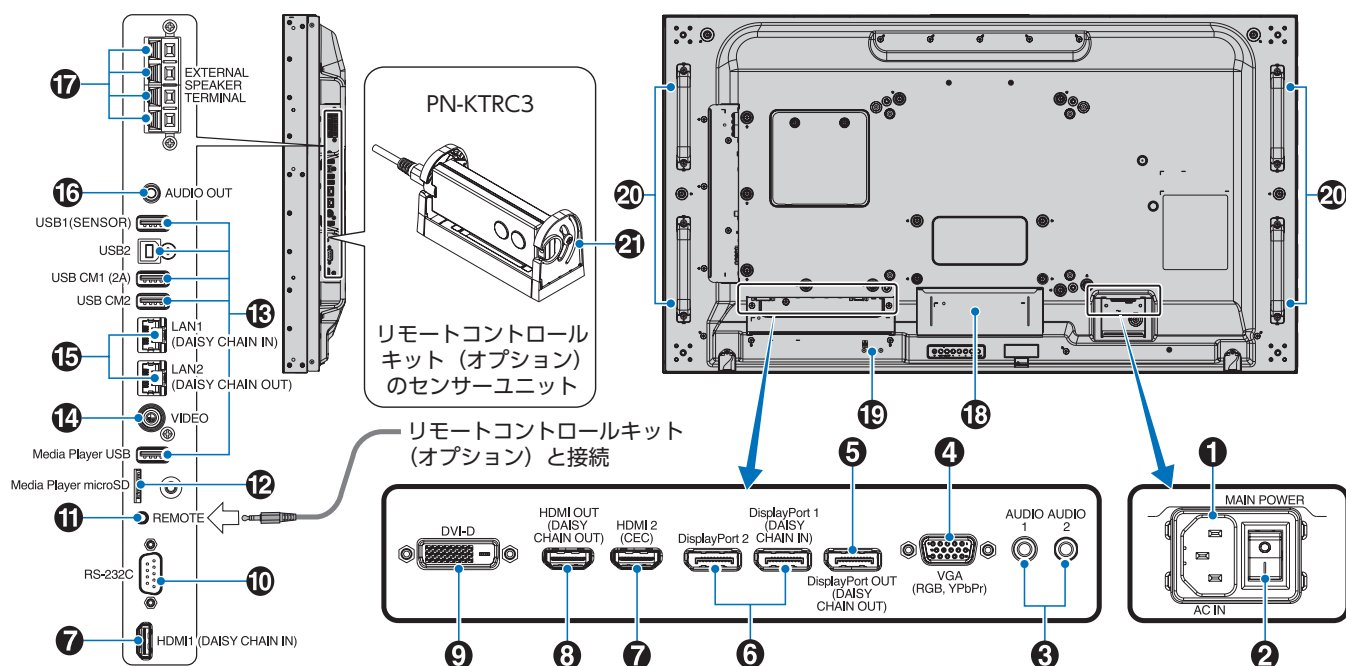
* OSD メニューの「コントロール」→「電源ランプ」で「オフ」が選択されている場合は電源ランプは消灯となります。

*¹ OSD メニューの「コントロール」→「電源ランプ」→「スケジュールランプ」で「オフ」が選択されている場合は電源ランプは消灯となります。

お知らせ

電源ランプについては、本取扱説明書の機能「電源オンモードと電源オフモード」を参照ください。

ターミナルパネル



① 電源入力コネクタ (3 極アース端子付き)

電源コードを接続します。

② 主電源スイッチ

主電源をオン/オフするときに押します。

↑ : オン ○ : オフ

出荷時はオフになっています。

③ オーディオ入力コネクタ (ステレオミニジャック)

コンピューター、ビデオプレーヤー、DVD プレーヤーなどの音声出力コネクタと接続します。

④ VGA 入力コネクタ (ミニ D-Sub 15 ピン)

アナログ出力のコンピューターの映像出力コネクタと接続します。複合映像同期信号 (シンクオングリーン) にも対応しています。

YPbPr を接続することもできます。その場合は OSD メニューの「マルチ入力」→「ターミナルモード」→「VGA モード」の設定をおこなってください。YPbPr を接続する場合は適した信号ケーブルをお使いください。不明な点は販売店にお問い合わせください。

⑤ DisplayPort 出力コネクタ (DisplayPort OUT (DAISY CHAIN OUT))

他のディスプレイのデジタル映像インターフェースの DisplayPort 入力コネクタと接続します。DisplayPort IN1 の信号を出力します。

⑥ DisplayPort 入力コネクタ (DisplayPort1 (DAISY CHAIN IN)/DisplayPort2)

他のディスプレイのデジタル映像インターフェースの DisplayPort 出力コネクタと接続します。

⑦ HDMI 入力コネクタ

(HDMI1 (DAISY CHAIN IN)/HDMI2 (CEC))

デジタル映像インターフェースの HDMI 規格に準拠した機器と接続します。

⑧ HDMI 出力コネクタ

(HDMI OUT (DAISY CHAIN OUT))

HDMI1、DVI IN、OPTION 入力からの信号を出力します。

⑨ DVI 入力コネクタ (DVI-D)

デジタル出力のコンピューターの映像出力コネクタと接続します。

お知らせ

アナログ信号はサポートしません。

⑩ RS-232C 入力コネクタ (D-Sub 9 ピン)

コンピューターを接続します。詳細は本取扱説明書の「RS-232C リモートコントロール」を参照ください。

⑪ リモート入力コネクタ (ステレオミニジャック)

コネクタに別売のコントロールキットのセンサーユニットを接続すると、センサーユニット上のリモコン受光部を利用してリモコンで制御できます。

お願い

指定のもの以外は使用しないでください。

⑫ microSD カードスロット

microSD メモリーカードを挿入します。

microSD メモリーカードに保存されている画像または動画を表示することができます。詳細は本取扱説明書の機能「メディアプレーヤー」を参照ください。microSD カードスロットカバーの取り付けについては「メディアプレーヤー」内の「microSD カードスロットカバーの取り付け」を参照ください。

⑬ USB ポート

各 USB ポートについては USB 機器との接続 (36 ページ) を参照ください。

USB1 (SENSOR) :	USB ダウンストリームポート (USB Type-A)
USB2 :	USB アップストリームポート (USB Type-B)
USB CM1 (2A) :	電源供給専用のポートです。 このポートを使用した通信はできません。
USB CM2 :	サービスポート (カスタマーサービス用) 使用できません。
Media Player USB :	メディアプレーヤーで再生する USB ストレージデバイスを接続します。

⑭ ビデオ入力コネクタ (RCA- フォノ)

⑮ LAN ポート (RJ-45)

(LAN1 (DAISY CHAIN IN)/LAN2 (DAISY CHAIN OUT))

HTTP サーバー機能を利用し、コンピューターで Web ブラウザーを使用して本機の LAN 設定を制御することができます。

複数台のディスプレイのマルチ接続 (数珠つなぎ) による制御が可能です。

お知らせ

- ・ポートをひとつ使用する場合は、LAN1 (DAISY CHAIN IN) のポートを優先してご使用ください。
- ・マルチ接続 (数珠つなぎ) の詳細は本取扱説明書の「マルチ接続について」を参照ください。
- ・本製品は法令上、電気通信事業者 (移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダなど) の通信回線 (公衆無線 LAN を含む) に直接接続することはできません。本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルーターなどの機器を経由して接続してください。

⑯ オーディオ出力コネクタ (ステレオミニジャック)

選択されている音声を出力します。

お知らせ

ヘッドホン用端子ではありません。

⑰ スピーカー出力端子

外部スピーカーを接続します。

入力端子の極性は赤がプラス (+)、黒がマイナス (-) です。

⑱ オプション用スロット

スロット 2 タイプ対応のオプションボードが装着できます。

お知らせ

2025 年 7 月現在対応するオプションボードはありません。また将来の発売をお約束するものではありません。

⑲ セキュリティースロット

セキュリティースロットは、市販のケンジントン社製セキュリティケーブルに対応しています。

お知らせ

製品については、ケンジントン社のホームページを参照ください。

⑳ オプションスピーカー用取り付け穴

お知らせ

対応可能なオプションスピーカーについては販売店にお問い合わせください。

㉑ リモコン受光部

ワイヤレスリモコンの信号の受光部です。(39 ページ)

外光センサー

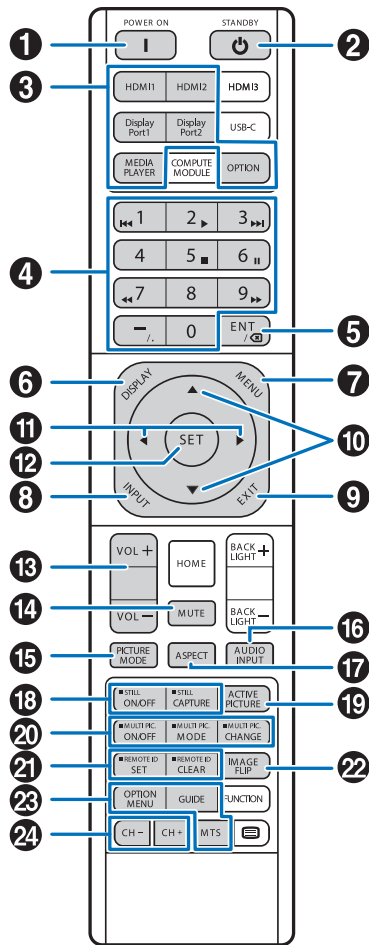
周囲の明るさを検知するセンサーです。「外光センサー」で「設定 1」または「設定 2」を設定した場合に使用します。「設定 1」または「設定 2」選択時には障害物の陰にならないよう注意してください。

人感センサー

本機の正面に在席していることを検知するセンサーです。

リモコン

オプションのリモートコントロールキット内のリモコンをご使用ください。



説明のないボタンは動作しません。

① POWER ON ボタン

電源をオンにします。

② STANDBY ボタン

ディスプレイを電源待機状態にします。

③ 入力切替ボタン

映像入力を切り替えます。

MEDIA PLAYER のみ入力信号名称は MP と表示されます。
入力信号の名称は工場出荷時のものです。

④ 数字ボタン

パスワードやリモコン ID の番号入力に使用します。

一部の数字ボタンを本機に接続した HDMI-CEC 機器やメディアプレーヤー機能の操作に使用します。

HDMI-CECは 32ページを、メディアプレーヤー機能は 71ページを参照ください。

⑤ ENT ボタン

メディアプレーヤー使用時に自動再生するフォルダーを決定します。

⑥ DISPLAY ボタン

画面情報を表示します。(40 ページ)

OSD メニューの「コントロール」→「リモコンロック設定」でボタンをロックした場合、DISPLAY ボタンを 5 秒以上押し続けるとロックを解除できます。

⑦ MENU ボタン

OSD 画面をオン / オフします。

⑧ INPUT ボタン

ボタンを押すごとに映像入力を切り替えます。

名称は工場出荷時のものです。

⑨ EXIT ボタン

ひとつ前の OSD 画面に戻ります。

⑩ ▲ボタン ▼ボタン

OSD 画面の調節項目の選択、OSD 画面の表示位置の調節、マルチ画面を使用している際に選択画面の位置の調節などに使用します。

⑪ ◀ボタン ▶ボタン

OSD 画面で選択した項目の調節、OSD 画面の表示位置の調節、マルチ画面機能使用時の選択画面の位置およびサイズの調節などに使用します。

⑫ SET ボタン

OSD 画面で調節した内容を決定します。

SET ボタンを使って画像の一部を拡大して表示することができます。(42ページ)

⑬ VOL + / - ボタン (音量調節)

音量の大 / 小を調節します。

⑭ MUTE ボタン

音を消します。もう一度押すと元の音量で音がでます。

15 PICTURE MODE ボタン

ピクチャーモードを選択します。

ピクチャーモード	目的
HIGH BRIGHT	最も高輝度な表示が可能です。
STANDARD	標準の設定です。
sRGB	Windows® の標準色空間です。インターネットや動画の表示など一般的なコンテンツの表示に推奨されます。
CINEMA	暗いシーンの階調表現力を引き上げ、奥行き感を再現する映画に適した設定です。
CUSTOM	任意の設定をおこないます。

16 AUDIO INPUT ボタン (音声入力切替ボタン)

音声入力を各映像入力ごとに切り替えることができます。
[OPTION] 音声入力是对応するオプションボードが搭載されている場合のみ選択可能です。

17 ASPECT ボタン

画像のアスペクトを「標準」、「フル」、「ワイド」*、「ダイナミック」*、「1:1」、「ZOOM」から選択します。

*HDMI1, HDMI2, VGA(YPbPr) 入力の場合のみ。

18 STILL ボタン (画面静止ボタン)

ON/OFF ボタン：スチル機能をオン / オフします。

CAPTURE ボタン：静止画面を更新します。

お知らせ

- スチル機能が動作している場合はクローズドキャプションは動作しません。
- 下記の場合、スチル機能は解除されます。
「マルチ画面モード」、「テキストティッカー」、「スクリーンセーバー」の「モーション」、「ポイントズーム機能」、「入力切替」の「スーパー」、「タイルマトリクス」を実行した場合。
「映像反転」でオフ以外を選択した場合。
「HDMI」を「設定 2」にした場合。
「DisplayPort」を「1.2」にした場合。
- 入力信号に「OPTION」を選択している場合は、対応するオプションボード装着時のみ切り替わります。

19 ACTIVE PICTURE ボタン

選択画面を表示設定します。

20 MULTI PIC. ボタン

ON/OFF ボタン：マルチ画面モードをオン / オフします。

MODE ボタン：PIP(Picture in picture) または PBP(Picture by picture) から表示形態を設定します。

CHANGE ボタン：選択された 2 つのマルチ画面間で表示する映像を入れ替えます。

お知らせ

マルチ画面表示中に SET ボタンを押すと、選択画面の表示サイズを変更できます。

21 REMOTE ID ボタン (リモコン ID ボタン)

リモコンのモードを切り替えます。

ノーマルモード：モニター ID の設定に関係なく、ディスプレイをリモコンで制御できます。

ID モード：リモコン ID と同じ番号のモニター ID を持つディスプレイのみをリモコンで制御できます。

SET ボタン：2 秒以上押し続けると、リモコンを ID モードにします。

ボタンを押しながら 0 ~ 100 までの数字を入力すると、リモコン ID が設定できます。

CLEAR ボタン：2 秒以上押し続けると、ノーマルモードになります。

22 IMAGE FLIP ボタン (映像反転ボタン)

画像を左右、上下反転、180° 回転することができます。

「左右反転」、「上下反転」、「180° 回転」、「オフ」の順に切り替わります。映像反転については [117 ページ](#) を参照ください。

23 OPTION MENU / GUIDE / MTS

対応するオプションボード装着時のみ機能します。

対応可能なオプションボードについては販売店へお問い合わせください。

24 CH - (ZOOM -) ボタン

(チャンネル / ズーム調節マイナスボタン) /

CH + (ZOOM +) ボタン

(チャンネル / ズーム調節プラスボタン)

選択画面のサイズや、ポイントズーム機能で画像を拡大 / 縮小します。ポイントズームの詳細は本取扱説明書の「ポイントズーム機能」を参照ください。

3 章 接続

この章の内容：

- ⇒ 配線図 (29 ページ)
- ⇒ 接続 (29 ページ)
- ⇒ 外部ビデオ信号の接続 (30 ページ)
- ⇒ コンピューターとの接続 (30 ページ)
- ⇒ HDMI 出力端子のある機器との接続 (32 ページ)
- ⇒ 内部映像ソース (33 ページ)
- ⇒ メディアプレーヤー (34 ページ)
- ⇒ 本機で利用できるオプションボード (35 ページ)
- ⇒ USB 機器との接続 (36 ページ)

お願い

本機または外部機器の主電源がオンの場合、ケーブルの抜き差しはおこなわないでください。

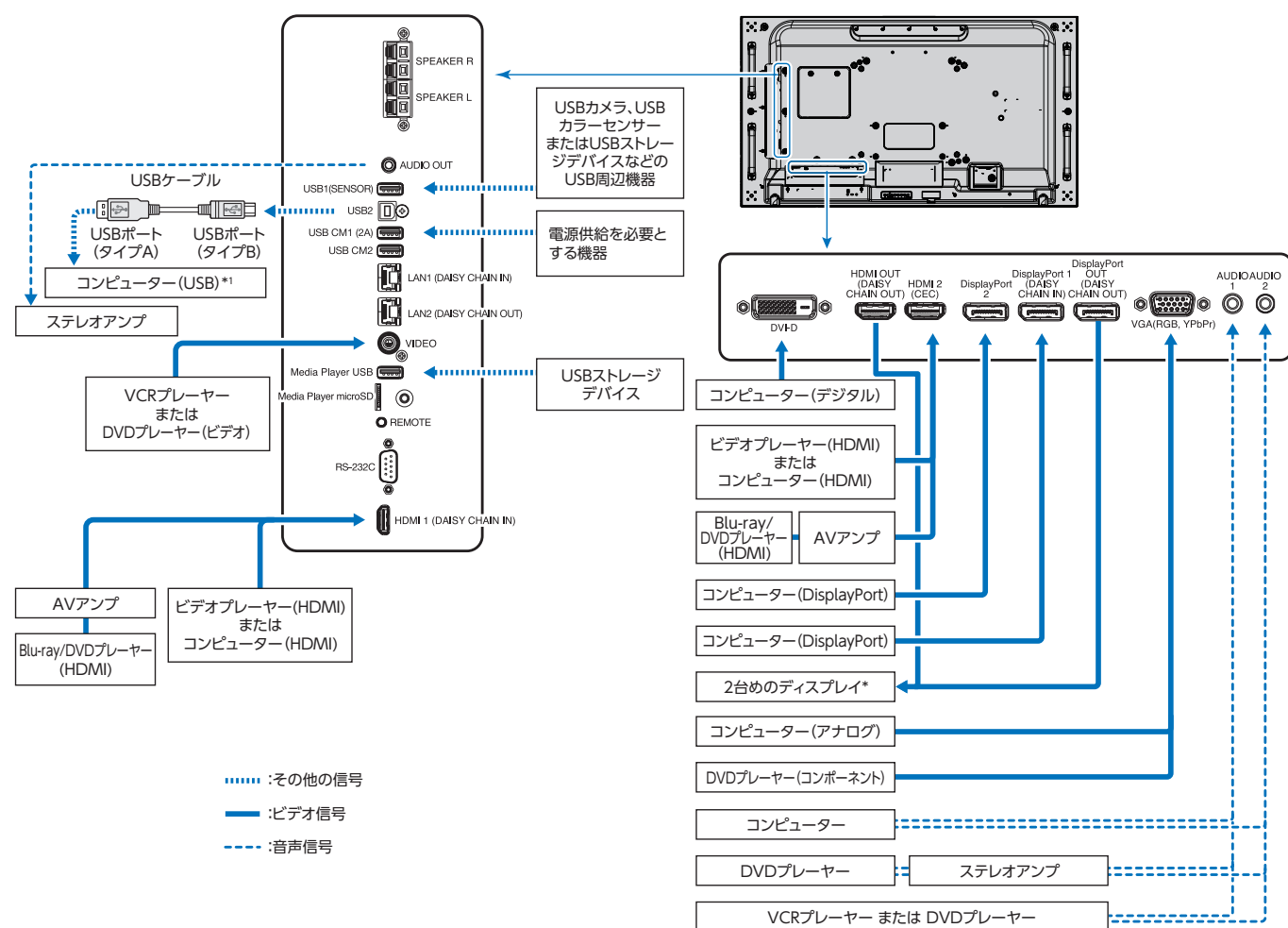
接続する前に

- コンピューターに接続する前に、本機、コンピューターおよび周辺機器の主電源を切ってください。
- それぞれの機器の取扱説明書を参照してください。

お知らせ

- 接続するオーディオ機器やコンピューターの音声出力端子の形状がステレオミニジャックの場合は、オーディオケーブルは抵抗なしを使用してください。
- 抵抗ありのオーディオケーブルを使用した場合、音量が大きくならなかったり、音が出ない場合があります。
- microSD メモリーカード、USB ストレージデバイスは本機の主電源がオフのときに抜き差しすることをおすすめします。

配線図



* : マルチ接続（数珠つなぎ）をする場合、接続台数に制限があります。

*1 : USB2 に接続したコンピュータから USB1 (SENSOR) に接続した機器を操作することができます。

接続

接続コネクター	ターミナルモードの設定	入力信号名称	音声入力	リモコンの入力切替ボタン
DVI(DVI-D)	DVI モード : DVI-PC/DVI-HD	DVI	IN1/IN2	DVI
HDMI1(DAISY CHAIN IN)	ビデオレベル : ノーマル / エクスパンド *2	HDMI1	HDMI1	HDMI1
HDMI2(CEC)	ビデオレベル : ノーマル / エクスパンド *2	HDMI2	HDMI2	HDMI2
DisplayPort 1 (DAISY CHAIN IN)	ビデオレベル : ノーマル / エクスパンド *2	DisplayPort1	DisplayPort1	DisplayPort1
DisplayPort 2	ビデオレベル : ノーマル / エクスパンド *2	DisplayPort2	DisplayPort2	DisplayPort2
VGA(RGB, YPbPr)	VGA モード : RGB/YPbPr	VGA : RGB/YPbPr	IN1/IN2	VGA (RGB/YPbPr)
VIDEO	—	VIDEO	IN1/IN2	VIDEO
Option Board Slot (SLOT2)	ビデオレベル : ノーマル / エクスパンド *2	OPTION	OPTION (ANALOG/DIGITAL)*2	OPTION
Media Player USB/microSD	—	MP	Media Player USB/microSD	MEDIA PLAYER

*2: 入力信号によって、適切に設定してください。

外部ビデオ信号の接続

VIDEO 系の入力

- コンポジット映像（RCA）－ 標準画質のアナログ映像信号で、音声信号は含みません。
- VGA－コンピューターとの接続に用いられるアナログ映像信号。映像のみで、音声信号は含みません。
- DVI-D－コンピューターとの接続に用いられるデジタル映像信号。映像のみで、音声信号は含みません。
- HDMI－コンピューターやストリーミングメディアプレーヤー、Blu-ray プレーヤー、ゲーム機器などとの接続に用いられる高精細デジタル映像で、音声信号を含みます。
- DisplayPort（DP）－コンピューターとの接続に用いられる高精細デジタル映像で、音声信号を含みます。

コンピューターとの接続

本機はコンピューターのディスプレイとして使うことができます。下表に示す種類のタイミングの自動判別をおこない画面情報を設定しますので、コンピューターに接続すると自動的に適切な画面を表示します。

解像度	走査周波数		VGA	DVI	HDMI		DisplayPort		備考
	水平	垂直			設定 1	設定 2	1.1a	1.2	
640 × 480	31.5 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	
800 × 600	37.9 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	
1024 × 768	48.4 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	
1280 × 720	45.0 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	
1280 × 768	47.8 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	
1280 × 800	49.7 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	
1280 × 960	60.0 kHz	60 Hz	Yes	Yes	No	No	No	No	
1280 × 1024	64 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	
1360 × 768	47.7 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	
1366 × 768	47.7 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	No	Yes	Yes	
1400 × 1050	65.3 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	
1440 × 900	55.9 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	
1600 × 1200	75.0 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	簡易圧縮表示
1680 × 1050	65.3 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	
1920 × 1080	67.5 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	推奨信号タイミング
1920 × 1200	74.6 kHz	60 Hz	Yes ^{*1}	Yes ^{*1}	Yes	Yes	Yes	Yes	簡易圧縮表示
3840 × 2160	65.7 kHz	30 Hz	No	No	No	No	Yes	Yes	簡易圧縮表示
3840 × 2160	67.5 kHz	30 Hz	No	No	Yes	Yes	No	No	簡易圧縮表示
3840 × 2160	133.3 kHz	60 Hz	No	No	No	No	No	Yes [*]	簡易圧縮表示
3840 × 2160	135.0 kHz	60 Hz	No	No	No	Yes	No	No	簡易圧縮表示
4096 × 2160	54.0 kHz	24 Hz	No	No	Yes	Yes	No	No	簡易圧縮表示

*： HBR2 選択時のみ

*1： ブランキング低減

お知らせ

入力される信号の解像度によっては、文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。

ビデオカードまたはドライバーによっては映像を正しく表示することができない場合があります。

HDMI 出力端子のある機器との接続

本機は HDMI 出力付きプレーヤーやコンピューターなどと接続して使用することができます。詳しくは、プレーヤーなどの取扱説明書を参照ください。

- オーディオ入力は OSD メニューの「音声設定」→「音声入力」またはリモコンの音声切替ボタンで「HDMI1」または「HDMI2」を選択します。
- HDMI ケーブルは HDMI ロゴがついているものをご使用ください。
- HDMI 機器によっては、映像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- ビデオカードまたはドライバーによっては映像を正しく表示することができない場合があります。
- HDMI 出力付きコンピューターと接続して使用する場合は、OSD メニューの「映像設定」→「アドバンスド」→「オーバースキャン」を「自動」もしくは「オフ」に設定してください。
- 接続しているコンピューターの電源を入れ、その後に本機の主電源を入れると映像が表示されないことがあります。その場合は、接続しているコンピューターの電源を入れ直してください。
- 入力信号の解像度が 3840 × 2160 (60Hz) または HDCP 2.2 または HDR の場合は、OSD メニューの「マルチ入力」→「ターミナルモード」→「HDMI」→「設定 2」を設定してください。

DisplayPort 出力端子のある機器との接続

本機は DisplayPort 出力付きコンピューターなどと接続して使用することができます。

詳しくは各コンピューターの取扱説明書を参照してください。

- DisplayPort 出力端子を使用する場合は、本取扱説明書の「映像出力」を参照ください。
- DisplayPort 出力端子を使用し、接続した複数の画面に個別の映像を表示する場合は OSD メニューの「マルチ入力」→「ターミナルモード」→「DisplayPort」→「Displayport1.2」→「MST」を設定してください。
- オーディオ入力は OSD メニューの「音声設定」→「音声入力」またはリモコンの音声切替ボタンで「DisplayPort1」または「DisplayPort2」を選択します。
- DisplayPort ケーブルは DisplayPort 認証ロゴがついているものを使用することを推奨します。
- コンピューターによっては、映像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- DisplayPort ケーブルはロック付きのものがあります。ケーブルを取り外す際は、ケーブルコネクタ上部にあるボタンを押しながら、ケーブルを抜いてください。
- 信号変換アダプターを使用した機器からの信号を DisplayPort に接続しても映像が表示されない場合があります。
- 接続しているコンピューターの電源を入れ、その後に本機の主電源を入れると映像が表示されないことがあります。その場合は、接続しているコンピューターの電源を入れ直してください。

音声出力端子のある機器との接続

本機は音声出力付きプレーヤーなどと接続して使用することができます。詳しくは、プレーヤーなどの取扱説明書を参照ください。

- 音声入力を各映像入力ごとに切り替えることができます。

HDMI 出力端子のある機器との接続

Blu-ray プレーヤー、ストリーミングメディアプレーヤーやゲーム機器などの高品質の映像と音声を 1 本の HDMI ケーブルで接続して使用することができます。接続した映像機器が 4K UHD の品質に対応している場合、コンテンツは 4K UHD で表示されます。

本機の映像出力機能は HDCP (High-Bandwidth Digital Content Protection) で保護された映像コンテンツに対応しています。

お知らせ

- 1920x1080 (60 Hz)、1080p、1080i、720p@50Hz/60Hz、576p@50Hz、480p@60Hz、576i@50Hz、480i@60Hz、3840x2160 (30Hz/24Hz/25Hz [設定 1])、3840x2160 (60Hz [設定 2])、4096x2160 (24Hz) に対応しています。
- HDMI ケーブルを接続するときは、HDMI 機器と本機の電源をオフにします。
- HDMI ケーブルは HDMI ロゴがついているものをご使用ください。
- HDMI の仕様により、お使いの HDMI ケーブルや HDMI 機器では映像を正しく表示することができない場合があります。

HDMI-CEC (Consumer Electronics Control)

HDMI-CEC により、HDMI ケーブルで接続した映像機器と本機との間のコントロール連携が可能になります。例えば、Blu-ray プレーヤーの電源をオンにするとディスプレイの電源もオンになり、リモコンを使わずに映像入力を Blu-ray プレーヤーに切り替えることができます。ただし、すべての機器間でコントロール連携がおこなわれるわけではなく、映像機器のメーカーによっては自社製のディスプレイやテレビのみにコントロール連携をおこなう場合があります。「HDMI CEC 対応コマンド」(86 ページ) を参照してください。

映像機器と本機のコントロールが連携する場合、本機リモコン (オプション) の以下ボタンで映像機器を操作できます。

1 (◀◀)、2 (▶)、3 (▶▶)、5 (■)、6 (⏏)、ENT、EXIT、▲、▼、▶、◀

お知らせ

OSD メニューを使って CEC に関する設定をおこなうことができます。CEC に関する設定は、ディスプレイの Web ページにからおこなうこともできます。Web ページと OSD メニューで、機能の名称や表示される位置は同じです。

CEC を有効にする

1. HDMI CEC 対応機器を HDMI2(CEC) 端子に接続する。
リモコンの HDMI2 ボタンを押してください。
2. MENU ボタンを押して OSD 画面を表示する。
3. OSD メニューの「コントロール」→「CEC」を選択する。
4. OSD メニューの「CEC」→「オン」を選択し、「自動電源オフ」と「オーディオレシーバー」で「する」を選択する。
5. OSD メニューの「デバイス検索」→「する」を選択する。
デバイス検索が完了すると、機器を接続した HDMI コネクタとデバイス名が表示されます。
CEC 対応機器が検出されなかったときは、以下をご確認ください。
 - 機器が接続されているか
 - 機器の電源がオンになっているか
 - 機器が CEC に対応しているか
 - CEC が有効になっているか機器のメーカーによっては、CEC 機能を別の呼びかたで示している場合があります。機器の取扱説明書を参照ください。
6. リモコンの EXIT ボタンを押す。

内部映像ソース

内部の映像ソースとして利用できるものは以下のとおりです：

- メディアプレーヤー
- オプションボード*

*：2025 年 7 月現在対応するオプションボードはありません。また将来の発売をお約束するものではありません。

メディアプレーヤー

本機内蔵のメディアプレーヤー機能で、microSD メモリーカードや USB ストレージデバイスに保存している音声や映像ファイルを再生することができます。microSD メモリーカードや USB ストレージデバイスは、ディスプレイ側面のターミナルパネルに接続します。メディアプレーヤーの使い方については [71 ページ](#)を参照ください。

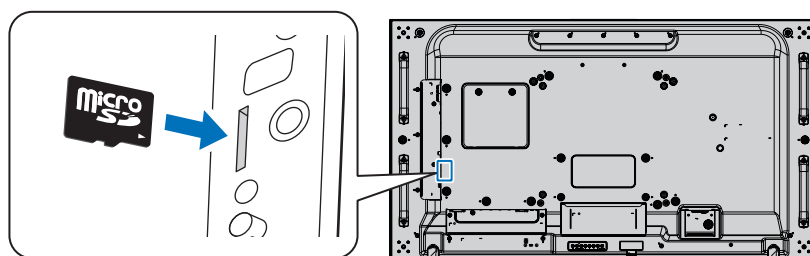
対応 microSD メモリーカード

FAT32 形式または FAT16 形式でフォーマットしてください。

フォーマット方法については、お使いの Windows® の取扱説明書またはヘルプファイルを参照ください。

お知らせ

- microSD メモリーカードは 32GB の microSDHC まで対応しています。
- CPRM 付き（著作権管理）の microSD メモリーカードには対応していません。
- UHS-1 または UHS-2 の microSD メモリーカードには対応していません。
- 市販されているすべての microSD メモリーカードの動作を保証するものではありません。

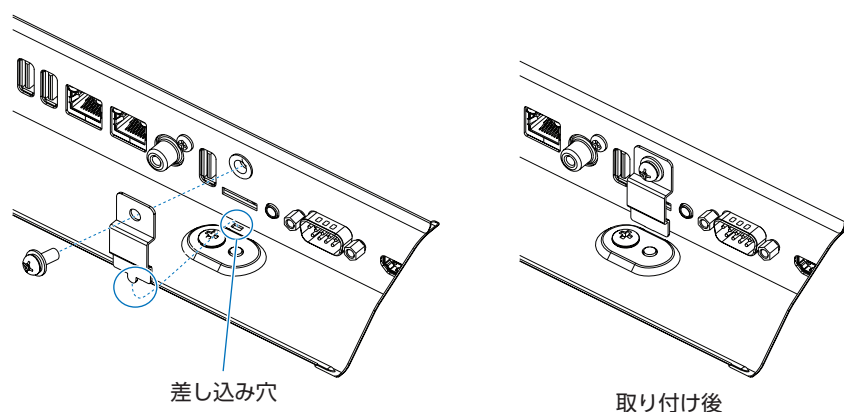


- microSD メモリーカードを挿入する際はカードの向きを確認し正しい向きで差し込んでください。
- microSD メモリーカードを取り出す際はカード側面の真ん中を押して取り出してください。

microSD カードスロットカバーの取り付け

盗難防止のために microSD カードスロットカバーを取り付けることをおすすめします。

差し込み穴に microSD カードスロットカバーの先端を差し込み、付属のネジで固定します。



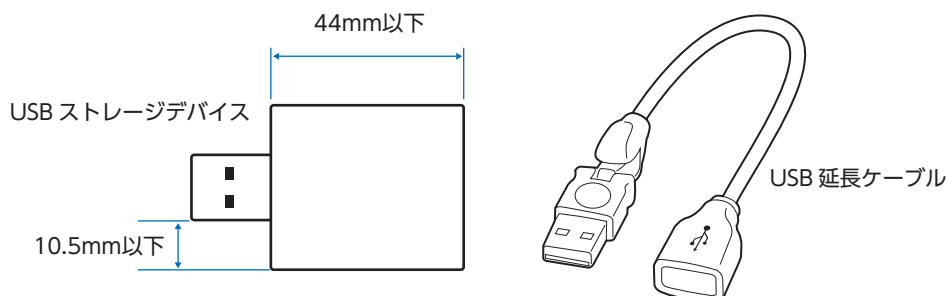
対応 USB ストレージデバイス

本機に接続した USB ストレージデバイスが認識されない場合は、フォーマット形式を確認してください。メディアプレーヤーで使用する USB ストレージデバイスは FAT32 形式または FAT16 形式でフォーマットしてください。フォーマット方法については、お使いの Windows® の取扱説明書またはヘルプファイルを参照ください。

使用する USB ストレージデバイスのサイズは下図を参照ください。

これより大きいサイズを使用する場合は市販の USB 延長ケーブルをご使用ください。

本体の Media Player USB ポートに USB ストレージデバイスを接続してください。



お知らせ

- 市販されているすべての USB ストレージデバイスの動作を保証するものではありません。(32GB 以下を推奨)
- USB ストレージデバイスを Media Player USB ポートに接続しているかご確認ください。

本機で利用できるオプションボード

オプションボードをディスプレイに装着すると、OSD メニューの「入力」に使用可能デバイスとして表示されます。オプションボードはそれぞれ別個に使用可能で、ディスプレイに装着する必要があります。この取扱説明書は、オプション機器なしでのディスプレイの使い方を説明しています。オプションボードの装着場所は、ターミナルパネル (24 ページ) に記載されています。

お知らせ

2025 年 7 月現在対応するオプションボードはありません。また将来の発売をお約束するものではありません。

USB 機器との接続

本機は、以下の USB ポートを装備しています。

- USB1(SENSOR) : USB ダウンストリームポート (USB タイプ A)
USB 対応のフラッシュメモリー、キーボードなどの USB 機器を接続します。
- USB2 : USB アップストリームポート (USB タイプ B)
市販の USB ケーブルで USB 対応のコンピューターと接続します。
USB2 ポートに接続した機器から USB1(SENSOR) ポートに接続した USB 機器を操作することができます。
- USB CM1(2A) : 電源供給用のポートです。供給電力についての詳細は本取扱説明書の「仕様」を参照ください。
USB CM1(2A) への電源供給は OSD メニューの「コントロール」→「USB」→「USB 電源」で設定できます。
USB CM1(2A) からの電源供給を使用する際は、電流が 2A 以上に対応しているケーブルをご使用ください。
供給電力についての詳細は本取扱説明書の「仕様」を参照ください。
- USB CM2 : サービスポートです。USB 機器の接続はおこなわないでください。
- Media Player USB : USB ダウンストリームポート (USB タイプ A)
メディアプレーヤー機能を使用して画像や動画を表示する際はこのポートに USB ストレージデバイスを接続してください。
ファームウェア更新の際はこのポートをご使用ください。

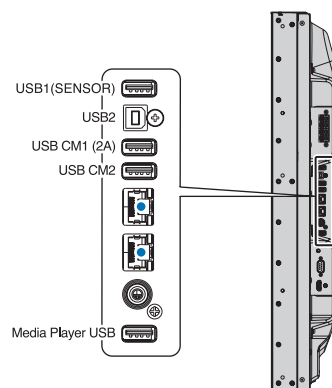
⚠ 注意

USB ケーブルは束ねて（丸めて）固定せずに使用してください。ケーブルが発熱して火災の原因となるおそれがあります。

お知らせ

- USB ケーブルのコネクタ形状および向きをよく確かめてから接続してください。
- USB 機能は使用するコンピューターの BIOS や OS、周辺機器によっては動作しない場合があります。この場合は、まず各使用機器の取扱説明書を確認したり、各機器のメーカーにお問い合わせください。
- 本機の電源をオフにしたり、Windows® のシャットダウンを実行する場合には、事前に本機に接続した USB 機器の電源をオフにしてから取り外してください。
USB 機器に保存されたデータが失われることがあります。
- 本機がコンピューターに認識されるまでに数秒かかることがあります。認識される前に USB ケーブルを抜いたり、短時間に抜き差しを繰り返さないでください。
- USB ポートの設定は OSD メニューから「コントロール」→「USB」で設定できます。

USB CM1(2A)、USB CM2 を使用した通信はおこなえません。



4 章 基本操作

この章の内容：

- ⇒ 電源オンモードと電源オフモード（38 ページ）
- ⇒ リモコンの使用範囲（39 ページ）
- ⇒ パワーマネージメント機能（39 ページ）
- ⇒ インフォメーション（40 ページ）
- ⇒ Plug&Play 機能（DVI、DisplayPort、HDMI および VGA）（40 ページ）
- ⇒ ピクチャーモードの切り替え（40 ページ）
- ⇒ アスペクト変更（41 ページ）
- ⇒ ポイントズーム機能（42 ページ）
- ⇒ 画面調節（OSD 機能）（43 ページ）
- ⇒ メディアプレーヤーでできること（45 ページ）

電源オンモードと電源オフモード

本体の  ボタン、またはリモコンの POWER ON ボタンを押して本機をオンにします。

本体の電源ランプが、電源の状態を示します。電源ランプと本機の状態とその復帰方法については、以下の表を参照ください。

電源ランプ色と点灯パターン	状態	復帰方法
青色点灯	通常動作時	
緑色点滅 ^{*2}	選択している映像信号がない状態で一定時間経過した場合で以下の状態のどれかを満たした場合 ・「オプション電源」が「オン」か「自動」で、オプションボードが装着されている場合 ・「オプション電源」が「オン」になっている場合 ・「CEC」が「設定 1」または「設定 2」になっている場合 ・「DisplayPort バージョン」が「1.2 MST」になっている場合 ・「自動入力切替」(OSD 機能) が「オフ」以外になっている場合 ・「USB 電源」が「オン」になっている場合	(1) リモコンもしくは本体のボタンで本機をオンする。 (2) 映像信号を入力する
橙色点灯 ^{*2} (ネットワークスタンバイモード)	緑色点滅の条件に該当せず約 10 秒経過した時、本機が LAN 接続を認識し、選択している映像信号がない状態で一定時間経過した場合	
橙色点滅 ^{*2} (スタンバイモード)	緑色点滅の条件に該当せず約 3.5 分経過した時、本機が LAN 接続の認識および選択している映像信号がない状態で一定時間経過した場合	
赤色点灯	ネットワーク機器や映像信号機器との接続状態に関わらず、リモコンなどで本機をオフした場合	(1) リモコンもしくは本体のボタンで本機をオンする。

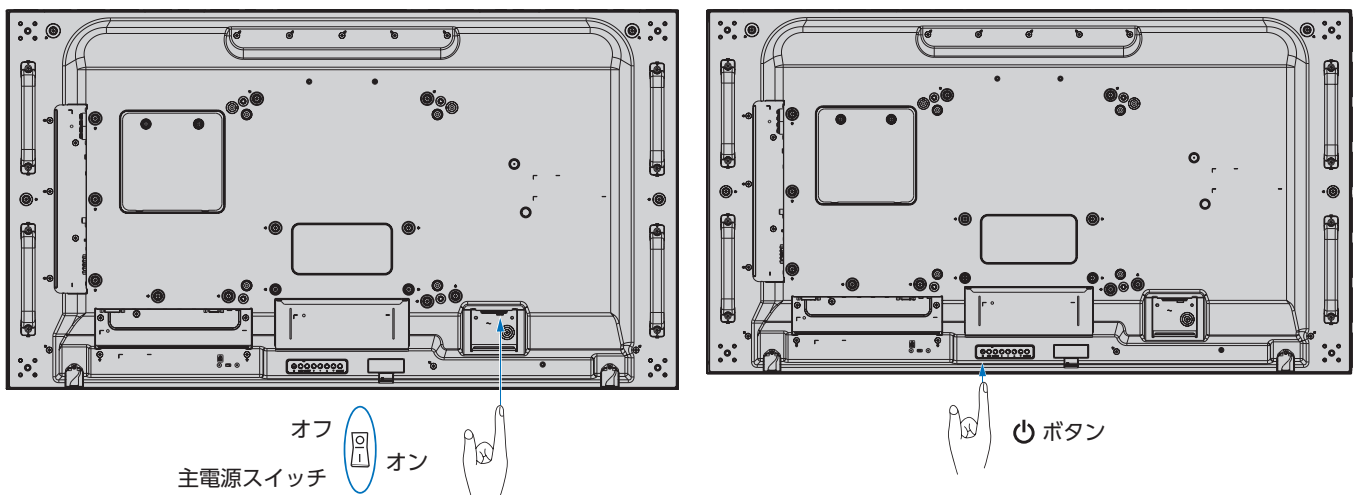
*1：本機がパワーセーブに移行する時間は、OSD メニューの「保護設定」→「パワーセーブ設定」→「時間設定」で設定できます。

*2：「パワーセーブ」が「許可」になっている場合。

お知らせ

- ・電源ランプが短い点灯と長い点灯の組み合わせで点滅した場合は故障の可能性があります。販売店へお問い合わせください。
- ・電源がオンで通常に動作時は青色に点灯します。LED を消灯したい場合は「コントロール」→「電源ランプ」→「スケジュールランプ」で「オフ」を設定してください。

主電源スイッチがオン (|) になっていることを確認してから操作してください。



リモコンの使用範囲

リモコン（オプション）の操作をするときは本機またはセンサーユニット（別売のリモートコントロールキットを接続した場合）のリモコン受光部の方向にリモコンの先を向けてください。

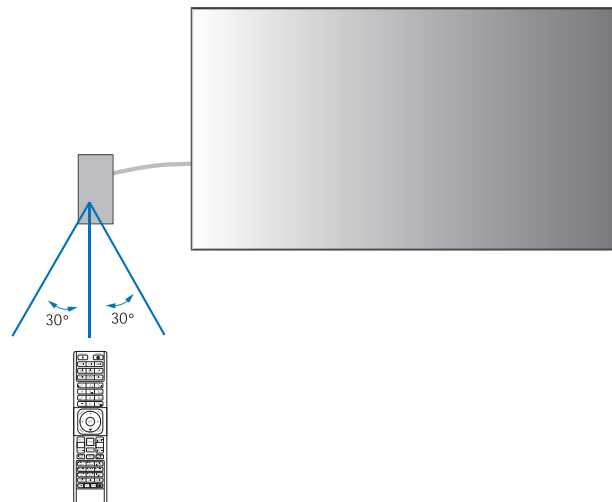
リモコンは、リモコン受光部から 7m 以内、上下左右 30° では 3.5m 以内でご使用ください。

お知らせ

太陽の直射日光や強い光の当たるところ、または、蛍光灯の近くでは、リモコン操作がきかない場合があります。

リモコンの取り扱いについて

- 強い衝撃を与えないでください。
- 水に濡らさないでください。もし濡れた場合は、すぐにふき取ってください。
- 熱やスチームなどにあてないでください。
- 電池を廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。
- 電池交換のとき以外はリモコンのふたを開けないでください。



パワーマネージメント機能

本機の主電源を入れたままでも、コンピューターを使用しないときに本機の消費電力を減少させる機能です。

この機能は VESA DPM 対応パワーマネージメント機能を搭載しているコンピューターと接続して使用する場合のみ機能します。

ビデオカードによっては正しく動作しない場合があります。OSD メニューの「保護設定」→「パワーセーブ」を「許可」した場合、入力信号が失われてから設定した時間が経過すると、自動的にパワーマネージメント機能に入ります。

お知らせ

- お使いのコンピューターやビデオカードによっては、パワーマネージメント機能が働かないことがあります。
- 映像信号が途絶えると、設定した時間の経過後ディスプレイは自動的にオフになります。
- 本機の電源オン、電源オフおよび電源待機状態へ移行するまでのスケジュールを設定することができます。[53 ページ](#)を参照ください。

インフォメーション

リモコンの DISPLAY ボタンを押すと、選択されている映像入力端子、音声入力端子、画面のアスペクトなどの情報を表示します。

⑥

MONITOR ID: 1
IP ADDRESS: 192.168.0.10

DVI
AUDIO:IN1
ASPECT:FULL
1024 X 768
48KHz/60Hz

HDMI2
1360x768
48.0kHz/60.0Hz

① 入力名称

② 選択音声入力名称

③ 画像アスペクト

④ 解像度情報 / 水平周波数 / 垂直周波数

⑤ マルチ画面情報

⑥ モニター ID/IP アドレス

Plug&Play 機能（DVI、DisplayPort、HDMI および VGA）

VESA の DDC（Display Data Channel）2B 規格または DisplayPort 規格に対応したコンピューターと接続した場合には、本機の表示画素数、周波数、色特性などの情報をコンピューターが読み出し、本機に最適な画面が自動的に設定されます。

詳しくはコンピューターの取扱説明書を参照ください。

ピクチャーモードの切り替え

リモコンの PICTURE MODE ボタンで選択する場合

ボタンを押すと各表示モードが 1 ～ 5 で切り替わります。

ピクチャーモードは、ディスプレイの一般的な使用を前提としてあらかじめ設定されています。ピクチャーモード設定の変更については「高度な色補正機能」（[54 ページ](#)）を参照してください。

アスペクト変更

OSD メニューの「映像設定」→「アスペクト」またはリモコンの ASPECT ボタンで画面のアスペクトを選択することができます。

MP、VIDEO 選択時

- フル → ZOOM → 標準



DVI、DisplayPort1、DisplayPort2、VGA(RGB)、OPTION*¹ 選択時

- フル → 1:1 → ZOOM → 標準



*1: 対応するオプションボード装着時のみ。

VGA(YPbPr)、HDMI1、HDMI2 選択時

- フル → ワイド → ダイナミック → 1:1 → ZOOM → 標準



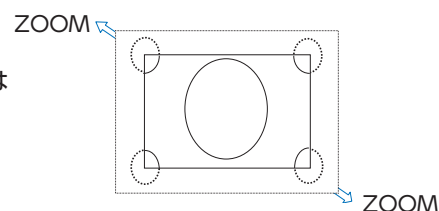
画面のアスペクト	変更前* ²	推奨されるアスペクト設定* ²	説明
4:3		標準	比率を変えずに、できるだけ大きく表示します。
		ダイナミック	4:3 信号を比率を変えて画面いっぱいに拡大します。画像の周辺の一部は表示されなくなります。
スクイーズ		フル	比率を変えて、画面いっぱいに表示します。
レターボックス		ワイド	16:9 レターボックス信号を画面いっぱいに表示します。

*2: 図の灰色の部分は画像表示に使用されない領域です。

1:1 : 画像サイズそのまま表示します。

ZOOM

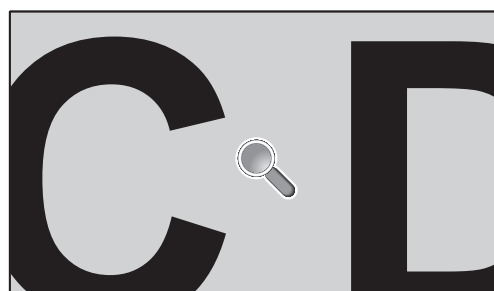
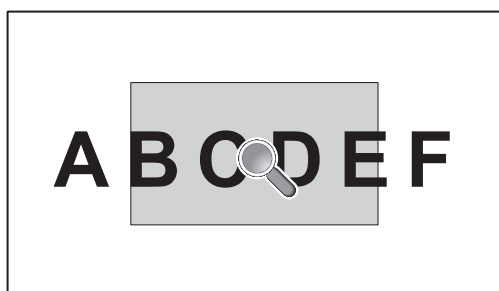
- 画像は、画面の有効表示領域を超えて拡大されます。有効表示領域を超えた部分は見るできません。



お知らせ

- 営利目的または公衆に視聴されることを目的として喫茶店、ホテルなどにおいてアスペクト変更等を利用して画面の圧縮や引き伸ばしなどをおこないますと著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害するおそれがありますのでご注意ください。
- もとの信号と異なる画面のアスペクトで使用したいときは画面に歪みが発生します。
例) 4:3 信号をフルにした場合は横長画面となります。

ポイントズーム機能



リモコンのSET ボタンを使って画像の一部を拡大して表示することができます。

CH + ボタンまたは CH - ボタンで拡大、縮小を調節します。1 ～ 10 倍まで拡大することができます。

1. リモコンのSET ボタンを押します。アイコンが拡大鏡に変わります。
2. ▲、▼、▶、◀ ボタンで拡大したい部分にアイコンを移動します。
3. CH + ボタンを押すとアイコンの位置を中心に画像が拡大します。CH - ボタンを押すと縮小します。
4. SET ボタンまたは EXIT ボタンを押すと、拡大鏡アイコンが消えます。
5. EXIT ボタンを押すと、画像が元のサイズに戻ります。
6. MENU ボタンを押すと OSD メニューを表示します。

お知らせ

- 「アスペクト」の「ダイナミック」と「ZOOM」は解除され、フルの表示で動作します。ポイントズーム機能解除後は、元の設定に戻ります。
- ポイントズーム機能動作時に「アスペクト」の設定を変更すると、「ダイナミック」と「ZOOM」はフルの表示で動作します。
- 倍率を切り替えると画像が乱れることがあります。
- 以下の機能が設定されている場合、ポイントズーム機能は解除されます。
「映像反転」でオフ以外を選択した場合、「マルチ画面モード」、「スクリーンセーバー」、「入力切替」の「スーパー」、「テキストティッカー」、「クローズドキャプション」、「タイルマトリクス」。
- 拡大鏡アイコンは画像が表示されていない部分には移動できません。
- ポイントズーム機能で拡大した表示設定は保存されません。EXIT ボタンを押すと元の表示状態に戻ります。また入力信号を切り替えた場合、本機の電源をオフした場合、電源待機状態から復帰した場合も元の表示に戻ります。
- ポイントズーム機能が動作している場合、スチル機能は使用できません。
- 「ターミナルモード」で「HDMI」を「設定 2」にしている場合、ポイントズーム機能は使用できません。
- DisplayPort 入力信号の解像度 3840 × 2160 (60Hz) の場合、ポイントズーム機能は使用できません。

画面調節（OSD 機能）

本機には画面の調節が簡単にできる OSD（On Screen Display）機能がついています。
OSD 機能により画面上に表示されるメニューを操作し、明るさなどの画面調節などをおこないます。

OSD 画面の構成 OSD 画面は、以下に示すような構成になっています。

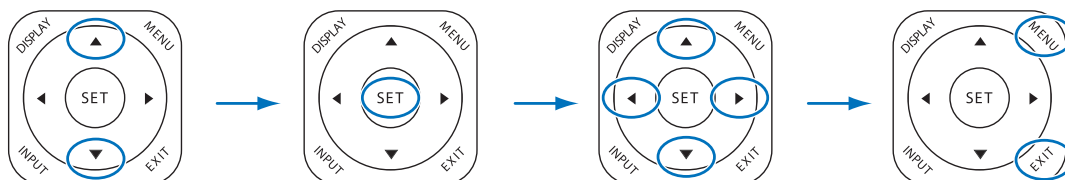


▲または▼ボタンを押してサブメニューを選びます。

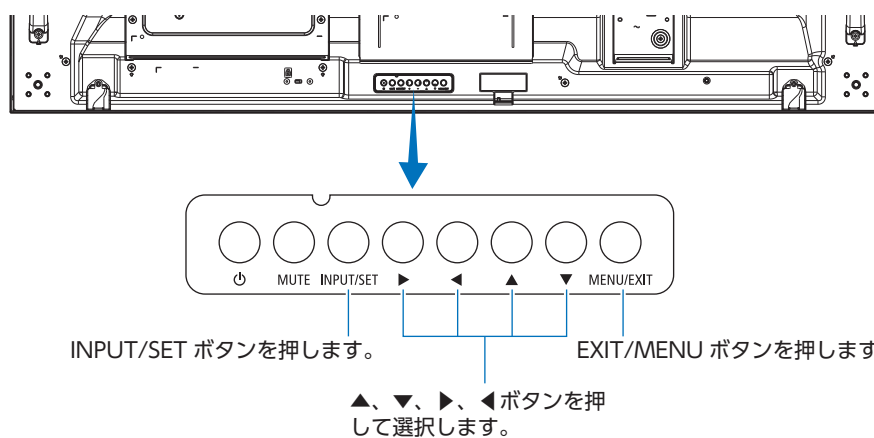
SET ボタンを押します。

▲、▼、▶、◀ボタンを押して調節、または調節項目を選択します。 MENU ボタンまたは EXIT ボタンを押します。

リモコン



本体コントロールパネル



以下に、各 OSD メニュー項目の機能を簡単に示します。メニュー内容の詳細は「OSD 調節リスト」(110 ページ)に一覧表示されています。



入力：入力信号を選択します。



映像設定：規定のピクチャーモードの選択、色設定の手動調節、SPECTRAVIEW ENGINE の有効 / 無効の切り替え、アスペクト比調節、映像反転、映像回転をおこないます。



音声設定：音量やバランス、イコライザーの調節、音声入力の切り替え、マルチ画面モード時の音声選択をおこないます。



スケジュール：本機電源制御のスケジュール作成、休日 / 平日 / 週末スケジュールの設定、日付と時刻の設定、サマータイムの設定および本機が電源待機状態になるまでの時間設定をおこないます。



マルチ入力：マルチ画面 (Picture in picture および Picture by picture) の設定、入力信号検出方法の設定、入力端子の設定をおこないます。



OSD：言語、表示時間、表示位置、透過、向きなど、OSD メニューに関する設定をおこないます。



マルチディスプレイ：ディスプレイのモニター ID 設定、マルチスクリーン構成の設定をおこないます。



保護設定：冷却ファンの制御設定、パワーセーブおよび電源オンへの移行時間設定、スクリーンセーバー設定、ディスプレイ内エラー発生時の通知メールの有効設定など、ディスプレイのハードウェア保護に関する設定をおこないます。



コントロール：ネットワーク情報、セキュリティー、電源などに関する設定をおこないます。



オプション：装着したオプションボードに関する設定をおこないます。



システム：モニターインフォメーション (モデル名、シリアルナンバー、CO₂ 削減量) 表示、ファームウェアのリビジョン表示、MAC アドレスの表示や、工場出荷時状態へのリセットをおこないます。

メディアプレーヤーでできること

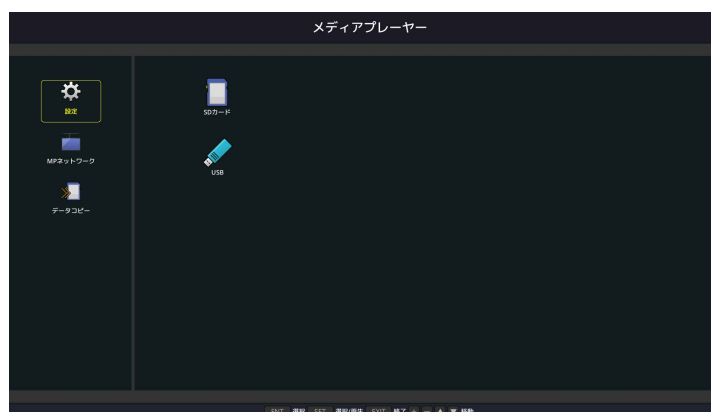
USB ストレージデバイスや microSD メモリーカードに保存している動画・静止画・BGM と当社のオーサリングソフトウェアで作成したメディアパッケージを再生します。USB ストレージデバイスの接続および microSD メモリーカードの挿入のしかたについては「USB 機器との接続」(36 ページ) を参照してください。

リモコンの MEDIA PLAYER ボタンを押す、または OSD メニューの「入力」→「MP」を選択してください。

リモコンの ▲、▼、▶、◀、SET ボタンでメディアプレーヤーを操作できます。

画面の「+」は▶ボタン、画面の「-」は◀ボタンで対応します。

メディアプレーヤー画面の構成



	設定	スライドショー、メディアパッケージ、自動再生、ネットワーク設定を表示します。
	MP ネットワーク	ネットワーク設定と共有フォルダー設定を表示します。
	データコピー	共有フォルダーもしくは USB ストレージデバイスから microSD メモリーカードにデータをコピーします。
	SD カード	接続している microSD メモリーカード内のファイルリストを表示します。 (アイコン表示にした場合、読み取れたファイルのアイコンはカラーで表示します。 読み取れなかったファイルはグレーのアイコンで表示します。)
	USB	接続している USB ストレージデバイス内のファイルを表示します。 (アイコン表示にした場合、読み取れたファイルのアイコンはカラーで表示します。 読み取れなかったファイルはグレーのアイコンで表示します。)

お知らせ

- 「タイルマトリクス」を実行中にメディアプレーヤーの画像を再生すると、各ディスプレイは同期していないため、表示タイミングに差が生じることがあります。
- OSD メニューの「OSD 方向」→「ポートレート」に設定している場合、再生する動画は反時計回りに 90° 回転したデータを使用してください。
- 本機を縦型で使用する場合、OSD メニューの「OSD 方向」→「ポートレート」に設定してください。OSD 方向の設定によって静止画の表示方向が変わります。
- メディアプレーヤーの画面が表示されているときに本体のコントロールパネルボタンのいずれかを押すと、OSD を操作するかメディアプレーヤーを操作するかを確認画面が表示されます。



	メニュー表示	キー操作選択画面の「メディアプレーヤー」を選択するとメディアプレーヤー画面にメニュー表示アイコンが表示されます。このアイコンにカーソルを合わせ本体の INPUT/SET ボタンを押すと本体のボタン操作をメディアプレーヤーから OSD メニューの操作に切り替えます。
--	--------	--

ファイル表示画面

メディアプレーヤーのファイル表示形式には、アイコン表示とサムネイル表示があります。



アイコン表示

	戻る	1 つ上の階層に戻ります。
	ページアップ	前のファイルの一覧を表示します。
	ページダウン	次のファイルの一覧を表示します。
	設定	設定画面を表示します。
	サムネイル / アイコン	サムネイル表示とアイコン表示を切り替えます。
	並び順	名前（ファイル名）、種類（拡張子）、日付（作成日時）、サイズ（ファイル容量）の順にファイルの表示順を切り替えます。初期値は「名前」です。
	取り外し	本機に接続している USB ストレージデバイスまたは microSD メモリーカードを取り外す際に選択します。 「取り出し」を選択する際は、ファイル一覧を表示しているときにおこなってください。
	ENT ボタン (リモコン)	アイテムの選択に使用します。「スライドショー」で表示するファイルを選択したり、「自動再生」、「プリセットコンテンツ」で使用するフォルダーを選択できます。

お知らせ

- 1 つのフォルダー内は、フォルダーアイコンを含め、最大 300 個まで表示します。
- フォルダーの階層は 16 階層まで表示します。
- 種類が判別できないファイルのアイコンは「？」と表示されます。
- ファイルによってはサムネイルが表示されない場合があります。

ファイルの再生

リモコンの ▲、▼、▶、◀、SET ボタンを使用しメディアプレーヤーの操作をします。

1. ファイルリストを表示するために「SD カード」または「USB」を選択する。
2. スライドショーで再生しないファイルを選択する。
ディレクトリーに表示されたファイルはすべてスライドショーの表示対象として選択されています。再生しないファイルにカーソルを合わせ ENT ボタンを押すと再生しないファイルとして設定されます。
3. 一番最初に再生したいファイルにカーソルを合わせ、SET ボタンを押す。

手動でスライドショーを再生する場合の手順です。表示画像を切り替える場合は  ボタンを押します。ディレクトリー内の次のファイルを再生します。ファイルの再生順は、ファイル表示画面で「並び順」をおこなった順番になります。

お知らせ

自動的に画像を切り替える場合は「自動再生」を選択します。

リモートコントロールの使い方

	1 つ前の動画ファイルまたは静止画ファイルを選択します。
	選択した動画ファイルの再生やスライドショーの再生をします。
	次の動画ファイルまたは静止画ファイルを選択します。
	動画再生またはスライドショーの再生を停止します。
	動画再生またはスライドショーの再生を一時停止します。
	2、5、6 のボタンが押されるまで動画を戻します。
	2、5、6 のボタンが押されるまで動画を進めます。

サイドパネルの色の変え方

表示画像がフル画面表示されていない場合など、サイドパネルの色を変えることができます。

1. MENU ボタンを押す。
2. OSD メニューの「保護設定」→「サイドパネル」にカーソルを合わせ SET ボタンを押す。
3. ▶ / ◀ ボタンで色を選択する。
4. EXIT ボタンを押し OSD メニューを閉じる。

スライドショーの設定

リモコンの ▲、▼、▶、◀ ボタンを使用しメディアプレーヤーの操作をします。

1. メディアプレーヤーのホーム画面で「設定」にカーソルを合わせ SET ボタンを押す。
2. 「再生モード」にカーソルを合わせ SET ボタンを押す。
3. 「自動」にカーソルを合わせ SET ボタンを押す。
4. 「間隔」にカーソルを合わせ ▶ / ◀ ボタンで画像の切り替え時間を設定する。
切り替え時間は 5 ～ 300 秒の間で設定します。
5. 必要に応じて他の設定もおこなう。
 - 再生終了後、ファイルを繰り返し再生する場合は「繰り返し」にカーソルを合わせ SET ボタンを押します。
 - 静止画を表示しているときにバックミュージックを流す場合は、「音楽ファイル」にカーソルを合わせ SET ボタンを押します。再生したいファイルを選択し SET ボタンを押します。設定後「メディアプレーヤー設定」画面に戻ります。「BGM」を選択し SET ボタンを押します。その際「BGM」に ☒ マークがついたことを確認してください。
 - 「再生終了画面」で SET ボタンを押し、スライドショー再生後の表示画面を設定します。
 - **黒画面** - すべてのファイルを再生した後に黒画面を表示します。 **[5]** ボタンを押すと黒画面表示を解除します。
 - **ファイル選択画面** - すべてのファイルを再生した後にファイル選択画面を表示します。
 - **最終画面保持** - すべてのファイルを再生し、最後の画像を表示した状態を維持します。 **[5]** ボタンを押すと画像表示を解除します。
6. メディアプレーヤー画面に戻す場合や設定を保存する場合は、「確定」を選択し SET ボタンを押す。

お知らせ

- ファイル表示画面で「並び順」をおこなった順に表示します。動画ファイルと静止画ファイルがある場合は、並び順に従って両ファイルを再生します。
- 音楽ファイルはスライドショーが静止画ファイルを再生している間だけ再生します。動画ファイルを再生している間は音楽ファイルの再生は停止します。再び静止画ファイルが再生されると音楽ファイルも再生します。

自動再生

リモコンの ▲、▼、▶、◀ ボタンを使用しメディアプレーヤーの操作をします。

1. 「設定」にカーソルを合わせ SET ボタンを押す。
2. 「自動再生」にカーソルを合わせ SET ボタンを押す。
3. 「スライドショー」にカーソルを合わせ SET ボタンを押す。
SET ボタンを押すと自動的に「メディアプレーヤー設定」に戻ります。
4. 「フォルダー」にカーソルを合わせ SET ボタンを押す。
5. 「SD カード」または「USB」を選択する。
本機に接続したスライドショーのファイルを保存したデバイスを選択してください。
6. SD CARD または USB のルートディレクトリーを選択するために ENT ボタンを押す。
スライドショーのファイルがサブフォルダーに保存されている場合は、SD CARD または USB で SET ボタンを押します。
目的のファイルにカーソルを合わせ ENT ボタンを押します。
ENT ボタンを押すと自動的に「メディアプレーヤー設定」に戻ります。
7. 「メディアプレーヤー」画面に戻す場合や設定を保存する場合は、「確定」を選択し SET ボタンを押す。
「自動再生」は静止画や動画を自動的に再生します。ファイル表示画面で「並び順」をおこなった順に表示します。

自動再生を選択した場合以下の状態で自動再生をおこないます：

- 本機の電源をオフしたときに入力が「MP」の状態の本機の電源をオンしたときに microSD メモリーカードまたは USB ストレージデバイスが接続されている。
- 本機の電源がオンでメディアプレーヤー画面が表示されていて、Media Player USB ポートに USB ストレージデバイスが接続されている。
- 本機の電源がオンで microSD メモリーカードが microSD カードスロットに接続されていて、メディアプレーヤー画面が表示されている。

お知らせ

- 本機の電源がオンのときに USB ストレージデバイスまたは microSD メモリーカードを本機に接続しないでください。
本機の故障やデバイスに保存されたファイルの破損を避けるために、本機の電源がオフのときにデバイスを接続することをおすすめします。
- 本機が検知する USB ストレージデバイスは 1 つです。USB ハブはサポートしていません。

表示 / 再生可能なファイル

静止画 — 対応フォーマット

拡張子	対応
.jpg, .jpe, .jpeg	ベースライン、プログレッシブ、RGB、CMYK
.png	インターレース、 α チャンネル

動画 — 対応フォーマット

拡張子	動画コーデック	音声コーデック
.mpg, .mpeg	MPEG1, MPEG2	MPEG, MPEG Audio Layer3 (略称: MP3), AAC-LC (略称: AAC), LPCM
.wmv	H.264, WMV	MP3, WMV Standard, WMA 9/10 Professional
.mp4	H.264	MP3, AAC
.mov	H.264	MP3, AAC

BGM — 対応フォーマット

拡張子	音声コーデック
.wav	LPCM
.mp3	MP3

詳細情報

項目	Conditions	
解像度	JPEG	5000 × 5000
	PNG	4000 × 4000
	MPEG1	480@30fps
	MPEG2	MP@ML, MP@HL, 1080p@30fps / 1080i@60fps
	H.264	High profile Lv.4.2, 1080p@30fps / 1080i@60fps
	WMV	Advanced@L3, Simple&Main
動画ビットレート	—	15Mbps まで
音声サンプルレート	—	48KHz まで
音声ビットレート	MP2	384Kbps まで
	MP3	320Kbps まで
	AAC	1440Kbps まで

お知らせ

- 上記の条件を満たしている動画ファイルであっても再生できない場合があります。
- USB ストレージデバイスや microSD メモリーカードの種類、ファイルのビットレートによっては正常に動画が再生されない事があります。
- デジタル著作権管理 (Digital Right Management, DRM) 付きのファイルは再生できません。
- 動画ファイルの最大解像度は、横: 1920、縦: 1080 になります。

メディアパッケージ

対応するソフトウェアで作成したコンテンツデータを、作成したスケジュールに応じて本機で再生できます。
作成したコンテンツデータを microSD メモリーカードまたは USB ストレージデバイスに保存してください。
メディアパッケージを再生する場合は、拡張子「.sch」のファイルを選択してください。

お知らせ

- 2025 年 7 月現在対応するソフトウェアはありません。また将来の発売をお約束するものではありません。
- コンテンツで設定されたスケジュールは本機の「日付 / 時刻設定」を元に動作します。
コンテンツ再生中に本機の「日付 / 時刻設定」を変更した場合はコンテンツの再生を一度止め、再び再生してください。
再生後は設定変更した日付 / 時刻を元にコンテンツを再生します。
コンテンツ再生中に言語選択の設定を変更した場合も同様の操作をしてください。

5 章 高度な操作

この章の内容：

- ⇒ 電源スケジュールの作成 (53 ページ)
- ⇒ 高度な色補正機能 (54 ページ)
- ⇒ SPECTRAVIEW ENGINE の使い方 (54 ページ)
- ⇒ スタンドアローンキャリブレーション (58 ページ)
- ⇒ その他のピクチャーモードの使い方 (61 ページ)
- ⇒ マルチ画面モード (62 ページ)
- ⇒ PIP (Picture in picture) 機能の親画面と子画面の制限 (65 ページ)
- ⇒ セキュリティー設定とボタン操作のロック (67 ページ)
- ⇒ パスワードによるセキュリティー (68 ページ)
- ⇒ ボタン操作のロック (69 ページ)
- ⇒ メディアプレーヤーの設定 (71 ページ)
- ⇒ ネットワークおよびその他設定 (72 ページ)
- ⇒ データコピー機能で USB ストレージデバイスまたは共有フォルダーのデータをコピーする (74 ページ)
- ⇒ Web viewer で SD-CARD VIEWER を使用する (74 ページ)
- ⇒ 他のディスプレイの SD-CARD VIEWER に接続する (76 ページ)

電源スケジュールの作成

スケジュール機能により、本機の電源オンと電源待機状態を任意の時刻に切り替えることができます。

スケジュールの作成：

1. OSD メニューの「スケジュール」を表示する。

- ▲ / ▼ ボタンで「スケジュール設定」(118 ページ) を選択します。
- SET ボタンまたは▶ ボタンを押して「設定」に移動します。
- 希望のスケジュール番号にカーソルを合わせ SET ボタンを押します。
- 番号のとなりの四角が黄色表示になります。
これで、スケジュールの作成が可能になります。

2. ▼ ボタンで「電源制御」を選択し、▶ / ◀ ボタンで「オン」を選択する。
電源オフのスケジュールを設定する場合は「オフ」を選択します。

3. ▼ ボタンで「時刻」を選択し、▶ / ◀ ボタンで時刻を設定する。

4. ▲ / ▼ ボタンで「入力」を選択し、▶ / ◀ ボタンで入力信号を選択する。

5. ▲ / ▼ ボタンで「PIC. MODE」を選択し、▶ / ◀ ボタンでピクチャーモードを選択する。

6. ▼ ボタンで「日付」、「毎日」、「毎週」、「平日」、「週末」または「休日」を選択し、作成するスケジュールに対応するメニュー項目を選択して SET ボタンを押す。

特定の日にスケジュールを設定するときは「日付」にカーソルを合わせ SET ボタンを押します。

毎日適用されるスケジュールを設定するときは「毎日」にカーソルを合わせ SET ボタンを押します。

特定の曜日にスケジュールを設定する場合は上下ボタンで曜日を選び SET ボタンで決定します。続いて「毎週」を選択して SET ボタンを押します。「平日」、「週末」、「休日」も同様にして設定します。

「平日」、「週末」、「休日」の設定は「スケジュール設定」の中でおこないます。

7. ひとつのスケジュールの作成が完了すると、別のスケジュールの作成が可能になる。MENU ボタンを押して OSD メニューを終了するか、EXIT ボタンを押してひとつ前の OSD 画面に戻る。



お知らせ

- 複数のスケジュールで日時が重なり合う場合は、番号の大きいスケジュールが優先されます。
例えば、番号7のスケジュールが番号1のスケジュールより優先されます。
- 選択した「入力信号」や「ピクチャーモード」が使用不可能な場合は、その入力信号やピクチャーモードが赤で表示されます。

高度な色補正機能

本機は、独自の色補正機能である SPECTRAVIEW ENGINE (SVE) を内蔵しています。工場出荷時の測定で得られたディスプレイ個々の特性を考慮しながら周囲温度や経年劣化による影響を補正し、色や輝度の均一性、精度、安定性において良い状態を維持します。

Adobe® RGB や sRGB などの正確な色再現、ICC プロファイルと 3 次元ルックアップテーブルを使用したプリンター出力エミュレーション機能など、さまざまなカラーマネジメント機能を備えています。

SVE の動作はオンモードとオフモードがあります。

リモコンによる SPECTRAVIEW ENGINE のオン / オフの切り替え：

1. MENU ボタンを押す。
2. OSD メニューの「映像設定」→「SPECTRAVIEW ENGINE」を選択する。
▲、▼、▶、◀ ボタンで OSD メニューを操作します。
3. 「オン」または「オフ」にカーソルを合わせ SET ボタンを押し、SPECTRAVIEW ENGINE を有効または無効にする。
4. EXIT ボタンを押して「映像設定」メニューのトップに戻る。

SPECTRAVIEW ENGINE の使い方

SVE がオンの場合、本機の内部プロセッサがカラーマネジメント機能を実行し、高度なレベルの色や輝度の調節が可能になります。白色点調節は CIE x, y 座標制御でおこない、グレースケール応答はディスプレイ自身が計算、管理します。

SVE には均一性の調節機能があり、任意の補正レベルを選択することにより、明るさと色の均一性を最大にするか、輝度 (明るさ) を最大にするか選ぶことができます。

SVE は 5 つのピクチャーモードを記憶しており、それぞれ個別に設定、選択することができます。各ピクチャーモードに、自由にカスタマイズした色設定を保存しておくことができます。それにより、ピクチャーモードを変更するだけですばやく設定を切り替えることが可能になります。

SVE を使用することで、人間の異なる色覚特性を模擬的に表示したり、液晶ディスプレイの出力色域を任意に選択したりするといった高度な機能を実行します。

SVE の各ピクチャーモードの設定を変更する：

ピクチャーモード内のそれぞれの設定値は、次ページの「ピクチャーモードのプリセット一覧」の表にあるように、一般的な使用に対応できるようあらかじめ設定されています。SVE のピクチャーモードで任意のプリセットを選択すると、それ以外の設定値は選択したプリセットの初期値に置き替わります。また、各設定値は必要に応じて個別に設定することができます。

1. MENU ボタンを押す
2. OSD メニューの「映像設定」→「ピクチャーモード」の順に操作する。
▲、▼、▶、◀ ボタンで OSD メニューを操作します。
3. ▶ ボタンを押して「ピクチャーモード」を選択する。
4. 「ピクチャーモード」で「1」から「5」のいずれかの設定を選択する。

• 1 → 2 → 3 → 4 → 5



5. 「プリセット」でいずれかのプリセット項目を選択する。

本機に表示するコンテンツあるいは使用するソフトウェアにとって最適な項目を選択してください。

各ピクチャーモードにおける設定値として、輝度、BLACK (黒レベル)、ガンマ、WHITE (白色点の色温度、白色点の CIE x, y 色度)、RED (赤のプライマリー x, y 色度)、GREEN (緑のプライマリー x, y 色度)、BLUE (青のプライマリー x, y 色度) があります。設定の変更は、OSD メニューの「ピクチャーモード」でおこないます。

設定値を変更するときは ▼ ボタンを押して変更したい設定値を選択し、▶/◀ ボタンで値を変更します。

6. EXIT ボタンを押して「映像設定」メニューのトップに戻る。



ピクチャーモードのプリセット一覧

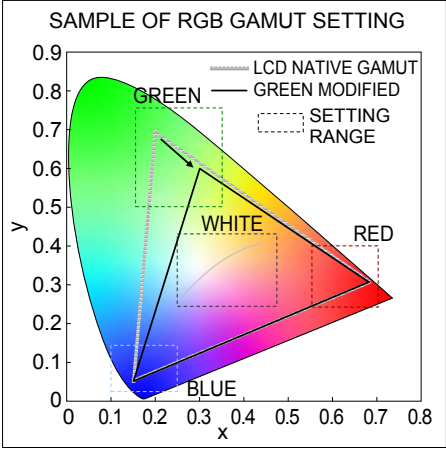
プリセット	目的
sRGB	インターネット、Windows®、スマートフォン、デジタルカメラで標準的に用いられる設定です。一般的なカラーマネジメント用途におすすめします。
AdobeRGB	プロ用デジタルカメラ、印刷環境など高度なグラフィック用途で用いられる広色域設定です。
eciRGB_v2	ヨーロッパの印刷業界で用いられる色空間です。
DCI-P3	デジタルシネマに用いられる設定です。
Rec.709	HDTV 放送に用いられる設定です。
Rec.2100(HLG)	UHD 放送などの HDR 映像に適した設定です。
Rec.2100(PQ)	UHD パッケージコンテンツやインターネット動画配信サービスなどの HDR 映像に適した設定です。
Low Blue	画面から発光されるブルーライトを低減し、目に優しい表示をおこないます。紙の見え方に近い設定です。
Signage	デジタルサイネージなどの明るい環境での使用に適した、高輝度・高色温度の色設定です。
TV Studio	モニターの画面がカメラで撮影されるようなスタジオ撮影に適した色設定です。TV スタジオのような電球色照明に合った色合いで表示します。
Full	色空間の補正をおこなわず、液晶パネルの特性で表示します。外部機器でカラーマネジメントをおこなう際に適した設定です。
DICOM sim.	X 線画像の表示など医用画像の参照に適した画質設定です。実際の診断には使用しないでください。

お知らせ

「ピクチャーモード」の各設定値を初期値から変更すると、プリセット名には*マークが表示されます。「プリセット」の初期設定値には影響しません。

SpectraViewの設定

設定一覧	目的
輝度	画面の目標輝度を設定します。液晶パネルの特性などにより目標値に達しない場合、文字色が緑色に変化します。
BLACK	画面の黒レベルを設定します。液晶パネルの特性などにより目標値に達しない場合、文字色が緑色に変化します。
ガンマ	グレイスケールの見え方など、階調特性を設定します。
	sRGB：sRGB 用の設定です。
	L Star：L*a*b* 表示系で使われる設定です。
	Rec.1886：HDTV 放送で使われる設定です。
	HDR-Hybrid Log：UHD 放送などの HDR 映像に適した設定です。システムガンマ値を設定できます。
	SYSTEM GAMMA：システムガンマ値を 0.5-2.0 の範囲で設定します。「自動」選択時は、「輝度」で設定した値に応じて自動的に設定されます。
	HDR-ST2084 (PQ)：UHD パッケージコンテンツやインターネット動画配信サービスなどの HDR 映像に適した設定です。最大輝度値を設定できます。
	PEAK LUMI.：ST2084(PQ) 信号が持つ輝度情報のうち、表示をおこなう最大輝度値を設定します。数値を上げると白飛びが改善されますが、画面が暗くなります。「自動」選択時は、「輝度」で設定した値を最大輝度値として表示します。
	DICOM：医用画像の参照に適した設定です。
	Programmable：対応アプリケーションにより設定した階調特性を適用します。
Custom：数値によるガンマ設定をおこないます。	
カスタム値：一般的な画像では 2.2 が使われます。数値を上げると中間色が暗くなり、数値を下げると中間色が明るくなります。	
SAMPLE OF PRESET GAMMA	
WHITE (K)	白色の色度を、色温度 (K) もしくは CIE x, y 座標で設定します。x 値を上げると赤味が、y 値を上げると緑味が、x, y 値を両方下げると青味がそれぞれ増加します。Native は液晶パネルの白色を表示します。
WHITE (x, y)	
WHITE RANGE	

設定一覧	目的
RED (x, y)	ディスプレイの色域をつくる三原色(赤、緑、青)に関し、色度を CIE x, y 座標で設定します。白やグレーなど無彩色以外のすべての色に影響します。
GREEN (x, y)	
BLUE (x, y)	
	 The diagram, titled "SAMPLE OF RGB GAMUT SETTING", shows a CIE color space plot with x and y axes ranging from 0 to 0.8. It illustrates the "LCD NATIVE GAMUT" (dashed line) and the "GREEN MODIFIED" gamut (solid line). A "SETTING RANGE" is indicated by a dashed box. The primary colors are labeled: RED, GREEN, and BLUE. The white point is labeled "WHITE".

お知らせ

- ピクチャーモードごとに、「エミュレーション」、「6 色調節」、「ピクチャー設定」(111 ページ) の設定値が保存されます。
- コンピューターのカラー設定 (ICC プロファイル) とピクチャーモードの設定が異なる場合は正しい色再現性が得られません。

スタンドアローンキャリブレーション

スタンドアローンキャリブレーション機能

コンピューターを使わずにキャリブレーションできるため、ディスプレイの台数が少ないときのカラーマッチングに便利な機能です。カラーセンサーの測定値に基づいて画面の表示色を校正（キャリブレーション）し、「ピクチャーモード」の設定値に近づけます。SpectraView Engine 映像プロセッサの基準である工場出荷時のキャリブレーションデータが更新され、すべての「ピクチャーモード」の表示色が一度に校正されます。「ピクチャーモード」変更後に再実行する必要はありません。キャリブレーション結果に問題がある場合、データを工場出荷状態にリセットすることもできます。

スタンドアローンキャリブレーションをおこなうには以下のセンサーが必要です。

- MDSVSENSOR3 カラーセンサー：本体の USB1 (SENSOR) ポートに接続してください。表示されるメッセージに従って操作すると、ディスプレイを自動的にキャリブレーションすることができます。MDSVSENSOR3 の詳細は付録 A (109 ページ) を参照ください。

または

- 市販のカラーセンサー：測定値を CIE Y/x/y 単位（Y 単位は cd/m^2 ）で表示できるセンサーをお使いください。表示色の測定は手動でおこないます。測定値を CIE Y/x/y で OSD に設定してください。「検証」と「白色コピー」は実行できません。

お知らせ

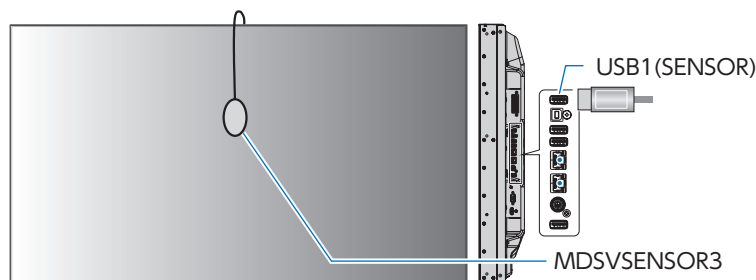
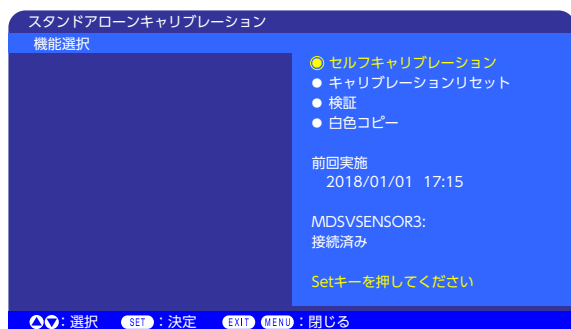
上記以外のカラーセンサーは対応していません。

お知らせ

- より正確なキャリブレーション結果が得られるよう、キャリブレーションや測定の開始前に本機を 30 分程度ウォームアップすることをおすすめします。
- MDSVSENSOR3 の環境光測定用カバーを外した状態で測定してください。詳細は MDSVSENSOR3 の取扱説明書を参照ください。
- MDSVSENSOR3 カラーセンサーを本体の USB1 (SENSOR) ポートに接続する必要があります。本機の設置の際は、ポートへの接続が可能になるようにスペースを空けておくことをおすすめします。
- 「ピクチャーモード」の設定値と カラーセンサーの測定値には微妙な差異が生じます。差異が生じる原因はカラーセンサーごとの特性差、温度や使用時間による表示特性の変化、測定する画面位置や入力信号の特性など様々です。
- 「スタンドアローンキャリブレーション」を実行するには「SPECTRAVIEW ENGINE」が「オン」に設定されていることを確認してください。
- キャリブレーション後は画面の表示色が変化します。「ピクチャーモード」の設定値は変化しません。
- 「SPECTRAVIEW ENGINE」が「オフ」のときの表示色には影響しません。

リモコンでスタンドアローンキャリブレーション画面の開き方

1. MENU ボタンを押す。
2. ▲、▼、▶、◀ボタンで OSD メニューの「映像設定」→「SPECTRAVIEW ENGINE」を選択する。
3. 「オン」にカーソルを合わせ SET ボタンを押す。
4. 「キャリブレーション」にカーソルを合わせ SET ボタンを押す。
スタンドアローンキャリブレーション画面が開きます。
5. OSD メニューを選択し SET ボタンを押す。
6. EXIT ボタンを押し OSD メニュー画面を閉じる。



OSD の指示に従い操作をおこなってください。

セルフキャリブレーション： カラーセンサーの測定値に基づいて画面の表示色をキャリブレーションします。

MDSVSENSOR3 カラーセンサーを使用する場合、カラーセンサーを本体の USB1 (SENSOR) ポートに接続し、カバーを開けてから画面の中央に置いてください。表示されるメッセージに従って操作するとディスプレイは自動的にキャリブレーションされます。

市販のカラーセンサーを使用する場合は、表示されるメッセージに従って画面中央の色を手動で測定し、測定値を CIE Y/x/y で OSD メニューに設定してください。Y 単位は cd/m^2 を使用してください。

製品の使用状況や環境によりますが、1 年に 1 回キャリブレーションをおこなうことをおすすめします。

キャリブレーションリセット： 「セルフキャリブレーション」の実行結果を削除し、工場出荷時のキャリブレーションデータに戻します。すべてのピクチャーモードの表示色に影響します。対応アプリケーションで画面ムラを調節した場合、そのデータも削除されます。「ピクチャーモード」の各設定値は変化しません。

検証： 画面の表示色を MDSVSENSOR3 カラーセンサーで測定し、キャリブレーション状態が正しいか確認します。MDSVSENSOR3 カラーセンサーを USB1 (SENSOR) ポートに接続し、画面の中央に置いてください。多数のカラーパッチを使い、カラーセンサーで測定された画面の表示色と目標である「ピクチャーモード」設定値とを比較します。比較結果は平均色差 (CIE dE2000 単位) で表示されます。大きな値は画面の表示色と「ピクチャーモード」設定値の差が大きいことを示します。平均色差が 3.0 を超えた場合はセルフキャリブレーションをおこない、表示色をキャリブレーションすることをおすすめします。

「セルフキャリブレーション」をあらかじめ実行してください。実行していない場合、「検証」は利用できません。

お知らせ

「セルフキャリブレーション」、「検証」、「白色コピー」は HDMI 入力で 3840x2160(60Hz) 信号をご利用の場合、実行できません。

「セルフキャリブレーション」と「検証」の詳細な結果はディスプレイに保存されており、対応アプリケーションで表示できます。実行時間を正しく記録するため、あらかじめ OSD メニューの「スケジュール」→「日付 / 時刻設定」を設定してください。

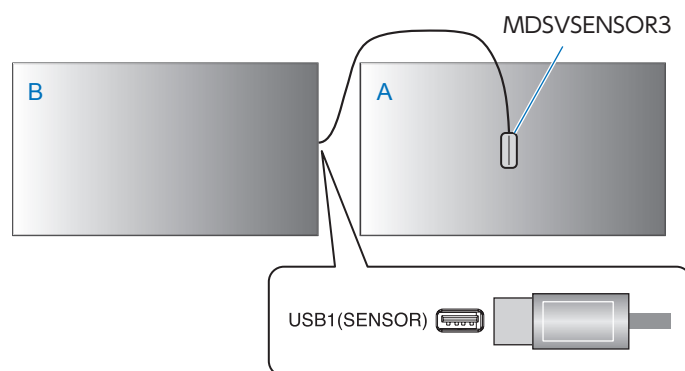
白色コピー：

基準にしたいディスプレイの白色を MDSVSENSOR3 で測定し、マルチスクリーン構成時など、別のディスプレイと同じ白色となるよう「ピクチャーモード」の「輝度」と「White」を自動調節する機能です。ディスプレイをすべて再度キャリブレーションすることなく、隣り合うディスプレイの白色を合わせることができます。

実行する前に、すべてのモニターに全白画面を表示してください。

調節したいディスプレイ（B）の USB1 (SENSOR) ポートに MDSVSENSOR3 を接続し、基準にしたいディスプレイ（A）の画面に MDSVSENSOR3 を置きます。「白色コピー」を実行すると、ディスプレイ（A）の白色が測定され、測定値と一致するようディスプレイ B の白色が変化します。画面の色を確認しながら測定結果を微調節することもできます。測定値に戻したい場合は再測定を選択してください。

「セルフキャリブレーション」をあらかじめ実行してください。実行していない場合、「白色コピー」は利用できません。



ディスプレイ A：基準となる白色を表示したディスプレイ
ディスプレイ B：あわせたいディスプレイ

お知らせ

複数のディスプレイの色調節をおこなう場合は、「白色コピー」より「セルフキャリブレーション」を実行することをおすすめします。

その他のピクチャーモードの使い方

SpectraView Engine がオフのとき、一般的な R/G/B 単位で白色点を調節できます。OSD メニューの「SPECTRAVIEW ENGINE」を「オフ」にする手順については [54 ページ](#) を参照ください。

SpectraViewEngine がオフの場合、設定できるピクチャーモードが変化します。ピクチャーモードは「ピクチャーモード一覧」表のように一般的な用途に向けて設定されています。

ピクチャーモードを変更する：

OSD メニューの「映像設定」→「ピクチャーモード」、またはリモコンの PICTURE MODE ボタンで表示モードを選択します。

DVI、HDMI1、HDMI2、DisplayPort1、DisplayPort2、VGA(RGB)、OPTION*¹ 選択時

• STANDARD → sRGB → CINEMA → CUSTOM1 → CUSTOM2 → HIGHBRIGHT

*¹ 対応するオプションボード装着時のみ。

VGA(YPbPr)、VIDEO、MP 選択時

• STANDARD → CINEMA → CUSTOM1 → CUSTOM2 → HIGHBRIGHT

ピクチャーモード一覧

ピクチャーモード	目的
HIGH BRIGHT	最も高輝度な表示が可能です。
STANDARD	標準の設定です。
sRGB	Windows [®] の標準色空間です。インターネットや動画の表示など一般的なコンテンツの表示に推奨されます。
CINEMA	暗いシーンの階調表現力を引き上げ、奥行き感を再現する映画に適した設定です。
CUSTOM	任意の設定をおこないます。

お知らせ

OSD メニューの「映像設定」で設定した内容は、現在選択されている「入力」に対し保存されます。

マルチ画面モード

マルチ画面モードでは、画面に2つの入力画面を表示します。子画面を親画面のウィンドウの中に表示すること（Picture-In-Picture）や、親画面と隣り合わせで表示すること（Picture-By-Picture）ができます。

本機のOSDメニューを使ってマルチ画面モードに関する設定をおこなう方法を説明します。マルチ画面モードに関する設定は、本機のWebページによりおこなうこともできます。Webページを使ったOSDメニュー操作（91ページ）を参照してください。

マルチ画面モードを有効にする：

1. リモコンのMENUボタンを押してOSDメニューを表示する
2. OSDメニューの「マルチ入力」→[マルチ画面モード]でオンを選択し、「PIP」（Picture-In-Picture）または「PBP」（Picture-By-Picture）のいずれかを選択する



- **PIP** – 子画面を親画面のウィンドウの中に表示します。



- **PBP** – 子画面を親画面と隣り合わせで表示します。



PIP (Picture-In-Picture) の設定：

1. OSD メニューの「入力選択」を選択する。
 - 「画面 1」(親画面)と「画面 2」(子画面)の映像入力を選択します。
2. OSD メニューの「選択画面」を選択する。
 - 選択画面を「画面 2」に変更します。
子画面(画面 2)ウィンドウの「画面サイズ」、「画面位置」、「アスペクト」を設定します。この設定は、画面 1 が選択画面のときは無効になります。
 - 選択枠とは、OSD メニューを表示したときに現在の選択画面の周囲に表示される赤枠をいいます。この枠の表示はメニュー設定によりオン/オフができます。「マルチ画面モード」を有効にしている場合、どの画面に対して「マルチ入力」の各設定項目をおこなっているかを、赤枠により容易に判別できます。
3. 子画面に対する設定をおこなう。
 - 画面サイズ – リモコンの▶または◀ボタンで子画面のサイズを大きくまたは小さくします。
 - 画面位置 – リモコンの▶または◀ボタンで子画面のウィンドウを移動します。
 - アスペクト – 子画面のウィンドウのアスペクト比を調節します。

PBP (Picture-By-Picture) の設定：

1. OSD メニューの「入力選択」を選択する。
 - 「画面 1」と「画面 2」の映像入力を選択します。
2. OSD メニューの「選択画面」を選択する。
 - 「画面 1」または「画面 2」を選択します。
「画面サイズ」、「画面位置」、「アスペクト」は、それぞれの画面ごとに設定できます。
 - 選択枠とは、OSD メニューを表示したときに現在の選択画面に表示される赤枠をいいます。この枠の表示はメニュー設定によりオン/オフすることができます。「マルチ画面モード」を有効にしている場合、どの画面に対して「マルチ入力」の各設定項目をおこなっているかを、赤枠により容易に判別できます。
3. この状態で、それぞれの画面のウィンドウに対する設定をおこなう。
 - 画面サイズ – リモコンの▶または◀ボタンで選択画面のウィンドウサイズを大きくまたは小さくします。
 - 画面位置 – リモコンの▶または◀ボタンで選択画面のウィンドウを移動します。
 - アスペクト – 選択画面のウィンドウのアスペクト比を調節します。

マルチ入力とその他の設定：

- **マルチ画面モード保持** – 電源オフ状態でもディスプレイにマルチ画面とテキストティッカーが保持されるようにします。
- **テキストティッカー** – 横または縦の表示方向を選択してテキストティッカー表示を有効にします。有効にすると、子画面の表示領域は横方向または縦方向に設定されます。この表示領域に、テキストティッカーなどの子画面の入力信号をテロップ状に合成表示することができます。
子画面の表示位置および表示サイズは任意に設定可能です。子画面表示領域の上辺または左辺を基準に子画面の映像がトリミングされます。
 - **位置** – リモコンの ► または ◀ ボタンで、子画面の表示位置を設定します。
 - **サイズ** – リモコンの ► または ◀ ボタンでテキストティッカー領域の表示サイズを大きくまたは小さくします。
テキストティッカーは、子画面の映像の上側を優先表示します。テキストティッカーの表示サイズを設定することにより、子画面の映像の上側および左側のどれだけの部分が表示されるかが決まります。
 - **信号検出** – 子画面の入力信号の有無に応じてテキストティッカー表示が自動的にオンあるいはオフになります。
 - **入力選択** – 「親画面」（画面 1）および「子画面」（画面 2）の入力信号を設定します。
- **入力信号検出** – 入力信号の自動検出機能に関する設定をおこないます。
 - **FIRST DETECT** – 現在表示している入力信号が無くなると、他の入力端子からの映像信号を探し、最初に見つかった入力の表示に切り替えます。
 - **LAST DETECT** – 現在の入力信号を表示中、別の新たな入力信号を検出すると自動的に新たな入力の表示に切り替えます。現在表示している端子の入力信号が無くなった場合は、他の端子を探し、最初に見つかった入力の表示に切り替えます。
 - **CUSTOM DETECT** – 自動切り替えの対象となる入力信号を選択します。選択した入力信号のみを探して切り替えます。
親画面の映像信号が途絶えたときのみに表示される“安全装置”としてのバックアップ信号に利用することができます。
- **入力切替** – 別の映像入力に切り替えるときの速さを設定します。
HDMI 出力コネクタにケーブルを接続している場合、「高速」または「スーパー」設定時に入力信号を切り替えると映像が乱れることがあります。
HDMI 出力コネクタにケーブルを接続している場合、入力切替の「高速」または「スーパー」は動作しない場合があります。
 - **高速** – 「通常」（出荷時設定）より速く切り替えますが、切り替え時にノイズが出る場合があります。
「高速」選択時に DisplayPort に入力を切り替えると画像が乱れる場合があります。
 - **スーパー** – 切り替えの対象となる「入力 1」および「入力 2」を選択します。選択した 2 つの入力信号間のみで切り替えがおこなわれます。
- **ターミナルモード** – 特定の入力信号の設定をおこないます。「付録 B OSD 調節リスト」内の「ターミナルモード」（[122 ページ](#)）を参照してください。

PIP (Picture in picture) 機能の親画面と子画面の制限

① DisplayPort = 1.1a / HDMI = 設定 1

		子画面										
親画面		DisplayPort1	DisplayPort2	DVI	HDMI1	HDMI2	VGA (RGB)	VGA (YPbPr)	VIDEO	OPTION		MP
	端子	DisplayPort1 (DAISY CHAIN IN)	DisplayPort2	DVI-D	HDMI1 (DAISY CHAIN IN)	HDMI2 (CEC)	VGA (RGB, YPbPr)		VIDEO	Option Board Slot (SLOT2 (DP))	Option Board Slot (SLOT2 (HDMI))	-
	DisplayPort1	DisplayPort1 (DAISY CHAIN IN)	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	DisplayPort2	DisplayPort2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	DVI	DVI-D	○	○	○	—	○	○	—	○	—	—
	HDMI1	HDMI IN1	○	○	—	○	○	○	—	○	—	—
	HDMI2	HDMI2 (CEC)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	VGA (RGB)	VGA (RGB, YPbPr)	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
	VGA (YPbPr)		○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
	VIDEO	VIDEO	○	○	—	—	○	○	○	○	—	—
OPTION	Option Board Slot (SLOT2 (DP))	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	Option Board Slot (SLOT2 (HDMI))	○	○	—	—	○	○	○	—	○	○	—
MP	-	○	○	—	—	○	○	○	—	○	—	○

② DisplayPort = 1.1a / HDMI = 設定 2

		子画面										
親画面		DisplayPort1	DisplayPort2	DVI	HDMI1	HDMI2	VGA (RGB)	VGA (YPbPr)	VIDEO	OPTION		MP
	端子	DisplayPort1 (DAISY CHAIN IN)	DisplayPort2	DVI-D	HDMI1 (DAISY CHAIN IN)	HDMI2 (CEC)	VGA (RGB, YPbPr)		VIDEO	Option Board Slot (SLOT2 (DP))	Option Board Slot (SLOT2 (HDMI))	-
	DisplayPort1	DisplayPort1 (DAISY CHAIN IN)	○	○	○	—	○	○	○	—	—	○
	DisplayPort2	DisplayPort2	○	○	○	—	○	○	○	○	—	○
	DVI	DVI-D	○	○	○	—	○	○	—	○	—	—
	HDMI1	HDMI IN1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	HDMI2	HDMI2 (CEC)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	VGA (RGB)	VGA (RGB, YPbPr)	○	○	○	—	○	—	○	○	—	○
	VGA (YPbPr)		○	○	○	—	—	○	○	○	—	○
	VIDEO	VIDEO	○	○	—	—	○	○	○	○	—	—
OPTION	Option Board Slot (SLOT2 (DP))	—	○	○	—	—	○	○	○	○	—	○
	Option Board Slot (SLOT2 (HDMI))	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
MP	-	○	○	—	—	—	○	○	—	○	—	○

③ DisplayPort = 1.2 / HDMI = 設定 1

		子画面										
親画面		DisplayPort1	DisplayPort2	DVI	HDMI1	HDMI2	VGA (RGB)	VGA (YPbPr)	VIDEO	OPTION		MP
	端子	DisplayPort1 (DAISY CHAIN IN)	DisplayPort2	DVI-D	HDMI1 (DAISY CHAIN IN)	HDMI2 (CEC)	VGA (RGB, YPbPr)		VIDEO	Option Board Slot (SLOT2 (DP))	Option Board Slot (SLOT2 (HDMI))	-
	DisplayPort1	DisplayPort1 (DAISY CHAIN IN)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	DisplayPort2	DisplayPort2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	DVI	DVI-D	—	—	○	—	○	○	—	—	—	—
	HDMI1	HDMI IN1	—	—	—	○	○	○	—	—	—	—
	HDMI2	HDMI2 (CEC)	—	—	○	○	○	○	○	—	○	○
	VGA (RGB)	VGA (RGB, YPbPr)	—	—	○	○	○	—	○	—	○	○
	VGA (YPbPr)		—	—	○	○	○	○	○	—	○	○
	VIDEO	VIDEO	—	—	—	—	○	○	○	—	—	—
	OPTION	Option Board Slot (SLOT2 (DP))	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		Option Board Slot (SLOT2 (HDMI))	—	—	—	○	○	○	—	—	—	—
	MP	-	—	—	—	—	○	○	○	—	—	○

④ DisplayPort = 1.2 / HDMI = 設定 2

		子画面										
親画面		DisplayPort1	DisplayPort2	DVI	HDMI1	HDMI2	VGA (RGB)	VGA (YPbPr)	VIDEO	OPTION		MP
	端子	DisplayPort1 (DAISY CHAIN IN)	DisplayPort2	DVI-D	HDMI1 (DAISY CHAIN IN)	HDMI2 (CEC)	VGA (RGB, YPbPr)		VIDEO	Option Board Slot (SLOT2 (DP))	Option Board Slot (SLOT2 (HDMI))	-
	DisplayPort1	DisplayPort1 (DAISY CHAIN IN)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	DisplayPort2	DisplayPort2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	DVI	DVI-D	—	—	○	—	○	○	—	—	—	—
	HDMI1	HDMI IN1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	HDMI2	HDMI2 (CEC)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	VGA (RGB)	VGA (RGB, YPbPr)	—	—	○	—	○	—	○	—	—	○
	VGA (YPbPr)		—	—	○	—	—	○	○	—	—	○
	VIDEO	VIDEO	—	—	—	—	○	○	○	—	—	—
	OPTION	Option Board Slot (SLOT2 (DP))	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		Option Board Slot (SLOT2 (HDMI))	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	MP	-	—	—	—	—	○	○	—	—	—	○

セキュリティ設定とボタン操作のロック

通常、ディスプレイはリモコンや本体コントロールパネルのボタンを使って誰でも操作できます。セキュリティを設定し、ロックをかけることで、権限を持たない人による本機の使用や設定の変更を禁止することができます。

以下のセキュリティ機能、ロック機能を説明します：

- ・ パスワードの設定
- ・ パスワードによるセキュリティ機能を有効にする
- ・ リモコンのボタン操作をロックする
- ・ 本体コントロールパネルのボタン操作をロックする

お知らせ

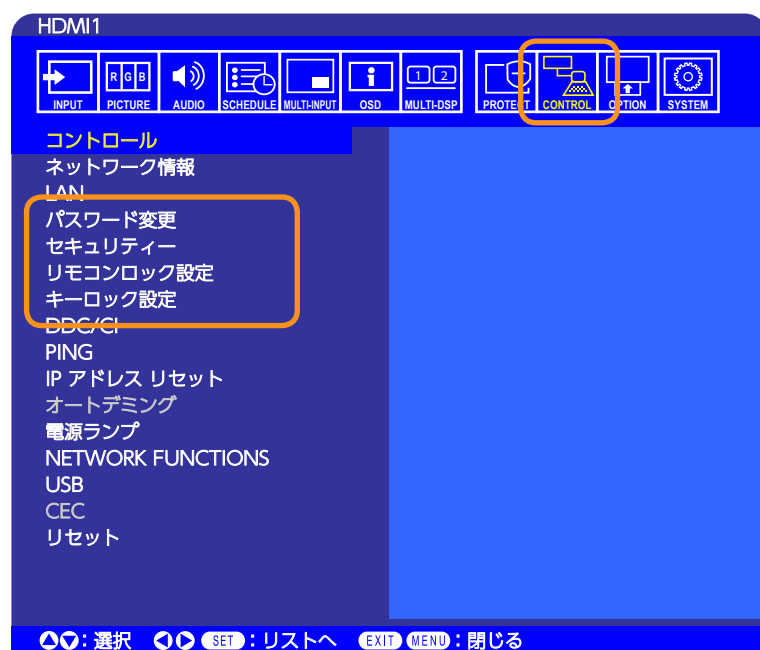
ここでは、本体のボタン操作のロックのしかたについて説明します。本機のその他のセキュリティ設定については、以下を参照ください：

- ・ 「共有 SD カード設定」(72 ページ) – メディアプレーヤーのセキュリティ設定
- ・ 「ネットワーク設定」(92 ページ) – ディスプレイの Web ページのセキュリティ設定

設定メニューの表示位置

ディスプレイの OSD メニューを使ってセキュリティとロックに関する設定をおこなう方法を説明します。セキュリティとロックに関する設定は、ディスプレイの Web ページによりおこなうこともできます。Web ページを使った OSD メニュー操作 (91 ページ) を参照してください。

OSD メニューおよび Web ページで、セキュリティとロックの設定は OSD メニューの「コントロール」でおこないます。



パスワードによるセキュリティ

パスワードによるセキュリティを有効にすると、主電源をオンにするときや OSD メニューを表示するときに 4 桁のパスワード入力が必要になります。パスワードを入力すると、本機を通常どおりに使用できます。30 秒間 * パスワードの入力が無いと、本機は自動的に SECURE MODE に入り、再度パスワード入力求められます。

*:「OSD 時間」で変更することができます。

お知らせ

パスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを記録し安全な場所に保管してください。パスワード入力を 3 回続けて間違えると OSD メニューはロックされ、ロックを解除するためのパスワードが必要になります。パスワードについては販売店にお問い合わせください。

本機のパスワードを設定する

パスワードを変更する場合、以下の操作をおこなってください。



1. OSD メニューの「コントロール」→「パスワード変更」を選択する。
2. 「現在のパスワード」に現在のパスワードを入力する（パスワードの初期値：0000）。
3. 「新しいパスワード」に新しいパスワードを入力し、「パスワードの確認」にもう一度新しいパスワードを入力する。
4. 新しいパスワードが保存される。

パスワードによるセキュリティを有効にする



1. OSD メニューの「コントロール」→「セキュリティ」を選択する。
2. 「パスワード」にパスワードを入力し、「SECURE MODE」の設定に進む。
3. 「SECURE MODE」の種類を選択する。
 - オフ - パスワードを要求しません。
 - START-UP LOCK - 主電源をオンにするときにパスワードが要求されます。
主電源スイッチの操作時や停電後の電源再投入時にのみパスワードが要求されます。リモコンや本体コントロールパネルの電源ボタンによる電源オン時、電源待機移行時はパスワードは要求されません。
 - CONTROL LOCK - リモコンや本体のボタンを押したときにパスワードが要求されます。
 - BOTH LOCK - 電源オン時およびリモコンや本体のボタンの操作時にパスワードが要求されます。
4. 選択したモードは自動的に保存される。

ボタン操作のロック

リモコンや本体コントロールパネルのボタンを操作しても本機が動作しないようロックすることができます。設定の変更に必要なボタンにはロックをかけないようにすることもできます。ボタン操作のロックやロック解除時のパスワードは不要です。

リモコンのボタン操作をロックする

「リモコンロック設定」により、リモコンのボタンによる本機の操作をロックします。「リモコンロック設定」で本体コントロールパネルのボタン操作をロックすることはできません。



- OSD メニューの「コントロール」→「リモコンロック設定」を選択する。
- 「モード選択」でロックの有効範囲を選択する。
 - **LOCK ALL** – すべてのボタンをロックします。
 - **CUSTOM LOCK** – 以下のボタンは個別にロック設定をし、それ以外のボタンをすべてロックします。
 - **電源** – リモコンのボタンをロックしても、「有効」を選択すると電源ボタンは動作します。「無効」を選択すると電源ボタンもロックされます。
 - **音量** – リモコンのボタンをロックしても、「有効」を選択するとVOL +、VOL – ボタンで音量調節が可能になります。「無効」を選択すると音量調節はできません。
音量調節をロックすると、ディスプレイの音量は最小音量設定、最大音量設定の範囲内に変わります。
 - **最小音量設定 / 最大音量設定** – 音量調節ボタンが動作し、設定された最低音量と最大音量の範囲内で音量の調節ができます。
「音量」は有効に設定しておいてください。
 - **入力** – 「有効」を選択し、動作する入力切替ボタンを3つまで選択します。入力切替ボタンをすべてロックするときは「無効」を選択します。
 - **チャンネル** – リモコンのボタンをロックしても、「有効」を選択するとCH + ボタン、CH – ボタンでチャンネルの切り替えが可能になります。「無効」を選択するとCH + とCH – ボタンはロックされます。
- 「実行」を選択する。
「実行」を押すと設定が反映されます。

リモコンのボタン操作のロックを解除する

- ・ **リモコン** – ロックを解除して通常のボタン動作に戻すには、DISPLAY ボタンを 6 秒以上押してください。

本体コントロールパネル上のボタン操作をロックする

「キーロック設定」により、本体コントロールパネル上のボタンによる本機の操作をロックします。「キーロック設定」でリモコンのボタン操作をロックすることはできません。



1. OSD メニューの「コントロール」→「キーロック設定」を選択する。
2. 「モード選択」でロックの有効範囲を選択する。
 - ・ **LOCK ALL** – すべてのボタンをロックします。
 - ・ **CUSTOM LOCK** – 以下のボタンは個別にロックの設定をし、それ以外のボタンをすべてロックします。
 - ・ **電源** – ボタンをロックしても、「有効」を選択すると ボタンは動作します。
 - ・ **音量** – ボタンをロックしても、「有効」を選択すると / ボタンで音量調節が可能になります。「無効」を選択すると音量調節はできません。
音量調節をロックすると、ディスプレイの音量は最小音量設定、最大音量設定の範囲内に変わります。
 - ・ **最小音量設定 / 最大音量設定** – / ボタンが動作し、設定された最低音量と最大音量の範囲内で音量の調節ができます。
「音量」は有効に設定しておいてください。
 - ・ **入力** – 「有効」を選択すると INPUT/SET ボタンで入力の切り替えが可能になります。
 - ・ **チャンネル** – 「有効」を選択すると / ボタンが使用可能になります。
3. 「実行」を選択する。
「実行」を押すと設定が反映されます。

本体のボタン操作のロックを解除する

- ・ **本体のボタン** – ロックを解除して通常のボタン動作に戻すには、 ボタンと ボタンを同時に 4 秒以上押してください。
- ・ **OSD メニュー** – ロックを解除して通常の動作に戻すには、OSD メニューの「コントロール」→「キーロック設定」を選択します。次に「モード選択」→「UNLOCK」→「実行」を選択します。

メディアプレーヤーの設定

メディアプレーヤー機能を使用するには、リモコンの MEDIA PLAYER ボタンを押すか、OSD メニューの「入力」→「MP」を選択します。

メディアプレーヤーのトップ画面やファイル一覧画面の  アイコンを選択すると、メディアプレーヤーの設定画面を表示します。

メディアプレーヤー画面の構成



「設定」では次の設定ができます。

メディアプレーヤーの各設定項目を実行する場合は「確定」を選択してください。

「確定」を選択しなかった場合、上記で設定した内容は実行されません。

スライドショー

メニュー	機能
スクリーンサイズ	最大サイズもしくは実サイズを選択します。
再生モード	自動もしくは手動を選択します。
間隔	各画像の表示間隔を設定します。
繰り返し	チェックボックスをチェックすると選択した画像を繰り返し表示します。
音楽ファイル	音楽ファイルを選択します。
BGM	チェックボックスをチェックすると再生時に音声を出力します。
再生終了画面	選択画像の再生後の状態を設定します。
	黒画面：再生終了後、黒画面になります。
	ファイル選択画面：再生終了後、ファイル選択画面に戻ります。
	最終画面保持：再生終了後、最後に再生された画面を維持します。

メディアパッケージ

メニュー	機能
スクリーンサイズ	最大サイズもしくは実サイズを選択します。
電源連動	チェックボックスをチェックするとメディアパッケージで設定したスケジュールに従って本機の電源をオンもしくは電源待機状態にします。「パワーセーブ」を「禁止」に設定した場合、スケジュールが終了しても本機は電源待機状態に移行しません。
再生終了画面	選択画像の再生後の状態を設定します。
	黒画面：再生終了後黒画面になります。
	ファイル選択画面：再生終了後、ファイル選択画面に戻ります。

自動再生

スライドショーを設定していると、入力信号が MP に切り替わったときに以下で選択したフォルダーに保存されている画像や動画を自動再生します。

メニュー	機能
自動再生	オフ：自動再生しません。 スライドショー：選択されたフォルダーに保存されている画像や動画を自動再生します。
フォルダー	再生するデータが入っているフォルダーを選択します。SET ボタンでフォルダーを移動し、ENT ボタンで選択してください。

プリセットコンテンツ

本機が無信号になった際に以下で選択したフォルダーに保存されている画像や動画を再生します。

メニュー	機能
有効	チェックボックスをチェックするとプリセットコンテンツを有効にします。
フォルダー	再生するフォルダーを選択します。SET ボタンでフォルダーを移動し、ENT ボタンで選択してください。

ネットワークおよびその他設定

メディアプレーヤーで使用するネットワークの設定や共有フォルダーの設定をします。

設定する場合は「ネットワークおよびその他設定」でリモコンの SET ボタンを押してください。

メディアプレーヤーネットワーク設定

メニュー	機能
IP 設定	各設定項目を設定します。
IP アドレス	
サブネットマスク	
デフォルトゲートウェイ	
DNS	
優先 DNS サーバー	
代替 DNS サーバー	

メディアプレーヤーネットワーク情報では上記で設定したネットワーク情報を表示します。

共有フォルダー

共有 SD カード設定や共有フォルダー設定をします。

設定をする項目を選択しリモコンの SET ボタンを押してください

共有 SD カード設定

ネットワーク接続しているコンピューターのブラウザを操作し、ディスプレイに接続している microSD メモリーカードへデータをコピーする際に設定します。

メニュー	機能
有効	チェックボックスをチェックすると共有 SD カード設定を有効にします。
ユーザー名	共有 SD カード接続時のユーザー名を表示します。ユーザー名は本機の名称となり変更はできません。
パスワード	パスワードを設定します。

「共有 SD カード設定」の各設定項目を実行する場合は「確定」を選択してください。

有効のチェックボックスのチェックを外す、またはチェックした場合でも「確定」を選択しないと共有 SD カードの設定の有効 / 無効は実行されません。

・ 共有フォルダー設定

本機を操作してネットワーク接続しているコンピューターの Windows 共有フォルダーへアクセスし、microSD メモリーカードにフォルダーをコピーする際に設定します。

メニュー	機能
有効	チェックボックスをチェックすると共有 SD カード設定を有効にします。
共有フォルダー	コピーするデータの保存場所の IP アドレスを入力します。
ユーザー名	共有フォルダー接続時に使用するユーザー名を設定します。
パスワード	パスワードを設定します。

共有フォルダー設定の各設定項目を実行する場合は「確定」を選択してください。

有効のチェックボックスのチェックを外す、またはチェックした場合でも「確定」を選択しないと共有フォルダー設定の有効 / 無効は実行されません。

共有フォルダーは 1 ～ 4 つまで設定できます。

共有フォルダーへの接続が失敗すると、エラーメッセージを表示してフォルダーアイコンに「×」印を表示します。その場合は次の確認をおこなってください。

- ・ 接続先のフォルダー名は正しいか
- ・ 接続先のフォルダーが共有設定されているか
- ・ 接続先のフォルダーにアクセス権が設定されているか
- ・ 接続先のフォルダーに表示可能なファイルが保存されているか

お知らせ

- ・ Windows®10 をお使いの場合、「SMB 1.0/CIFS サーバー」を有効にする必要があります。詳細は、Windows® の取扱説明書またはヘルプファイルを参照ください。

無信号移行設定

スライドショーまたはメディアパッケージのコンテンツ再生後やメディアプレーヤーの最初の画面または「USB」や「SD カード」でのファイル選択画面での無操作時に無信号に移行する機能です。

無信号に移行すると本機のパワーセーブが動作し、消費電力を減少させます。

パワーセーブの設定は OSD メニューの「保護設定」→「パワーセーブ」でおこなってください。

メニュー	機能
有効	チェックボックスをチェックすると無信号移行設定を有効にします。
間隔	再生終了時もしくは無操作時から無信号状態になるまでの時間を設定します。

ネットワークその他設定の各設定項目を実行する場合は「確定」を選択してください。「確定」を選択しなかった場合、上記で設定した内容は実行されません。

microSD メモリーカードにフォルダーをコピーする

本機に microSD メモリーカードが挿入されている場合、ファイルをコピーする方法が 2 つあります。ネットワークフォルダーでコピーをする方法と、Web ブラウザー上の「データコピー」または「SD-CARD VIEWER」を使用する方法です。

USB ストレージデバイスに保存されているファイルをコピーする方法は便利で、microSD メモリーカードや microSD カードスロットカバーを外すことなくコピーすることができます。ネットワークフォルダーや Web ブラウザーを使用するフォルダーコピーの方法は、操作するディスプレイがアクセスしにくい場所にある場合に便利です。

データコピー機能で USB ストレージデバイスまたは共有フォルダーのデータをコピーする

接続しているコンピューターなどに設定した共有フォルダーのデータまたは本機に接続している USB ストレージデバイスのデータを microSD メモリーカードにコピーします。

1. USB ストレージデバイスを Media Player USB ポートに接続するか、共有フォルダー設定をおこなう。
共有フォルダーをコピーする場合は、あらかじめ共有フォルダー設定をおこなってください。
設定の詳細は本取扱説明書の機能「ネットワークおよびその他設定」内の「共有フォルダー」を参照ください。
2. メディアプレーヤーのホーム画面で「データコピー」にカーソルを合わせ SET ボタンを押す。
データコピー画面でネットワーク上にあるフォルダーが表示されます。
3. microSD メモリーカードにコピーしたいファイルが保存されているものにカーソルを合わせ SET ボタンを押す。
4. 「確定」にカーソルを合わせ SET ボタンを押す。
microSD メモリーカードに保存されているデータを削除し、USB ストレージデバイスまたは共有フォルダーのすべてのデータをコピーします。

お知らせ

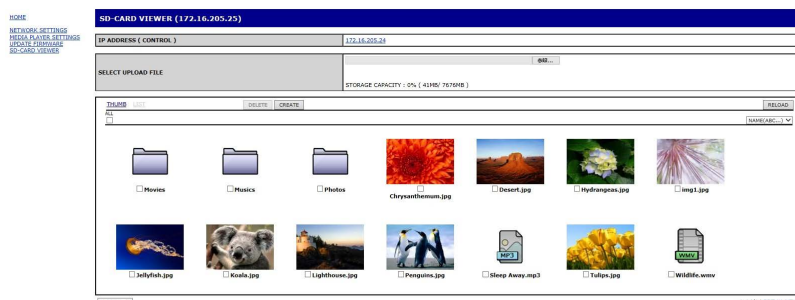
- コピー元に対して microSD メモリーカードの容量が十分でない場合、「容量が足りません」と表示されます。
コピー元を再度選択してください。
- コピーを実行すると、コピー前に microSD メモリーカードに保存されていたデータは失われますので注意してください。
- 挿入されていないデバイスはグレーで表示されます。
- コピー実行中は microSD メモリーカードを取り外したり主電源を切らないでください。microSD メモリーカード内のデータが破損する場合があります。またコピー実行中にリモコンの STANDBY ボタンまたは本体の  ボタンを押した場合は、映像が消えて電源ランプが赤色に点滅します。コピー完了後、電源ランプが赤色に点灯します。

Web viewer で SD-CARD VIEWER を使用する

本機に接続しているコンピューターから、本機に接続している microSD メモリーカードに静止画または動画をコピーします。
静止画または動画をコピーする場合は、あらかじめメディアプレーヤーのネットワーク設定をおこない、共有 SD カード設定を有効にしてください。

設定の詳細は本取扱説明書の「メディアプレーヤーの設定」内の「ネットワークおよびその他設定」を参照ください。

1. ディスプレイに接続しているコンピューターの Web ブラウザーでネットワーク設定画面を表示し、左に表示された SD-CARD VIEWER リンクを選択する。
2. SEARCH を選択しコンピューターと同一ネットワーク上に存在する他のディスプレイの IP アドレスを表示する。
3. コンピューターに接続しているディスプレイの IP アドレスを選択する。
メディアプレーヤーの IP アドレスは、メディアプレーヤーネットワーク設定で設定したアドレスです。
4. 共有 SD カードにパスワードを設定している場合はパスワードを入力する。ユーザー名は本機の名称です。



5. コンピューターまたはデバイスがメディアプレーヤーに接続できるとメディアプレーヤーのウェブコントロールがブラウザーに表示されます。左に表示された SD-CARD VIEWER リンクを選択する。

6. 「参照 ...」 * を押し、ファイルを選択する。
 選択したファイルは microSD メモリーカードのルートディレクトリーに表示されます。microSD メモリーカード内のフォルダーにファイルをアップロードする場合は以下を参照ください。
 - ・ microSD メモリーカード内にあるフォルダーにファイルをアップロードする場合：
 microSD メモリーカード内のフォルダーにファイルをアップロードする場合は、フォルダーを開き「参照...」* を押します。
 - ・ microSD メモリーカード内に新しいフォルダーを設け、ファイルをアップロードする場合：
 CREATE を押しフォルダー名を入力し OK を押します。新しいフォルダーが microSD メモリーカード内に表示されたら、新しいフォルダーを選択し「参照 ...」* を押します。
7. コピーするファイルを選択し「開く」* を押す。
8. OK を押しファイルをアップロードする。
9. microSD メモリーカードに選択したファイルをコピーします。
 メディアプレーヤーが読み込めないファイルを選択している場合は、メッセージが表示されます。

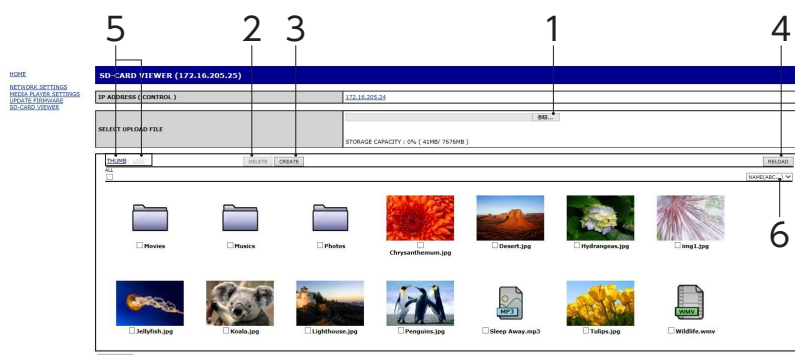
*：お使いのブラウザーにより異なる場合があります。

microSD メモリーカード内のフォルダーやファイルを削除する場合は、削除するアイテムのチェックボックスをチェックし DELETE を押します。

お知らせ

- ・ コピー実行中は microSD メモリーカードを取り外したり主電源を切らないでください。microSD メモリーカード内のデータが破損する場合があります。
- ・ コピー実行中にリモコンの STANDBY ボタンまたは 冂 ボタンを押した場合は、映像が消えて電源ランプが赤色に点滅します。コピー完了後、電源ランプが赤色に点灯します。
- ・ コピーできるファイルは動画、静止画、BGM のみです。メディアパッケージはコピーできません。

[ボタンの動作]



- 1 選択とアップロード（参照）
 参照を選択し、表示されたファイルの中から microSD メモリーカードにコピーするファイルを選択します。
 ファイルを選択すると FILE UPLOAD 画面が表示され、選択したファイルの一覧を表示します。
 OK を選択するとファイルのアップロードを開始します。

お知らせ

コピーするデータ容量が microSD メモリーカードの最大容量を超えないように注意してください。microSD メモリーカードのメモリー容量は STRAGE CAPACITY で確認できます。

- 2 削除 (DELETE)
 削除するファイルまたはフォルダーのチェックボックスをチェックします。
 DELETE を選択すると、DELETE FOLDERS/FILES 画面が表示されます。
 OK を選択するとファイルを削除します。
- 3 作成 (CREATE)
 CREATE を選択すると microSD メモリーカード内に新しいフォルダーを作成します。
 NAME にフォルダー名を入力し OK を選択します。最大 255 文字まで入力できます。
- 4 更新 (RELOAD)
 microSD メモリーカード内の情報を最新の状態にします。

5 表示形態 (THUMB/LIST)

ファイルの表示形態を THUMB または LIST で切り替えます。

サムネイル画面またはファイル名のリンクをクリックするとファイル詳細画面を表示します。

6 並び替え (SORT)

並び替える項目を選択し、microSD メモリーカード内のファイルやフォルダーを並び替えます。

他のディスプレイの SD-CARD VIEWER に接続する

ネットワーク上にメディアプレーヤー機能のあるディスプレイが 1 台以上ある場合、メイン Web コントロールから検索してサポートされているすべてのディスプレイをネットワーク上に表示できます。

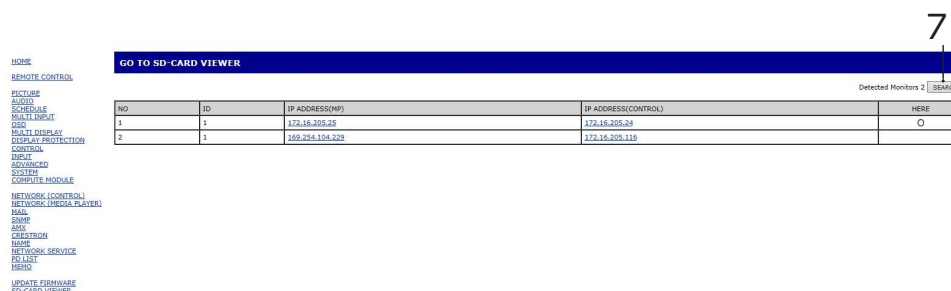
1. Web ブラウザーアドレスに IP アドレスを入力する。

リモコンの DISPLAY ボタンを押すと IP アドレスが画面に表示されます。本機の IP アドレスとメディアプレーヤーの IP アドレスは異なります。

2. 画面左に表示されている SD-CARD VIEWER を選択する。

3. Search を選択しコンピューターと同一ネットワーク上に存在する他のディスプレイの IP アドレスを表示する。

4. 表示した IP アドレスから 1 つを選択し、ファイルをコピーするディスプレイのメディアプレーヤーの Web コントロールにアクセスする。



IP アドレス上で左クリックまたは右クリックし、コンピューターと同一ネットワーク上にあるディスプレイの SD-CARD VIEWER を開きます。

6 章 マルチディスプレイ設定

この章の内容：

- ⇒ マルチディスプレイ接続 (78 ページ)
- ⇒ 映像出力 (81 ページ)
- ⇒ リモコン ID モード機能について (82 ページ)

マルチディスプレイ接続

ディスプレイをマルチ接続（数珠つなぎ）して、ディスプレイ間でコントロールコマンドと映像信号を共有します。マルチ接続したすべてのディスプレイを使用して単一画面を表示します。制御系信号ケーブルと映像信号ケーブルをディスプレイ間で接続してマルチスクリーン構成の設置をおこないますが、接続と構成について十分に検討した上で設置してください。制御系信号ケーブルと映像信号ケーブルを接続します。接続する際は配線図（29 ページ）を参照ください。

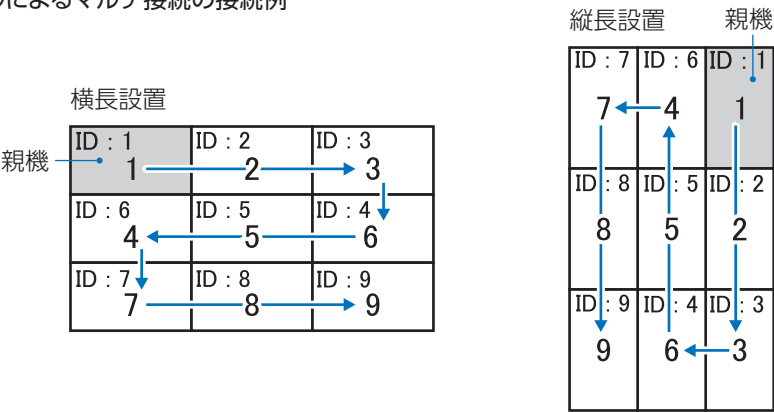
マルチスクリーン構成時のディスプレイの設定は、OSD メニューおよび Web ページの「マルチディスプレイ」でおこないます。

- ・ **簡単タイルマトリクス設定** - 100 台までのディスプレイを使用して単一画面が表示できます。
親機で「水平モニター数」と「垂直モニター数」を入力することにより、マルチスクリーンを自動設定する機能です。以下の項目が自動設定されます。
モニター ID、タイルマトリクス、タイルマトリクス設定保存、入力端子、ターミナルモードの DisplayPort、映像出力設定

お知らせ

- ・ AUTO ID が実行されていない場合は、自動的に AUTO ID が実行されます。
- ・ 簡単タイルマトリクス設定を使用するときは、DisplayPort ケーブルでのマルチ接続（数珠つなぎ）を推奨します。
- ・ 簡単タイルマトリクス設定の実行時に「スクリーンセーバー」の「モーション」を実行すると簡単タイルマトリクス設定は解除されます。

LANケーブルによるマルチ接続の接続例



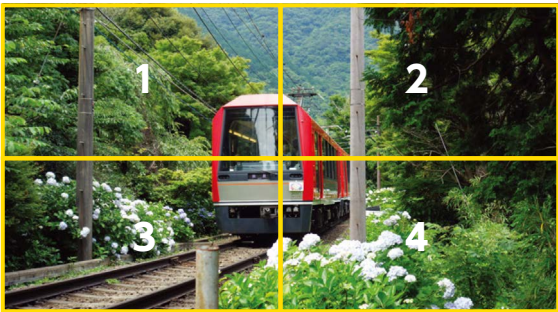
- ・ **設定コピー** - 現在制御中のディスプレイの設定値を LAN を使ってマルチ接続（数珠つなぎ）した他のディスプレイにコピーできます。
- ・ **タイルマトリクス** - 複数のディスプレイ（100 台まで）に、信号分配増幅器を介して単一画面を拡大表示します。マルチスクリーンを構成するディスプレイの縦横の台数、各ディスプレイの縦横方向の位置、TILE COMP のオン / オフを設定します。
- ・ **TILE COMP** - 画面を複数のディスプレイに分割して表示する場合、より自然に見えるようにディスプレイのつなぎ目の表示方法を変更する機能です。
- ・ **「タイルカット」** - 表示された画像の一部を選択します。選択した範囲がスクリーン全体に表示されます。

2x1 の「タイルカット」（横向き）の例

左側ディスプレイの設定

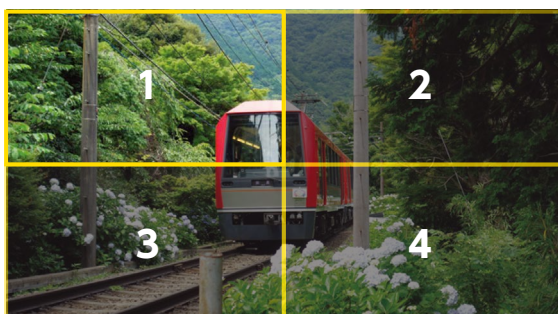
1. 「水平モニター数」→「2」、「垂直モニター数」→「2」に設定する。

ひとつの画像が 4 分割され、1 ～ 4 の番号が割り振られます。

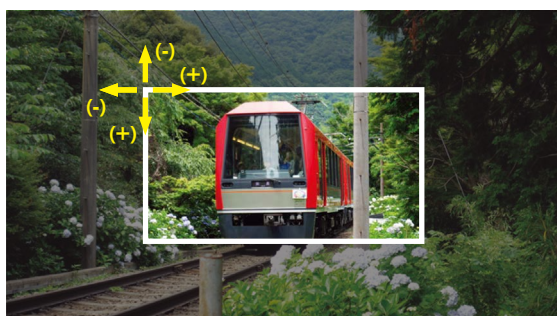


2. 「位置」で1～4のいずれかを選択する。

例：「1」を選択した場合



3. 「水平モニター数」と「垂直モニター数」で、選択した矩形を表示したい位置に移動する。



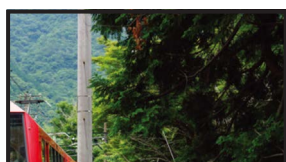
4. 「タイルマトリクス実行」で「する」を選択する。



右側ディスプレイの設定

同様に操作する。

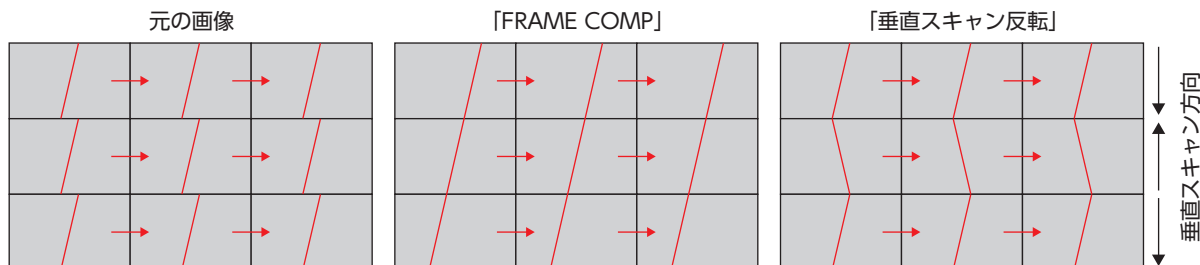
例：「位置」で「2」を選択した場合



2 x 1 (横向き) の場合、設定後は以下の表示になります。



- **「FRAME COMP」** – 縦方向、横方向のディスプレイの台数を入力して、「FRAME COMP」を自動設定します。
動きの速い動画を表示するときは、最良の結果が得られるように調節してください。設置のしかたによっては「FRAME COMP」による調節が必要になります。
 「自動」 – 共通の遅延値を設定します。それぞれの遅延値は、「タイルマトリクス」の「水平モニター数」、「垂直モニター数」、「位置」の設定により自動的に決まります。
 「手動」 – すべてのディスプレイの遅延値を個々に設定します。
- **「垂直スキャン反転」** – 画像スキャン方向を反転し、画像の動きを滑らかにします。



- **タイルマトリクス設定保存** – タイルマトリクスでの設定をすべての入力信号に適用します。
- **ID コントロール** – モニター ID とグループ ID を設定します。LAN ポートを使ってマルチ接続している場合、AUTO ID/IP 設定を実行することで自動的にすべてのディスプレイに ID および IP アドレスを設定することができます。

映像のデージーチェーン接続

マルチ接続するすべてのディスプレイは同じモデルで統一してください。
ディスプレイの「位置」は「ID」とは異なります。図 1 と図 2 を参照ください。

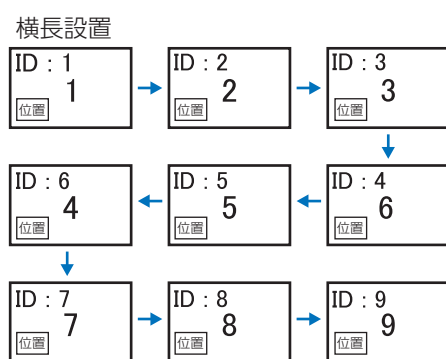


図 1

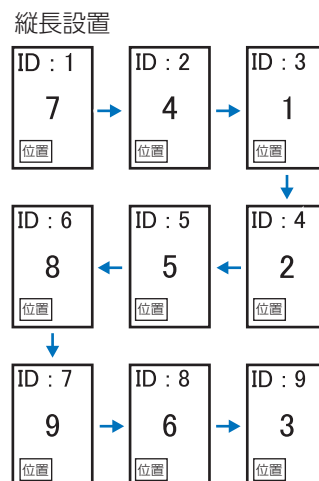


図 2

映像出力

親画面	DisplayPort1	DisplayPort2	DVI	HDMI1	HDMI2	VGA (RGB)	VGA (YPbPr)	VIDEO	OPTION		MP
端子	DisplayPort1 (DAISY CHAIN IN)	DisplayPort2	DVI-D	HDMI1 (DAISY CHAIN IN)	HDMI2 (CEC)	VGA (RGB, YPbPr)		VIDEO	Option Board Slot (SLOT2 (DP))	Option Board Slot (SLOT2 (HDMI))	-
DisplayPort	○	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—
HDMI	—	—	○	○	—	—	—	—	—	○	○

お知らせ

メディアプレーヤー信号 (MP) の出力は同じモデルのディスプレイを接続している場合のみで可能です。

複数のディスプレイを HDMI ケーブルで接続する場合

- ・ 同じモデルのディスプレイを接続してください。
- ・ 複数のディスプレイを接続した場合、OSD メニューの「ターミナルモード」→「HDMI」で「設定 1」または「設定 2」いずれかを統一して設定してください。

DisplayPort 出力

- ・ DisplayPort 出力コネクタから映像出力する際は、OSD メニューの「入力」を「DisplayPort1」または「OPTION」に設定してください。
- ・ 本機の映像出力機能は HDCP で保護された映像コンテンツに対応しています。その場合のマルチ接続は（本機を含め）最大 4 台までとなります。
- ・ OPTION を使用する場合は OSD メニューの「オプション」→「スロット 2CH 設定」を「1CH」に設定し、「オプション」→「スロット 2CH 選択」を「DisplayPort」に設定してください。

お知らせ

スロット 2 タイプオプションのうち、DisplayPort 出力コネクタから映像出力できるのは DisplayPort 信号出力をもつオプションのみとなります。

HDMI 出力

- ・ HDMI 出力コネクタから映像出力する際は、OSD メニューの「入力」を「HDMI」、「DVI」、「OPTION」、「MP」のいずれかに設定してください。
- ・ 本機の映像出力機能は HDCP で保護された映像コンテンツに対応しています。
以下の条件でマルチ接続時に HDCP コンテンツを表示します。
 - ・ HDCP 1：マルチ接続台数（本機を含め）最大 8 台 / HDCP 2.2：マルチ接続台数（本機を含め）最大 5 台
接続台数によって映像が表示されるまでの時間が異なります。
 - ・ HDCP 以外：マルチ接続台数（本機を含め）最大 9 台

お知らせ

- ・ ご使用の機器によってディスプレイの接続台数は変わります。
- ・ マルチ接続での映像表示時は、ケーブルを抜かないようにしてください。ケーブルを抜く場合は必ずディスプレイの主電源を切ってからおこなってください。
- ・ OPTION を使用する場合は OSD メニューの「オプション」→「スロット 2CH 設定」を「1CH」に設定し、「オプション」→「スロット 2CH 選択」を「TMDS」に設定してください。

お知らせ

スロット 2 タイプオプションのうち、HDMI 出力コネクタから映像出力できるのは HDMI 信号出力をもつオプションのみとなります。

HDCP (High-Bandwidth Digital Content Protection)

デジタル映像信号を暗号化する著作権保護システムです。

HDCP に対応した映像機器を接続することにより、HDCP で保護された映像コンテンツを視聴することができます。HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。ただし、HDCP の規格変更などがおこなわれた場合、本機が故障していなくても、デジタル入力信号の映像が表示されないことがあります。

リモコン ID モード機能について

このリモコン（オプション）には、モニター ID と同様の ID 番号を設定することができます。

マルチ画面システムなど複数台のディスプレイが並んだ場所で使用する場合、リモコンを ID モードで動作させ ID を切り替えることにより、ディスプレイを個別に操作することができます。

■ ディスプレイ本体の設定

モニター ID で ID 番号を設定する。

■ リモコンの ID 番号を設定する（リモコンを ID モードにする）

リモコンの ID 番号を設定した場合、ID モードで動作します。

なお、ID モード時のリモコンのボタン操作は、通常と同じです。

リモコンが ID モードのときに REMOTE ID の SET ボタンを押すと、画面の中央にモニター ID が表示されます。

下記の手順で ID モード時の ID 番号を設定することができます。

- ・ リモコンの REMOTE ID の SET ボタンを押した状態で
 - ・ リモコンの“1”または“0”ボタンで ID 番号の 3 桁目を押す。
 - ・ リモコンの“1-9、0”ボタンで ID 番号の 2 桁目を押す。
 - ・ リモコンの“1-9、0”ボタンで ID 番号の 1 桁目を押す。

ID 番号を押した後、REMOTE ID の SET ボタンを放すと ID 番号が記憶されます。

- ・ ID 番号入力時は時間をあけずに操作してください。
- ・ 設定できる ID 番号は 0 ～ 100 までです。
- ・ 0 を設定するとモニター ID の設定にかかわらずすべてのディスプレイが選択されます。
- ・ リモコンの ID 番号の設定が 0 以外で、リモコンの ID 番号がモニター ID の設定と一致しない場合は、リモコンでの操作はできません。

■ リモコンをノーマルモードにする（ID モードを解除する）

リモコンの REMOTE ID の CLEAR ボタンを 5 秒以上押し続けるとリモコンはノーマルモードに戻ります。

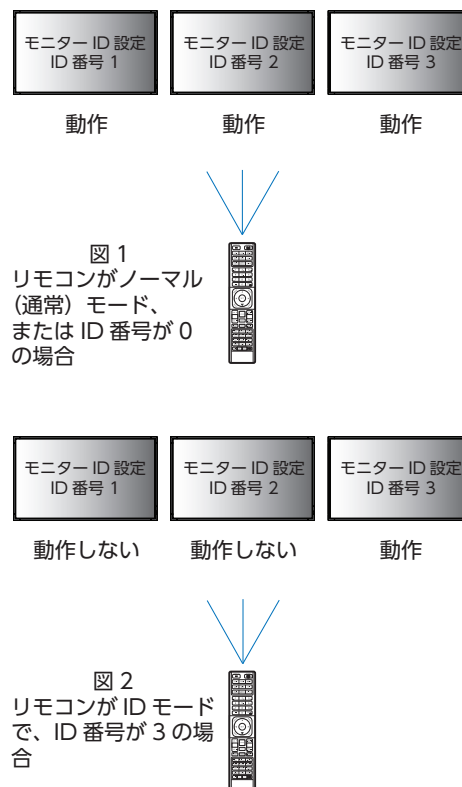
リモコンの初期状態はノーマルモードです。

■ リモコンで特定のディスプレイのみを制御する方法

1. 制御したいディスプレイで OSD 画面を表示します。OSD メニューの「マルチディスプレイ」→「ID コントロール」→「モニター ID」で ID 番号を設定します。モニター ID は 1 ～ 100 まで設定することができます。先頭から、順番に 1,2,3.... と連続で ID を設定されることをおすすめします。
2. リモコンの REMOTE ID の SET ボタンを押したまま、リモコンの ID 番号を入力します。リモコンの ID 番号は、制御したいディスプレイのモニター ID 番号と一致している必要があります。
3. リモコンを、制御したいディスプレイのリモコン受光部に向けて、REMOTE ID の SET ボタンを押します。画面中央にモニター ID 番号が赤色で表示されることを確認してください。モニター ID 番号が白色で表示される場合は、モニター ID 番号とリモコンの ID 番号は一致していません。

お知らせ

リモコンではグループ ID を指定できません。



7 章 外部制御

この章の内容：

- ⇒ 接続インターフェース (84 ページ)
- ⇒ コマンド (84 ページ)
- ⇒ HDMI CEC 対応コマンド (86 ページ)
- ⇒ RS-232C リモートコントロール (87 ページ)
- ⇒ LAN コントロール (88 ページ)
- ⇒ マルチ接続について (89 ページ)
- ⇒ HTTP を使用したブラウザによるネットワークの設定 (90 ページ)
- ⇒ Web ページを使った OSD メニュー操作 (91 ページ)
- ⇒ ネットワーク設定 (92 ページ)
- ⇒ Proof of Play 機能 (98 ページ)

外部機器との接続方法

ディスプレイとコンピューターなどの外部機器との接続方法には、次の 2 つがあります。

Naviset Administrator でディスプレイの OSD メニュー設定や輝度を含めたディスプレイの情報を読み出すことができます。

- RS-232C 端子を使用した接続
RS-232C 端子を使用して、ディスプレイとコンピューターを接続します。
- ネットワーク (LAN) 経由での接続
LAN ケーブルを使用して、ディスプレイとコンピューターを接続します。
使用する LAN ケーブルの種類については、ネットワーク管理者にご確認ください。

接続インターフェース

RS-232C 端子を使用した接続

項目	詳細
プロトコル	RS-232C
ボーレート	9600 [bps]
データ長	8 [bits]
パリティ	なし
ストップビット	1 [bit]
フロー制御	なし

ネットワーク (LAN) 経由での接続

項目	詳細
プロトコル	TCP
ポートナンバー	7142
コミュニケーション速度	自動設定 (10/100Mbps)

コマンド

制御コマンド

本機は、以下の 2 種類のコマンドフォーマットに対応しています：

- バイナリー転送：エンコードされたバイトの連続で、ほとんどすべてのディスプレイの制御ができます。
- ASCII コントロールコマンド：ASCII コードで表現した、シンプルな英語に似たシンタックスの制御コマンドで、共通する機能の制御が容易におこなえます。

お知らせ

それぞれのコマンドフォーマットは、当社 Web サイトの外部制御コマンド説明書（「付録 A 外部のリソース」[109 ページ](#)）を参照ください。

以下は共通する機能の制御用バイナリー転送コマンドの例です。コードは 16 進数で表記されています。モニター ID 番号は 1 とします。

機能 (モニター ID = 1)	コード
電源オン	01 30 41 30 41 30 43 02 43 32 30 33 44 36 30 30 30 31 03 73 0d
電源オフ	01 30 41 30 41 30 43 02 43 32 30 33 44 36 30 30 30 34 03 76 0d
DisplayPort1 の入力を選択	01 30 41 30 45 30 41 02 30 30 36 30 30 30 30 46 03 04 0d or 01 30 41 30 45 30 41 02 31 31 30 36 30 30 30 46 03 04 0d
DisplayPort2 の入力を選択	01 30 41 30 45 30 41 02 30 30 36 30 30 30 31 30 03 73 0d or 01 30 41 30 45 30 41 02 31 31 30 36 30 30 31 30 03 73 0d
DVI 入力を選択	01 30 41 30 45 30 41 02 30 30 36 30 30 30 30 33 03 71 0d or 01 30 41 30 45 30 41 02 31 31 30 36 30 30 30 33 03 71 0d

機能 (モニター ID = 1)	コード
HDMI1 入力を選択	01 30 41 30 45 30 41 02 30 30 36 30 30 30 31 31 03 72 0d or 01 30 41 30 45 30 41 02 31 31 30 36 30 30 31 31 03 72 0d
HDMI2 入力を選択	01 30 41 30 45 30 41 02 30 30 36 30 30 30 31 32 03 71 0d or 01 30 41 30 45 30 41 02 31 31 30 36 30 30 31 32 03 71 0d
VGA (RGB) 入力を選択	01 30 41 30 45 30 41 02 30 30 36 30 30 30 30 31 03 73 0d
VGA (YPbPr) 入力を選択	01 30 41 30 45 30 41 02 30 30 36 30 30 30 30 43 03 01 0d
VIDEO 入力を選択	01 30 41 30 45 30 41 02 30 30 36 30 30 30 30 35 03 77 0d
MP 入力を選択	01 30 41 30 45 30 41 02 30 30 36 30 30 30 38 37 03 7D 0d or 01 30 41 30 45 30 41 02 31 31 30 36 30 30 38 37 03 7D 0d
OPTION 入力を選択	01 30 41 30 45 30 41 02 30 30 36 30 30 30 30 44 03 06 0d or 01 30 41 30 45 30 41 02 31 31 30 36 30 30 30 44 03 06 0d
音声ミュートオン	01 30 41 30 45 30 41 02 30 30 38 44 30 30 30 31 03 09 0d
音声ミュートオフ	01 30 41 30 45 30 41 02 30 30 38 44 30 30 30 32 03 0a 0d

ASCII コントロールコマンドについて

本機は、外部制御コマンド説明書に記載されたコマンドの他に、当社のディスプレイまたはプロジェクターを制御するための共通 ASCII コントロールコマンドに対応しています。コマンドの詳細は当社 Web サイトを参照ください。

本機で使用するパラメーター

入力コマンド

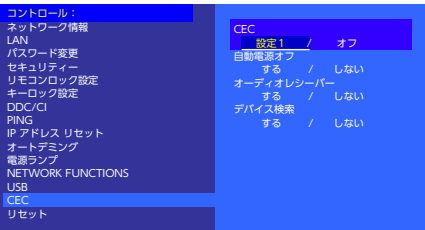
入力信号名称	レスポンス	パラメーター
DVI	dvi	dvi or dvi1
HDMI1	hdmi1	hdmi1 または hdmi
HDMI2	hdmi2	hdmi2
DisplayPort1	displayport1	displayport1 または displayport
DisplayPort2	displayport2	displayport2
VGA	vga	vga、vga1、computer、computer1、rgb または rgb1
VIDEO	video	video または video1
MP	mp	mp
OPTION	option	option

ステータスコマンド

レスポンス	エラー状態
error:temp	温度異常
error:fan	冷却ファン異常
error:light	バックライト異常
error:system	システムエラー

HDMI CEC 対応コマンド

HDMI CEC 対応機器を HDMI2(CEC) 端子に接続してください。

OSD メニュー	HDMI CEC コマンド	動作内容	操作手順
CEC (Consumer Electronics Control)	One Touch Play	HDMI CEC 対応機器の電源をオンにすると、HDMI ケーブルで接続されたディスプレイの電源がオンになります。「入力」が「HDMI2」に自動で切り替わります。ディスプレイの電源が既にオンしている場合は「入力」のみ切り替わります。	 CEC メニューの設定は以下の手順でおこないます。 ▲▼ボタンで「コントロール」→「CEC」を選び、 SET ボタンで「CEC」を選択します。 ▶ ◀ボタンで「設定 1」または「設定 2」を選択します。
	Remote Control Pass Through	リモコン（オプション）によるボタン操作などを HDMI ケーブルで接続した HDMI CEC 対応機器に転送することができます。 例）リモコンにて、HDMI CEC 対応機器のメニューの一部を操作します。	
	Power Status	接続されている HDMI CEC 対応デバイスから本機がオン状態にあるか電源待機状態にあるかの情報を取得する機能です。	
	System Information	接続されているデバイスの情報（CEC version, Physical Address など）を取得する機能です。また本機の OSD 言語を切り替えたら、接続しているデバイスのメニュー言語も追従して切り替わる「Change Language」機能に対応します。（Change Language 機能は接続されるデバイスが多言語対応している必要があります。）	
自動電源オフ	System Standby	リモコン（オプション）にてディスプレイの電源をオフにすると、HDMI ケーブルで接続された HDMI CEC 対応機器も連動して電源がオフになります。接続されているレコーダーが TV 番組を録画している場合は、ディスプレイからのシステムスタンバイの信号によらず、レコーダーの電源はオン状態のままとなる場合があります。 詳しくは、レコーダーのマニュアルを参照ください。	▲▼ ボタンで「自動電源オフ」を選びます。 ▶ ◀ ボタンで「する」を選び、 SET ボタンで「する」を選択します。
オーディオレシーバー	System Audio Control	HDMI CEC 対応のオーディオ機器を HDMI ケーブルでディスプレイに接続してください。リモコン（オプション）にある VOL+/VOL- ボタンを操作することで、HDMI CEC 対応のオーディオ機器に接続されているスピーカーの音量を調節することができます。このとき外部スピーカーから音声は出ず、MUTE 状態になります。	▲▼ ボタンで「オーディオレシーバー」を選び、 SET ボタンで「オーディオレシーバー」を選択します。 ▶ ◀ ボタンで「する」を選び、 SET ボタンで「する」を選択します。
デバイス検索	Device OSD Name Transfer	接続されているデバイスの名称を取得する機能です。	▲▼ ボタンで「デバイス検索」を選びます。 ▶ ◀ ボタンで「する」を選び、 SET ボタンで「する」を選択します。
	Routing Control	デバイス検索で表示された名称を選択し、HDMI CEC 操作対象のデバイス入力を切り替える機能です。入力を切り替えた後のリモコン操作は選択したデバイスにのみ転送します。	

本機の CEC 機能は Feature Abort に対応しています。

詳細は本取扱説明書の「配線図」を参照ください。

RS-232C リモートコントロール

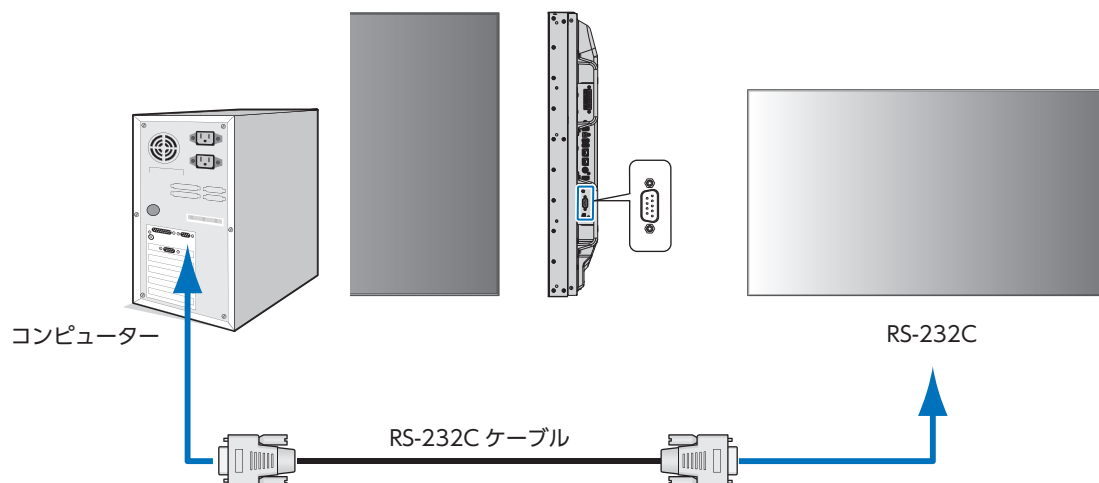
本機の RS-232C 端子とコンピューターの RS-232C 端子をリバースタイプ（クロスタイプ）の RS-232C ケーブル（市販）で接続するとコンピューターから次のような操作が可能になります。

- 電源を入れるまたは本機を電源待機状態にする
- 入力の切替
- ミュート（消音）の切替

接続方法

本機とコンピューター

- 接続はコンピューターと本機の主電源を切ってからおこなってください。
- 最初にコンピューターを立ち上げてから本機の主電源を入れてください。（これをおこなわないと com ポートが正常に動作しない場合があります。）
- RS-232C で接続されたディスプレイを制御する場合は、本取扱説明書の「外部制御」内の「コントロールコマンド」もしくは当社 Web サイトの外部制御コマンド説明書（「付録 A 外部のリソース」[109 ページ](#)）を参照ください。



お知らせ

- コンピューターの 25 ピンシリアルポートと接続する場合は変換アダプターが必要です。
- 変換アダプターについてはお買い上げの販売店へお問い合わせください。
- ピン配列については「RS-232C input/output」を参照してください。

インターフェイス

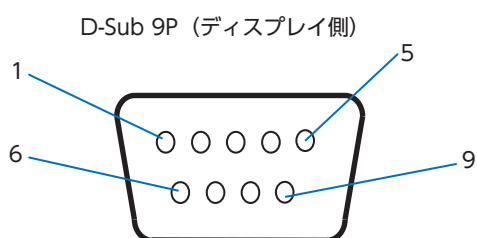
プロトコル	RS-232C
ボーレート	9600 [bps]
データ長	8 [bits]
パリティ	なし
ストップビット	1 [bit]
フロー制御	なし

本機は RS-232C コントロール用として RXD、TXD および GND ラインを使用します。
リバースタイプ（クロスタイプ）の RS-232C ケーブル（市販）を使用してください。

ピンの配列

RS-232C input / output

Pin No	Name
1	NC
2	RXD
3	TXD
4	NC
5	GND
6	NC
7	NC
8	NC
9	NC

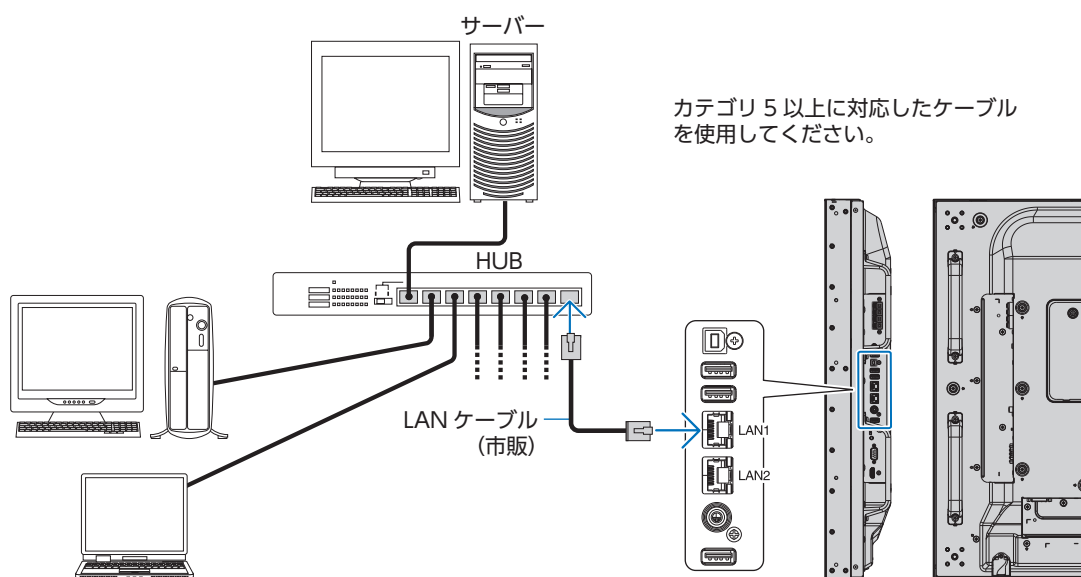


ディスプレイは RS-232C の制御に RXD、TXD、GND を使用します。

LAN コントロール

本機には LAN ポート (RJ-45) が標準装備されています。LAN ケーブル (市販) を接続すると HTTP サーバー機能を使って本機に LAN の設定がおこなえます。本機を LAN 環境で使用する場合は、本機に IP アドレスなどを設定する必要があります。DHCP ネットワークに接続した場合自動的に本機の IP アドレスを取得します。

接続例



マルチ接続について

RS-232C 入力、リモート入力、LAN で入力されている情報を LAN ケーブルを使用して複数のディスプレイに送ることができます。

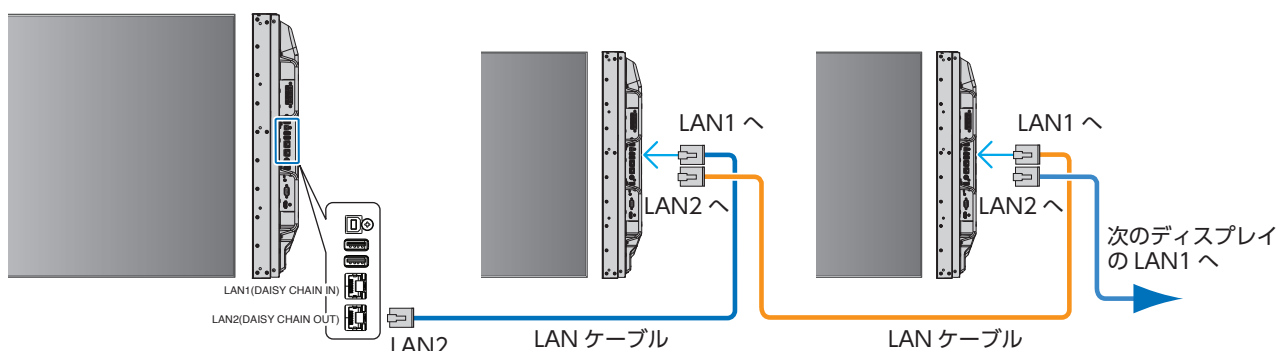
お知らせ

- マルチ接続（数珠つなぎ）をする場合、接続台数には制限があります。
- マルチ接続した複数のディスプレイを連動させて制御する場合、マルチディスプレイの OSD メニューの「マルチディスプレイ」→「ID コントロール」→「AUTO ID/IP 設定」をおこなってください。
手動で ID 番号を設定する場合、「マルチディスプレイ」の「AUTO ID/IP」設定をおこなってから設定してください。
- LAN1、LAN2 を同じネットワークに接続しないでください。ネットワークのループ障害が発生します。マルチ接続全体としてもループ接続とならないように注意してください。

最初のディスプレイ	
Connector	
入力ポート	出力ポート
RS-232C 入力	LAN2(DAISY CHAIN OUT)
リモート IN	
LAN1(DAISY CHAIN IN)	

2 台目以降のディスプレイ	
Connector	
入力ポート	出力ポート
LAN1(DAISY CHAIN IN)	LAN2(DAISY CHAIN OUT)

接続方法



HTTP を使用したブラウザーによるネットワークの設定

概要

本機をネットワークに接続すると、本機からメール通知をおこなったり、コンピューターからネットワークを経由して本機を制御することができます。

本機への IP アドレスやサブネットマスクなどの設定は、HTTP サーバー機能を使用し Web ブラウザーでネットワーク設定画面を表示しておこないます。なお、Web ブラウザーは「Microsoft Internet Explorer 10」以上を必ず使用してください。

本機は「JavaScript」および「Cookie」を利用していますので、これらの機能が利用可能な設定をブラウザーに対しておこなってください。設定方法はブラウザーにより異なりますので、それぞれのソフトウェアにあるヘルプなどの説明を参照ください。

HTTP サーバー機能へのアクセスは、本機とネットワークで接続されたコンピューターで Web ブラウザーを起動し、以下の URL を入力することでおこなえます。

ネットワーク設定

http://〈本機の IP アドレス〉/index.html

お知らせ

- ・コントロールソフトは、当社 Web サイトからダウンロードしてください。
- ・工場出荷時の IP アドレス取得の設定は「自動」です。リセット後も IP アドレスは自動的に取得されます。
- ・ご使用のネットワーク環境によっては、表示速度やボタンの反応が遅くなったり、操作を受け付けなかったりすることがあります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
また続けてボタン操作をおこなうとディスプレイが応答しなくなることがあります。その場合はしばらく待ってから再度操作をおこなってください。しばらく待っても応答が無い場合は、本機の主電源を入れなおしてください。
- ・Web ブラウザーでネットワーク設定画面が表示されない場合は、[Ctrl] + [F5] キーを押して Web ブラウザーの画面表示を更新してください。
- ・LAN で接続されたディスプレイを制御する場合は、Web サイトの外部制御コマンド説明書（「付録 A 外部のリソース」[109 ページ](#)）を参照ください。それでも表示されない場合は Web ブラウザーのキャッシュを消去してください。

使用前の準備

ブラウザーによる操作をおこなう前にあらかじめ本機に市販の LAN ケーブルを接続してください。

プロキシサーバーの種類や設定方法によっては、プロキシサーバーを経由したブラウザー操作ができないことがあります。プロキシサーバーの種類にもよりますがキャッシュの効果により実際に設定されているものが表示されない、ブラウザーから設定した内容が反映しないなどの現象が発生することがあります。プロキシサーバーはできるだけ使用しないことをおすすめします。

ブラウザーによる操作のアドレスの扱い

以下の場合、ホスト名がそのまま利用できます。

- ・ブラウザーによる操作に際しアドレスまたは URL 欄に入力する実際のアドレスについてネットワーク管理者によってドメインネームサーバーへ本機の IP アドレスに対するホスト名が登録されている。
- ・使用しているコンピューターの「HOSTS」ファイルに本機の IP アドレスに対するホスト名が設定されている。

ブラウザーによる画面調節

以下の URL を入力し HOME 画面を表示します。HOME 画面左側にある各リンクをクリックして設定画面に入ります。

http://〈本機の IP アドレス〉/index.html

ブラウザによるリモコン操作

REMOTE CONTROL：リモコンボタンと同等の操作をおこないます。

Web ページを使った OSD メニュー操作

以下のリンクでは OSD メニューにあるすべての機能と同等の設定ができます。

「[INPUT]」、「[PICTURE]」、「[AUDIO]」、「[SCHEDULE]」、「[MULTI INPUT]」、「[OSD]」、「[MULTI DISPLAY]」、「[DISPLAY PROTECTION]」、「[CONTROL]」、「[OPTION]」、「[SYSTEM]」

HOME	OSD		
REMOTE CONTROL			
INPUT			
PICTURE			
AUDIO			
SCHEDULE			
MULTI INPUT			
OSD			
MULTI DISPLAY			
DISPLAY PROTECTION			
CONTROL			
OPTION			
SYSTEM			
COMPUTE MODULE			
NETWORK (CONTROL)			
NETWORK (MEDIA PLAYER)			
MAIL			
SNMP			
AMX			
NAME			
NETWORK SERVICE			
PD LIST			
MEMO			
UPDATE FIRMWARE			
SD-CARD VIEWER			

OSD			
LANGUAGE	☒ ENGLISH ☐ GERMAN ☐ FRENCH ☐ ITALIAN ☐ SPANISH ☐ SWEDISH ☐ RUSSIAN ☐ CHINESE ☐ JAPANESE	APPLY CANCEL	
OSD TIME	6 x 5[SEC] (2 - 48)	APPLY CANCEL	
OSD POSITION	X 128 (0 - 255) Y 225 (0 - 255)	APPLY CANCEL	
INFORMATION OSD	☒ ON ☐ OFF	APPLY CANCEL	
COMMUNICATION INFO.	☒ ON ☐ OFF	APPLY CANCEL	
OSD TRANSPARENCY	☐ ON ☒ OFF	APPLY CANCEL	

お知らせ

- 設定画面に表示されるボタンの説明：

[APPLY] 設定を適用します。

[CANCEL] 各項目の設定を編集前の状態に戻します。

お知らせ

- APPLY ボタンを押した後は、編集前の状態に戻りません。

[RELOAD] 表示しているページの設定値を再読み込みします。

[RESET] 各項目の設定が工場出荷の状態に戻ります。

ネットワーク設定

HOME 画面左側にある NETWORK SERVICE をクリックして設定画面に入ります。

HOME

REMOTE CONTROL

INPUT

PICTURE

AUDIO

SCHEDULE

MULTI INPUT

OSD

MULTI DISPLAY

DISPLAY PROTECTION

CONTROL

OPTION

SYSTEM

COMPUTE MODULE

NETWORK (CONTROL)

NETWORK (MEDIA PLAYER)

MAIL

SNMP

AMX

NAME

NETWORK SERVICE

PD LIST

MEMO

UPDATE FIRMWARE

SD-CARD VIEWER

NETWORK SETTINGS (CONTROL)

IP SETTING	☒ AUTO ☐ MANUAL
IP ADDRESS	192 . 168 . 0 . 10
SUBNET MASK	255 . 255 . 255 . 0
DEFAULT GATEWAY	. . .
DNS	☒ AUTO ☐ MANUAL
DNS PRIMARY	. . .
DNS SECONDARY	. . .

APPLY

CANCEL

RELOAD

RESET

IP SETTING	IP アドレスの設定方法を選択します。 AUTO： IP アドレスを自動的に取得します。 MANUAL： IP アドレスを手動で設定します。 お知らせ 接続に関して問題が発生した場合は、ネットワーク管理者にご確認ください。
IP ADDRESS	「IP SETTING」が「MANUAL」の場合に、本機を接続するネットワークにおける本機の IP アドレスを設定します。
SUBNET MASK	「IP SETTING」が「MANUAL」の場合に、本機を接続するネットワークのサブネットマスクを設定します。
DEFAULT GATEWAY	「IP SETTING」が「MANUAL」の場合に、本機を接続するネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。 設定を削除する場合は、[0.0.0.0]を設定します。
DNS	DNS サーバーの IP アドレスの設定方法を選択します。 AUTO： DNS サーバーの IP アドレスを自動的に取得します。 MANUAL： DNS サーバーの IP アドレスを手動で設定します。
PRIMARY DNS	本機を接続するネットワークの優先 DNS サーバーの IP アドレスを設定します。 お知らせ 設定を削除する場合は、[0.0.0.0]を設定します。
SECONDARY DNS	本機を接続するネットワークの代替 DNS サーバーの IP アドレスを設定します。 お知らせ 設定を削除する場合は、[0.0.0.0]を設定します。

お知らせ

- OSD メニューの「コントロール」→「IP アドレスリセット」を選択した場合、以下の項目が工場出荷時状態に戻ります。
[IP SETTING]：AUTO
[IP ADDRESS]：192.168.0.10
[SUBNET MASK]：255.255.255.0
[DEFAULT GATEWAY]：(空欄)
[DNS]：AUTO
[PRIMARY DNS]：(空欄)
[SECONDARY DNS]：(空欄)

メール通知設定

HOME 画面左側にある MAIL をクリックして設定画面に入ります。

本機をネットワークに接続して使用しているとき、各種エラーが発生した場合に、本機の状態を E メールでコンピューターなどへ通知します。

ALERT MAIL	エラーが発生した場合、本機から RECIPIENT'S ADDRESS へメール通知をおこないます。STATUS MESSAGE が ENABLE に設定されていると、本機が無信号状態になった場合もメール通知をおこないます。 ENABLE…以下の設定に基づいてメール通知機能が働きます。 DISABLE…メール通知機能が停止します。	—
STATUS MESSAGE	ALERT MAIL に無信号状態のメール通知を含むかどうかを設定します。 ENABLE…以下の設定に基づいて無信号状態を通知する機能が働きます。 DISABLE…本機の無信号状態を通知する機能が停止します。	—
SENDER'S ADDRESS	差出人アドレスを設定します。 Eメールの「from」にあたるアドレスです。	英数字、記号 最大 60 文字
SMTP SERVER	メール送信に使用する SMTP サーバーを設定します。	英数字 最大 60 文字
RECIPIENT'S ADDRESS 1 ～ 3	宛先のアドレスを設定します。宛先は 3 つまで設定できます。 Eメールの「to」にあたるアドレスです。	英数字、記号 最大 60 文字
AUTHENTICATION METHOD	メール送信の認証方式を選択します。	—
POP3 SERVER	メールの認証に使用する POP3 サーバーのアドレスを指定します。	—
USER NAME	メール送信に認証が必要な場合、認証サーバーにログインするためのユーザー名を設定します。	英数字 最大 60 文字
PASSWORD	メール送信に認証が必要な場合、認証サーバーにログインするためのパスワード名を設定します。	英数字 最大 60 文字
TEST MAIL	メール設定通知を確認するために、テストメールを送信します。	—

お願い

- 送信テストをおこなって、送信エラーになったりメールが届かない場合は、ネットワーク設定の設定内容を確認してください。
- 宛先のアドレスが間違っている場合は、送信テストでエラーにならないことがあります。テストメールが届かない場合は、宛先アドレスを確認してください。

Alert Mail 一覧

エラー番号 Error Code	Alert Mail メッセージ	説明	対策
70h ~ 7Fh	The monitor's power supply is not functioning normally.	電源異常	販売店またはお客様ご相談窓口へご相談ください。
80h ~ 8Fh	The cooling fan has stopped.	冷却ファン異常	販売店またはお客様ご相談窓口へご相談ください。
90h ~ 9Fh	The monitor's back light unit is not functioning normally.	バックライト異常	販売店またはお客様ご相談窓口へご相談ください。
A0h ~ AFh	The monitor is overheated.	温度異常	販売店またはお客様ご相談窓口へご相談ください。
A2h		センサーがユーザー指定温度に達した * 条件：保護設定 - ファン制御 - 冷却ファン = AUTO	OSD メニューの「保護設定」「ファン制御」の条件設定を再確認するか、販売店またはお客様ご相談窓口へご相談ください。
B0h ~ BFh	The monitor doesn't have the input signal.	NO SIGNAL	「困ったとき」の「画面に何も映らない」「電源ランプが青色に点灯または青色以外に点灯もしくは点滅している場合」を参照してください。
D0h	The remaining capacity of the error log decreased.	Proof of Play ログ容量が少なくなっています	外部コマンドを使用して、ログを取得してください。詳細は本取扱説明書の「Proof of Play 機能」を参照ください。
D1h	The battery for clocks is empty	バッテリーが切れています。	本機を電源コンセントにつなぎ充電してください。OSD メニューの「日付 / 時刻設定」を設定してください。
E0h ~ EFh	The system error occurred in the monitor.	システムエラー	販売店またはお客様ご相談窓口へご相談ください。

SNMP 設定

HOME 画面左側にある SNMP をクリックして設定画面に入ります。

SNMP はネットワークに接続された機器を管理するための情報通信方法です。

SNMP を設定することにより、管理対象の機器の情報取得や設定変更がおこなえます。

バージョン

SNMP v1 コミュニティ名による平文の認証、Trap 再送確認なし

SNMP v2c コミュニティ名による平文の認証、Trap 再送確認あり

コミュニティ

初期設定のコミュニティ名は public です。値を読むことのみが可能です。コミュニティ名は 3 つまで設定することができます。

Trap 送信

管理対象の機器にエラーが発生した場合、指定されたアドレスに Trap 送信をおこなうことができます。

Trap 選択項目	説明	エラーコード
Temperature	温度異常	0xA0, 0xA1, 0xA2
Fan	冷却ファン異常	0x80, 0x81
Power	電源異常	0x70, 0x71, 0x72, 0x78
Inverter/Backlight	バックライト異常	0x90, 0x91
No Signal	NO SIGNAL	0xB0
PROOF OF PLAY	Proof of Play ログ容量の残量減少	0xD0
System Error	システムエラー	0xE0

AMX 設定

HOME 画面左側にある AMX をクリックして設定画面に入ります。

AMX BEACON	本機を AMX 社の NetLinx コントロールシステムに対応したネットワークに接続した場合、AMX Device Discovery からシステムへのビーコン送信機能の有効 (ENABLE)/ 無効 (DISABLE) を設定します。
------------	---

お知らせ

AMX Device Discovery は、対応した機器を接続すると自動的に検出し、制御に必要な Device Discovery Module を AMX のサーバからダウンロードする仕組みです。

NAME 設定

HOME 画面左側にある NAME をクリックして設定画面に入ります。

MONITOR NAME	本機の名称を設定します。初期設定はモデル名です。 この名称はアプリケーション使用時に同じネットワーク上の機器を検索すると表示されます。	英数字 最大 16 文字
HOST NAME (CONTROL)	本機のホスト名を設定します。	英数字 最大 15 文字
HOST NAME (MP)	本機のホスト名を設定します。	英数字 最大 15 文字
DOMAIN NAME	本機のドメイン名を設定します。	英数字 最大 60 文字

NETWORK SERVICE 設定

HOME 画面左側にある NETWORK SERVICE をクリックして設定画面に入ります。

PJLink CLASS	使用する PJLink (ピージェイリンク) のクラスを指定します。 お知らせ • PJLink (ピージェイリンク) とは社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会 (略称 JBMA) が制定したネットワーク (通信) インターフェイス規格です。 http://pjlink.jbmia.or.jp/index.html 本機は、PJLink class 1, class 2 のすべてのコマンドに対応しています。
NOTIFY FUNCTION ENABLE	ディスプレイのネットワークの変化を通知する機能の有効 / 無効を設定します。 PJLink class 2 で使用する機能です。
NOTIFY ADDRESS	ディスプレイの変化を通知する先の IP アドレスを設定します。 PJLink class 2 で使用する機能です。
PJLink PASSWORD	PJLink を使用する場合に、パスワードを設定します。パスワードは最大 32 文字までの英数字で設定してください。
HTTP PASSWORD	HTTP サーバーを使用する場合に、パスワードを設定します。初期設定は初回ログイン時にユーザーが設定したパスワードです。パスワードは最大 10 文字までの英数字で設定してください。
HTTP PASSWORD ENABLE	HTTP サーバーにログインする際のパスワード入力の有無を設定します。

PD LIST INFORMATION

HOME 画面左側にある PD LIST をクリックして表示画面に入ります。

LAN を使ってマルチ接続（数珠つなぎ）されたディスプレイのモニター ID 番号と IP アドレスを表示します。親機のみリストが表示できます。

MEMO 設定

HOME 画面左側にある MEMO をクリックして設定画面に入ります。

お好みのタイトルと表示内容を設定できます。

TITLE	最大 24 文字までの英数字で設定してください。
MESSAGE	最大 240 文字までの英数字で設定してください。 文字は 1 行に 30 字まで、9 行まで入力できます。
MEMO PASSWORD	初期設定は 0000 です。
MEMO PASSWORD ENABLE	MEMO 設定時のパスワード入力の有無を設定します。

SD-CARD VIEWER の設定

HOME 画面左側にある SD- CARD VIEWER をクリックして設定画面に入ります。

詳細は本取扱説明書の機能「Web viewer で SD-CARD VIEWER を使用する」を参照ください。

ネットワークについて

- 本機は法令上、電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダなど）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続することはできません。本機をインターネットに接続する場合は、必ずルーターなどの機器を経由して接続してください。
- ネットワークには、通信内容を盗み見られたり、不正にアクセスされるなどの危険があります。安全が確保されたネットワークで请使用してください。

Proof of Play 機能

表示状態をセルフチェックし、ネットワークを通じて本機の状態を通知する機能です。詳しくは当社 Web サイトの外部制御コマンド説明書（「付録 A 外部のリソース」[109 ページ](#)）を参照ください。

以下のセルフチェックをおこないます。

チェック項目		通知内容
①	選択されている映像入力	DVI, HDMI1, HDMI2, DisplayPort1, DisplayPort2, VGA(RGB/YpPr), VIDEO, MP, OPTION*
②	入力信号の解像度	(例) (H)1920, (V)1080, (H)1360, (V)768 or No signal or Invalid signal
③	選択されているオーディオ入力	IN1, IN2, HDMI1, HDMI2, DisplayPort1, DisplayPort2, OPTION(analog)*, OPTION(digital)*, MP
④	入力されているオーディオ信号の有無	Audio in or No Audio in or N/A (IN1, IN2), OPTION(analog)*
⑤	映像の出力状態	Normal Picture or No Picture
⑥	オーディオの出力状態	Normal Audio or No Audio
⑦	年月日時間	年 / 月 / 日 / 時間 (h) / 分 (m) / 秒 (s)
⑧	EXPANSION DATA	00h: Normal Proof of Play event 01h: Proof of Play event is "last power on time" 10h: MEDIA PLAYER is stop 11h: MEDIA PLAYER is start 12h: MEDIA PLAYER is pause 13h: MEDIA PLAYER error occur 20h: Contents Copy from USB 21h: Contents Copy form network folder 30h: Contents Copy Success 31h: Contents Copy Error (No media) 32h: Contents Copy Error (Connect error) 33h: Contents Copy Error (Out of disk space) 34h: Contents Copy Error (Read/Write error) 40h: Human detected (Human sensor Status) 41h: Human detect cleared (Human Sensor Status)

* 対応するオプションボード装着時のみ切り替わります。対応可能なオプションボードについては販売店へお問い合わせください。

通知メッセージ例

- ① HDMI1
- ② 1920 x 1080
- ③ HDMI1
- ④ IN1
- ⑤ Normal Picture
- ⑥ Normal Audio
- ⑦ 2014/1/1/0h/0m/0s
- ⑧ 10h: MEDIA PLAYER is stop

8 章 困ったとき

この章の内容：

- ⇒ 故障かな？と思ったら…（100 ページ）
- ⇒ ディ스플레이を長くご使用いただくために（105 ページ）

故障かな？と思ったら…

このようなときは、チェックしてください。

表示されないときは…

症 状	状 態	原因と対処	参照
画面に何も映らない	電源ランプが赤色に点滅している場合	本機の故障である可能性があります。販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。	P.135
	電源ランプが点灯しない場合 OSDメニューの「コントロール」→「電源ランプ」が「オン」→「電源ランプ」が「オン」の場合	電源コードが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P.11
		電源コンセントに正常に電気が供給されているか、別の機器で確認してください。	
		主電源スイッチがオフになっている可能性がありますので、確認してください。	P.38
	電源ランプが青色に点灯している場合	信号入力が無い入力コネクタが選択されている可能性があります。入力切替ボタンを押して、入力コネクタを切り替えてください。	P.26
		OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P.43
		● OSD画面が表示されない場合は故障の可能性があります。販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。	P.135
		● OSD画面が正常に表示されれば故障ではありません。「映像設定」の「バックライト」と「コントラスト」を調節してください。	P.112, P.113
		● OSD画面が正常に表示され、「バックライト」と「コントラスト」を調節しても画面が表示されない場合は、接続している機器が正しい動作状態にあることを確認してください。コンピューターと接続している場合は、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P.30
		DVI入力コネクタを使用して接続している場合、「DVIモード」の設定によっては画面が表示されないことがあります。「DVIモード」の設定を確認してください。	P.122
	電源ランプが青色以外に点灯もしくは点滅している場合	パワーマネジメント機能が作動している可能性があります。キーボードの適当なキーを押すか、マウスを動かす、またはリモコンのPOWER ONボタンを押してください。	P.26, P.39
		信号ケーブルが本機または接続機器のコネクタに正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P.29
		変換アダプターが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P.29
		接続しているコンピューターや映像機器の電源が入っていない可能性がありますので、確認してください。	
画面が表示されなくなった	正常に表示されていた画面が、暗くなったり、ちらつくようになったり、表示しなくなった場合*	新しい液晶パネルとの交換が必要です。販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。	P.135
	DVIコネクタからの入力で切り替えた際、映像が表示されなくなった場合	接続しているコンピューターなどの機器のHDCP認証対応、非対応により設定が必要になります。「DVIモード」の設定を確認してください。	P.122

※ ディスプレイに使用しているバックライトには寿命があります。

表示がおかしいときは…

症 状	原因と対処	参照
画面上に黒点(点灯しない点)や輝点(点灯したままの点)がある	液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P.1
画面表示の明るさにムラがある	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面に薄い縦縞の陰が見える	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
細かい模様を表示するとモアレが生じる	細かい模様を表示するこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面を見る角度によって色がおかしい	視野角(画面を見る角度)によっては、色相の変化が大きくなります。	P.107, 108
画面の表示状態が変わっていく	ディスプレイは使用時間の経過に伴い表示状態が少しずつ変化します。また周囲の温度によっては画面の表示状態に影響を受けることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P.26, P.105
画面を切り替えても前の画面の像が薄く残っている	長時間同じ静止画面を表示すると、このような残像が起こることがあります。本機をリモコンのSTANDBYボタンまたは  ボタンで電源待機状態にするか、変化する画面を表示していれば、像は1日程度で自然に消えます。長時間に渡って静止画面を表示すると、残像が消えなくなる場合がありますが、故障ではありません。使用しないときには電源を切ることをおすすめします。	
表示色がおかしい	OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P.43
	● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。 販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。	P.135
	● OSD画面が正常に表示されれば故障ではありません。「カラーコントロール」を選択し、お好みで色の割合を調節していただくか、または映像設定リセットをおこなって工場出荷値に戻してください。	P.113, P.117
	● OSD画面が正常に表示され、「映像設定」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P.29, P.30
画面がざらつく(上記以外の場合)、または映像が一瞬途切れる	中継器、分配器、長いケーブルをご使用した場合、画面のざらつきや映像が一瞬途切れることがあります。ご使用のケーブルをシールド付きの物に交換する、もしくは中継器、分配器を使用せずに直接ディスプレイ本体にケーブルを接続してください。ツイストペアケーブル延長器をご利用の際はシールド付きケーブルに対応したものをご使用ください。また、使用環境或使用ケーブルによって画面にノイズが現れたり映像が途切れることがあります。	
	OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P.43
	● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。 販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。	P.135
	● HDMI入力を使用し、解像度3840×2160または4096×2160にて入力した際に映像が途切れる場合は、4K対応のHDMIケーブルをご使用ください。	
	● OSD画面が正常に表示されれば故障ではありません。「画面調節」の「位相」を選択し調節してください。	P.114
	● OSD画面が正常に表示され、「位相」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P.29, P.30
自動的に電源が切れてしまう	「オフタイマー」の設定を確認してください。 「CEC」の設定を「オフ」にしてください。	P.120, P.133
スケジュール機能で設定したとおりに動作しない	「オフタイマー」の設定を確認してください。 「オフタイマー」が「オン」と設定されている場合は、スケジュール機能は動作しません。	P.120
画面が乱れる	電源を入れたとき、または設定を変更したときに画像が乱れることがありますが、故障ではありません。	

案内画面／注意画面が表示されたら…

症 状	原 因	対 処	参照
画面に「注意」が表示された※ ¹ 注意！ 入力信号がありません 信号または接続を確認してください	信号ケーブルが本体またはコンピューターのコネクタに正しく接続されていない可能性があります。	信号ケーブルを本体およびコンピューターのコネクタに正しく接続してください。	P.29
	HDMI入力が切り替わった可能性があります。	「CEC」の設定を「オフ」にしてください。	P.133
	信号ケーブルが断線している可能性があります。	信号ケーブルが断線していないか確認してください。	
	コンピューターの電源が切れている可能性があります。	コンピューターの電源が入っているか確認してください。	
	コンピューターのパワーマネジメント機能が作動している可能性があります。	マウスを動かすかキーボードのキーを押してください。	
※ ² 注意！ 入力周波数または解像度が範囲外です 入力周波数または解像度を変更してください 水平周波数：75kHz 垂直周波数：60Hz	本機に適切な信号が入力されていない可能性があります。	入力周波数またはコンピューターの解像度を変更してください。	P.30
	本機の対応する解像度よりも高い解像度の信号を入力しています。	入力周波数またはコンピューターの解像度を変更してください。	P.30
画面に「温度警告！！」が表示された	周りの環境が保証温度を超えた状態になっています。	故障の原因となりますので、電源を切ってください。	

※ 1 コンピューターによっては、解像度や入力周波数を変更しても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば、入力信号は適正です。

※ 2 コンピューターによっては電源を入れても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば入力信号の周波数は適正です。

その他（コンピューターと接続している場合）

症 状	原 因	対 処
解像度や色数の変更ができない／固定されてしまう	うまく信号が入出力できないことがまれにあります。	本機とコンピューターの電源をいったん切り、もう一度電源を入れ直してください。
	ビデオカードのドライバーがOSに正しく認識されていない可能性があります。	ビデオカードのドライバーを再インストールしてください。再インストールに関しては、コンピューターの取扱説明書を参照いただくか、コンピューターのサポート機関にお問い合わせください。
接続しているUSB対応周辺機器が認識されない 正常に動作しない	Windows®をお使いの場合： USB対応周辺機器のデバイスドライバーが正 常に組み込まれていない（ドライバーイン ストールが必要なUSB対応周辺機器のみ）	USB対応周辺機器のデバイスドライバーを 組み込んでください。デバイスマネージャー で“不明なデバイス”と表示される場合は、“不 明なデバイス”をデバイスマネージャー上で 削除し、USB対応周辺機器のデバイスドライ バーを組み込んでください。
	非対応のポートにUSB対応周辺機器を接続 している可能性があります。	USB1 (SENSOR) またはMedia Player USB に機器が接続されていることを確認してくだ さい。
USBポートを多段接続（複数台 の連結接続）した後に、USB対応 周辺機器を接続すると、USB対 応周辺機器が正常に動作しない	USB対応周辺機器が、USBポートの多段接続 に対応していない。	USB対応周辺機器をコンピューターに近い USBポートに接続してください。

その他（リモコン、スピーカー）

症 状	原因と対処	参照
リモコンで操作できない	● リモコンの乾電池が消耗していませんか。 ● リモコンの乾電池の＋－が逆に入っていませんか。 ● ディスプレイ本体またはリモート入力コネクタに接続したセンサーユニットの受光部に正しく向けていますか。 ● リモコンロック設定が設定されていませんか。 ● リモコンがIDモードになっていませんか。 ● モニターIDとリモコンIDの番号はあっていますか。	P.10, P.21, P.82, P.129
映像は出るが、音が出ない	● オーディオ出力コネクタに接続した機器から音が出ない場合は、オーディオ入力コネクタの接続コードが外れていないか調べてください。また音声バランスが片側によっていないか調べてください。片側によっている場合はバランス設定をセンターに戻してください。「サラウンド」が「オン」になると「ラインアウト」の出力は無効になるため、「サラウンド」は「オフ」にしてください。 ● 映像入力と音声入力が異なっていませんか。「音声入力」を切り替えてください。 ● 消音状態になっていませんか。本体またはリモコンのMUTE ボタンを押して、音が出るかどうかを確認してください。 ● 音量が最小になっていませんか。本体の▶◀ボタンまたはリモコンの音量調節プラスボタン(+), 音量調節マイナスボタン(-) で音量を調節してください。 ● DisplayPort 接続している機器によっては音声出力非対応の場合があります。 ● 抵抗ありのオーディオケーブルを使用していませんか。抵抗なしのオーディオケーブルをご使用ください。 ● 表示中のHDMI コネクタにHDMI CEC対応音声機器を接続していない場合は「オーディオレシーバー」を「しない」に設定してください。 お知らせ ・「音声入力」の切替えは、映像入力ごとに設定が可能です。	P.23, P.26, P.29, P.31, P.117, P.118, P.133

その他（USB、RS-232C または LAN で接続している）

症 状	原因と対処	参照
RS-232C で制御できない	リバースタイプ(クロスタイプ)のRS-232C ケーブルが正しく接続されているかを確認してください。	P.87
LAN で制御できない	LAN ケーブル (Cat.5 以上) が正しく接続されているかを確認してください。	P.88
	ネットワーク設定が正しく設定されているか確認してください。	P.88
USB で制御できない	USB2 にケーブルが正しく接続されているかを確認してください。OSD メニュー→「USB」→「外部制御」が「許可」になっていて、「PC ソース」が「自動」または「外部PC」に設定されているかを確認してください。	P.132

メディアプレーヤーを使用するとき

症 状	原因と対処	参照
メディアプレーヤー機能でUSBストレージデバイスが認識されない	Media Player USB にUSB ストレージデバイスが正しく接続されていることを確認してください。	P.35

映像機器を使用するとき

症 状	原因と対処	参照
映像も音も出ない	プレーヤーなどの外部機器は正しく接続し、正しく操作していますか。詳しくは外部機器の取扱説明書をご覧ください。	P.29
	本機のパワーマネジメント機能が作動している可能性があります。外部機器側が動作(再生)状態になっているかご確認ください。	P.39
色がつかない、色がおかしい	「色相」の調節をしてください。 「色のこさ」の調節をしてください。 「カラーシステム」を正しく設定してください。	P.113 , P.114
画面が縦長に見える	16：9の映像が4：3に圧縮され、縦長の映像として表示されている場合(スクイーズ信号)があります。 正しい比率で見るために、画面の「アスペクト」を「ワイド」に設定してください。	P.115

ディスプレイを長くご使用いただくために

残像について

液晶パネルに長時間同じ画面を表示していると、前の画像が残像となることがあります。(画面表示が残る「残像」)

画面の残像は恒久的なものではありませんが、同一の静止画像を長時間表示した場合、残像除去が不可能になることがあります。(恒久的焼き付き)

推奨事項

恒久的焼き付きを防いでディスプレイの寿命を延ばすために、以下を推奨します。

- 同一の静止画像を長時間表示し続けない。短い間隔で静止画像を切り替えてください。
- ディスプレイを使用しないときは、リモコンで電源を切る、またはコンピューターのパワーマネージメント機能やスケジュール機能を使って電源の管理をしてください。
- 周囲温度が低いと寿命が延びます。
ケースに入れて設置する場合は、ディスプレイ内蔵の温度センサーをご利用ください。
冷却ファン、スクリーンセーバー、コンピューターのパワーマネージメント機能を利用したり、ディスプレイの輝度を低くするなどし内部温度の上昇を防いでください。
- OSD メニューの「保護設定」で「スクリーンセーバー」を設定してください。

9 章 仕様

この章の内容：

- ⇒ PN-UN553S (107 ページ)
- ⇒ PN-UN553V (108 ページ)

【お知らせ】 本製品で使用している MPEG-4 AVC、MPEG-4 Visual ライセンスについて

1. MPEG AVC

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com)

2. MPEG-4 Visual

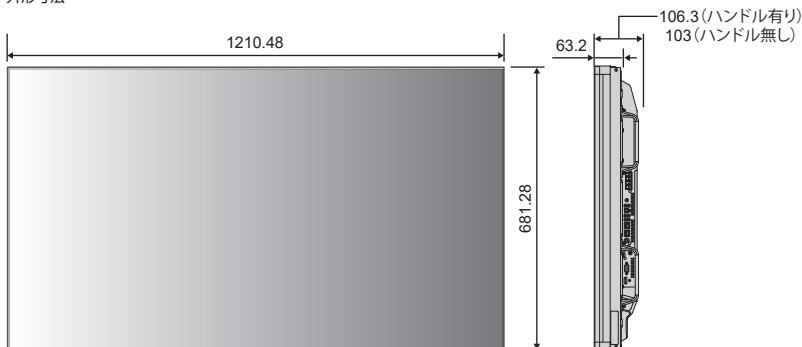
THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NONCOMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com).

PN-UN553S

サイズ(表示サイズ)				55型(138.8cm) (対角)
液晶方式				アクティブマトリクス方式カラー TFT液晶
有効表示領域				1209.6×680.4mm
最大解像度(ドット)				1920×1080
画素ピッチ				0.630mm
最大表示色				約1,677万色
視野角				左右178°、上下178° (コントラスト比>10)
輝 度				500cd/m ² (工場出荷設定標準値) 700cd/m ² (最大値) (周囲温度25℃)
コントラスト比(標準値)				1100 : 1
応答速度(標準値)				8ms (G to G)
走査周波数		水平周波数		15.625/15.734/31.5-91.1kHz
		垂直周波数		50～85Hz(50/60Hzフレームロック) (アナログ)、24～85Hz(50/60Hzフレームロック) (デジタル)
入力端子	DVI	DVI-D 24ピン	デジタルRGB信号	DVI規格T.M.D.S準拠 HDCP1.4 VGA60, SVGA60, XGA60, WXGA60, SXGA60, UXGA60 ^{*2} , 1920×1080(60Hz)、1125p(1080p)、1125i(1080i)
	DisplayPort	DisplayPort コネクター	デジタルRGB信号	DisplayPort規格 Ver1.2準拠 HDCP1.3 VGA60, SVGA60, XGA60, WXGA60, SXGA60, UXGA60 ^{*2} , WUXGA60 ^{*2} , 1920×1080(60Hz)、1125p(1080p)、1125i(1080i)、750p(720p) : 50Hz/60Hz、525p(480p) : 60Hz、625p(576p) : 50Hz、3840×2160(24Hz/30Hz/60Hz(DisplayPort 1.2)) ^{*2*3}
	HDMI	HDMI コネクター	デジタル色差信号 デジタルRGB信号	HDMI HDCP1.4/2.2 VGA60, SVGA60, XGA60, WXGA60, SXGA60, UXGA60 ^{*2} , WUXGA60 ^{*2} , 1920×1080(60Hz)、1125p(1080p)、1125i(1080i)、750p(720p) : 50Hz/60Hz、525p(480p) : 60Hz、625p(576p) : 50Hz、3840×2160(24Hz/25Hz/30Hz/60Hz(設定2)) ^{*2*3} 、4096×2160(24Hz) ^{*2*3}
	VGA(RGB) ^{*4}	ミニD-Sub15ピン	アナログRGB信号	RGB : 0.7Vp-p/75Ω VGA60, SVGA60, XGA60, WXGA60, SXGA60, UXGA60 ^{*2} , WUXGA60 ^{*2} , 1920×1080(60Hz)
	VGA(YPbPr) ^{*4}	ミニD-Sub15ピン	同期信号 色差信号	セパレート同期信号 : TTLレベル 正/負極性 シンクオングリーン : 0.3Vp-p/75Ω 負極性 輝度信号Y : 1.0Vp-p/75Ω、色差信号Cb/Cr (Pb/Pr) : 0.7Vp-p/75Ω HDTV/DVD : 1125p(1080p)、1125i(1080i)、750p(720p) : 50Hz/60Hz、525p(480p)、525i(480i) : 60Hz、625p(576p)、625i(576i) : 50Hz
	VIDEO ^{*4}	RCA端子×1	コンボジット信号	1.0Vp-p/75Ω NTSC/PAL/SECAM/4.43NTSC/PAL60
出力端子	DisplayPort	DisplayPortコネクター	デジタルRGB信号	DisplayPort規格 Ver1.2準拠 HDCP1.3
	HDMI	HDMIコネクター	デジタル色差信号 デジタルRGB信号	HDMI HDCP1.4/2.2
音声端子	オーディオ入力	3.5φステレオミニジャック×1	アナログ音声信号	ステレオ L/R 0.5Vrms
		DisplayPort コネクター	デジタル音声信号	PCM 32, 44.1, 48kHz (16, 20, 24bit)
		HDMI コネクター	デジタル音声信号	PCM 32, 44.1, 48kHz (16, 20, 24bit)
	オーディオ出力	3.5φステレオミニジャック×1	音声信号	入力選択された信号を出力 : ステレオ L/R 0.5Vrms
音声出力				外部スピーカー端子8Ω、音声出力15W+15W (実用最大出力) 内蔵スピーカー : なし
制御信号	制御入力コネクター		D-SUB9ピン(RS-232C)×1	
	LANポート		RJ-45 10BASE-T/100BASE-TX×2	
	リモコン入力コネクター		3.5φステレオミニジャック×1	
microSDカードスロット				microSDカードスロット×1 microSDHC 32GBまで対応
USBポート	USB1 (SENSOR)		USB2.0 ダウンストリームポート	
	USB2		USB2.0 アップストリームポート	
	USB CM1(2A)		電力供給用 供給電圧 : 5V、最大供給電流 : 2A	
	USB CM2		メンテナンス用	
	Media Player USB		メディアプレーヤー用	
使用環境条件	温 度 ^{*7}		0～40℃	
	湿 度		20～80% (結露のないこと)	
	湿 度		-20～60℃	
保管環境条件	温 度		-20～60℃	
	湿 度		10～80% (結露のないこと)	
	湿 度		10～80% (結露のないこと)	
電 源	電源入力		AC100-240V、4.7-1.9A、50/60Hz	
	消費電力 ^{*1}		180 W	
	(最大/ネットワークスタンバイモード ^{*5} /スタンバイモード ^{*6})		(420W/2.0 W/0.5 W)	
スロット2タイプオプション供給電力				16V/3.6A
質 量				約28.1kg

外形寸法

- ※1 工場出荷時の設定条件 (別売品未装着)。
- ※2 簡易圧縮表示。
- ※3 表示される文字が不鮮明になる場合があります。
- ※4 共用端子。
- ※5 別売品未装着時。ネットワークスタンバイに移行するまでの待機時間: 約10秒 (工場出荷時の設定)。
- ※6 別売品未装着時。スタンバイモードに移行するまでの待機時間: 約3.5分 (工場出荷時の設定)。
- ※7 別売品取り付け時の温度条件は、別売品の説明書をご確認ください。別売品を付けると温度条件が変わる場合があります。



寸法: mm

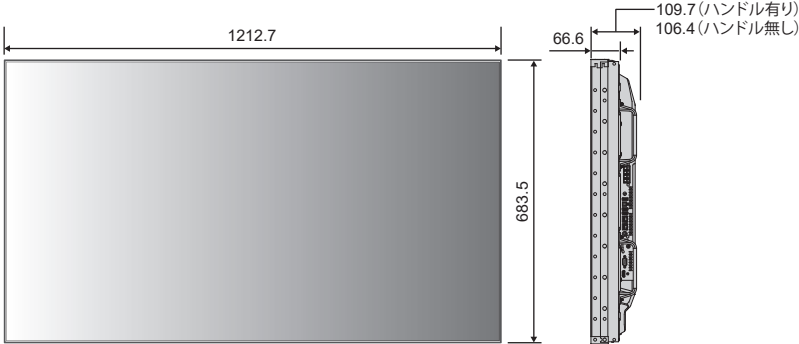
- ・仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- ・会社名、製品名等の固有名詞は各社の商標または登録商標です。

PN-UN553V

サイズ(表示サイズ)				55型(138.8cm) (対角)
液晶方式				アクティブマトリクス方式カラー TFT液晶
有効表示領域				1209.6×680.4mm
最大解像度(ドット)				1920×1080
画素ピッチ				0.630mm
最大表示色				約1.677万色
視野角				左右178°、上下178° (コントラスト比>10)
輝 度				350cd/m ² (工場出荷設定標準値) 500cd/m ² (最大値) (周囲温度25℃)
コントラスト比(標準値)				1100 : 1
応答速度(標準値)				8ms (G to G)
走査周波数	水平周波数			15.625/15.734/31.5-91.1kHz
	垂直周波数			50 ~ 85Hz(50/60Hzフレームロック) (アナログ)、24 ~ 85Hz(50/60Hzフレームロック) (デジタル)
入力端子	DVI	DVI-D 24ピン	デジタルRGB信号	DVI規格T.M.D.S準拠 HDCP1.4 VGA60, SVGA60, XGA60, WXGA60, SXGA60, UXGA60 ^{※2} 、1920×1080(60Hz)、1125p(1080p)、1125i(1080i)
	DisplayPort	DisplayPort コネクター	デジタルRGB信号	DisplayPort規格 Ver1.2準拠 HDCP1.3 VGA60, SVGA60, XGA60, WXGA60, SXGA60, UXGA60 ^{※2} 、WUXGA60 ^{※2} 、1920×1080(60Hz)、1125p(1080p)、1125i(1080i)、750p(720p) : 50Hz/60Hz、525p(480p) : 60Hz、625p(576p) : 50Hz、3840×2160(24Hz/30Hz/60Hz(DisplayPort 1.2)) ^{※2※3}
	HDMI	HDMI コネクター	デジタル色差信号 デジタルRGB信号	HDMI HDCP1.4/2.2 VGA60, SVGA60, XGA60, WXGA60, SXGA60, UXGA60 ^{※2} 、WUXGA60 ^{※2} 、1920×1080(60Hz)、1125p(1080p)、1125i(1080i)、750p(720p) : 50Hz/60Hz、525p(480p) : 60Hz、625p(576p) : 50Hz、525i(480i):60Hz、625i(576i): 50Hz、3840×2160(24Hz/25Hz/30Hz/60Hz(設定2)) ^{※2※3} 、4096×2160(24Hz) ^{※2※3}
	VGA(RGB) ^{※4}	ミニD-Sub15ピン	アナログRGB信号	RGB : 0.7Vp-p/75Ω VGA60, SVGA60, XGA60, WXGA60, SXGA60, UXGA60 ^{※2} 、WUXGA60 ^{※2} 、1920×1080(60Hz)
	VGA(YPbPr) ^{※4}	ミニD-Sub15ピン	同期信号 色差信号	セパレート同期信号 : TTLレベル 正/負極性 シンクオングリーン : 0.3Vp-p/75Ω 負極性 輝度信号Y : 1.0Vp-p/75Ω、色差信号Cb/Cr (Pb/Pr) : 0.7Vp-p/75Ω HDTV/DVD : 1125p(1080p)、1125i(1080i)、750p(720p) : 50Hz/60Hz、525p(480p)、525i(480i) : 60Hz、625p(576p)、625i(576i) : 50Hz
	VIDEO ^{※4}	RCA端子×1	コンボジット信号	1.0Vp-p/75Ω NTSC/PAL/SECAM/4.43NTSC/PAL60
出力端子	DisplayPort	DisplayPortコネクター	デジタルRGB信号	DisplayPort規格 Ver1.2準拠 HDCP1.3
	HDMI	HDMIコネクター	デジタル色差信号 デジタルRGB信号	HDMI HDCP1.4/2.2
音声端子	オーディオ入力	3.5φステレオミニジャック×1	アナログ音声信号	ステレオ L/R 0.5Vrms
		DisplayPort コネクター	デジタル音声信号	PCM 32、44.1、48kHz (16、20、24bit)
		HDMI コネクター	デジタル音声信号	PCM 32、44.1、48kHz (16、20、24bit)
	オーディオ出力	3.5φステレオミニジャック×1	音声信号	入力選択された信号を出力 : ステレオ L/R 0.5Vrms
音声出力				外部スピーカー端子 8 Ω、音声出力 15W+15W (実用最大出力) 内蔵スピーカー : なし
制御信号	制御入力コネクター		D-SUB9ピン(RS-232C) × 1	
	LANポート		RJ-45 10BASE-T/100BASE-TX × 2	
	リモコン入力コネクター		3.5 φステレオミニジャック× 1	
microSDカードスロット				microSD カードスロット×1 microSDHC 32GBまで対応
USBポート	USB1 (SENSOR)		USB2.0 ダウンストリームポート	
	USB2		USB2.0 アップストリームポート	
	USB CM1 (2A)		電力供給用 供給電圧 : 5V、最大供給電流 : 2A	
	USB CM2		メンテナンス用	
	Media Player USB		メディアプレーヤー用	
使用環境条件	温 度 ^{※7}		0 ~ 40℃	
	湿 度		20 ~ 80% (結露のないこと)	
保管環境条件	温 度		-20 ~ 60℃	
	湿 度		10 ~ 80% (結露のないこと)	
電 源	電源入力		AC100-240V、4.2-1.6A、50/60Hz	
	消費電力 ^{※1} (最大/ネットワークスタンバイモード ^{※5} /スタンバイモード ^{※6})		140W (380 W/2.0 W/0.5 W)	
スロット2タイプオプション供給電力				16V / 3.6A
質 量				約28.6kg

外形寸法

- ※ 1 工場出荷時の設定条件 (別売品未装着)。
- ※ 2 簡易圧縮表示。
- ※ 3 表示される文字が不鮮明になる場合があります。
- ※ 4 共用端子。
- ※ 5 別売品未装着時。ネットワークスタンバイに移行するまでの待機時間 : 約 10 秒 (工場出荷時の設定)。
- ※ 6 別売品未装着時。スタンバイモードに移行するまでの待機時間 : 約 3.5 分 (工場出荷時の設定)。
- ※ 7 別売品取り付け時の温度条件は、別売品の説明書をご確認ください。別売品を付けると温度条件が変わる場合があります。



寸法 : mm

- ・仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- ・会社名、製品名等の固有名詞は各社の商標または登録商標です。

付録 A 外部のリソース

本機の仕様、アクセサリやオプションのソフトウェアに関するドキュメントで、取扱説明書にも記載されているものは以下のとおりです。

当社の Web サイト

日本：<https://jp.sharp/business/lcd-display/>

補足ドキュメント

外部制御コマンド説明書

RS-232C または LAN を介してディスプレイを外部制御したりディスプレイへの問い合わせをするための通信プロトコルについて記載しています。このプロトコルは符号化バイナリを用いており、チェックサム計算が必要で、ディスプレイのほぼすべての機能を制御できるコマンドです。

詳細は当社の Web サイトを参照ください。

プロジェクター / ディスプレイ用共通 ASCII コントロールコマンド リファレンスマニュアル

LAN を介して、シンプルな英語に似たシンタックスのコマンドでディスプレイの基本機能を外部制御するための通信プロトコルについて記載しています。既存の制御システムに少ない手間ですべて統合化するのに向いています。電源の状態、ビデオ系入力、音量やディスプレイの状態に関する制御や問い合わせといった機能を利用することができます。プロトコルは ASCII にエンコードされており、チェックサム計算は不要です。

詳細は当社の Web サイトを参照ください。

ソフトウェア

「NaViSet Administrator」ソフトウェア



当社のディスプレイおよびプロジェクターをネットワークを介して高度に、かつパワフルに制御・監視し、資産を管理するフリーソフトです。Windows および macOS 環境下で動作します。

最新バージョンの「NaViSet Administrator」ソフトウェアについては、販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

「インフォメーションディスプレイダウンローダー」ソフトウェア

各ソフトウェアの最新版の確認とダウンロードができます。Windows 環境下で動作します。

「インフォメーションディスプレイダウンローダー」ソフトウェアは、以下の Web サイトからダウンロードできます。

https://jp.sharp/business/lcd-display/support/download/driver_soft.html

ハードウェア / カラーセンサー

MDSVSENSOR3 USB カラーセンサー

当社製品向けにキャリブレーションされた X-Rite カラーセンサーです。ディスプレイのスタンドアローン カラーキャリブレーション機能に必要なほか、対応アプリケーションでも使用できます。詳細については販売店にお問い合わせください。

付録 B OSD 調節リスト

この章の内容：

- ⇒ 入力 (111 ページ)
- ⇒ 映像設定 (111 ページ)
- ⇒ 音声設定 (117 ページ)
- ⇒ スケジュール (118 ページ)
- ⇒ マルチ入力 (120 ページ)
- ⇒ OSD (123 ページ)
- ⇒ マルチディスプレイ (124 ページ)
- ⇒ 保護設定 (127 ページ)
- ⇒ コントロール (128 ページ)
- ⇒ オプション (133 ページ)
- ⇒ システム (134 ページ)

初期設定値は、当社の Web サイトを参照ください。

入力

入力	
DVI	入力信号を選択します。
HDMI1	
HDMI2	
DisplayPort1	
DisplayPort2	
VGA (RGB/YPbPr)	
VIDEO	
MP	
COMPUTE MODULE*	
OPTION* ¹	

*： 動作しません。

*1： 対応するオプションボード装着時のみ。対応可能なオプションボードについては販売店へお問い合わせください。

映像設定

映像設定	
ピクチャーモード	現在選択されている入力端子のピクチャーモードを設定します。SpectraView Engine の設定が「オン」か「オフ」で設定項目が変わります。 詳細は本取扱説明書の「高度な色補正機能」を参照ください。
エミュレーション* ¹	
3D LUT エミュレーション	本機では、「オフ」のまま使用してください。
色覚エミュレーション	異なる色覚特性（P/D/T 型）の見え方を擬似的に表示します。 GRAY は画像のコントラストを確認する機能です。 代表的な見え方を擬似的に再現し、絵柄や文字の見えやすさを確認できます。 お知らせ 本機能は色の見分けにくさを擬似的に表現するもので、実際の見え方を表現するものではありません。

*1：「SPECTRAVIEW ENGINE」が「オン」の場合動作します。

映像設定																					
6 色調節 * ¹	他の色に影響を与えず RED：赤色、YELLOW：黄色、GREEN：緑色、CYAN：水色、BLUE:青色、MAGENTA:紫色を個別に調節する機能です。6 色それぞれに対して色相、彩度、明るさの調節があります。 選択していない色のほか、白やグレーなどの無彩色は変化しません。 例：RED（赤色）の設定値を最小 / 最大に変更した場合の色の变化 <table><tr><td></td><td>最低値</td><td>0</td><td>最大値</td></tr><tr><td>出荷時</td><td colspan="3"></td></tr><tr><td>色相</td><td></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>彩度</td><td></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>明るさ</td><td></td><td colspan="2"></td></tr></table>		最低値	0	最大値	出荷時				色相				彩度				明るさ			
	最低値	0	最大値																		
出荷時																					
色相																					
彩度																					
明るさ																					
ピクチャー設定 * ¹																					
ユニフォミティ	画面全域の色ムラ、輝度ムラを改善します。 お知らせ 設定値が大きいくほど強い補正をおこないますが、消費電力や本機の寿命に影響することがあります。																				
明るさ * ²																					
バックライト	画像の明るさをバックライトで調節します。 ▶ ボタンと ◀ ボタンで画面をお好みの明るさに調節してください。通常の明るさ調節にはこちらをお使いください。 お知らせ コントロールの外光センサーで「設定 1」または「設定 2」が選択されている場合は機能しません。																				
明るさ * ³	画像の明るさを調節します。画面の暗い部分に注目して調節をおこなってください。																				

*1：「SPECTRAVIEW ENGINE」が「オン」の場合動作します。

*2：「SPECTRAVIEW ENGINE」が「オフ」の場合動作します。

*3：「ピクチャーモード」で「sRGB」が選択されている場合は機能しません。

映像設定	
ガンマ *2*3	グレーなど、中間色の明るさを調節します。
NATIVE	ガンマ補正をオフし、液晶パネルの階調特性で表示します。
2.2	コンピュータで一般的な特性です。
2.4	DVD や Blu-ray などビデオ機器で一般的な特性です。
S GAMMA	暗い部分をより暗く、明るい部分をより明るく表示します。画像の明暗が強調されるため映画などに適します。
DICOM SIM.	医療業界で用いられる DICOM に近似したガンマ調節値に設定します。
HDR-ST2084 (PQ)	HDR 信号のガンマ設定で、UHD ディスクの再生やストリーミングビデオの表示に適したガンマ値です。
HDR-HYBRID LOG	HDR 信号のガンマ設定で、UHD 放送に適したガンマ値です。
PROGRAMMABLE1, 2, 3	対応するアプリケーションから詳細なガンマ特性を設定できます。
AUTO HDR SELECT (HDMI 入力の場合のみ)	HDR 信号を検出し、対応信号が入力された場合は「HDR-ST2084 (PQ)」または「HDR-HYBRID LOG」に自動的に切り替えます。
色のこさ *2*3	
色のこさ	色のこさを調節します。 ▶ ボタンを押すと濃くなり、◀ ボタンを押すと薄くなります。
色温度	白色の色温度を調節します。 色温度が低くなると画面が赤っぽくなり、高くなると画面が青っぽくなります。色温度が低くなると画面が赤っぽくなり、高くなると画面が青っぽくなります。さらに細かい調節をおこなう場合、R/G/B レベルをそれぞれ変更できます。 お知らせ ・「ガンマ」で「PROGRAMMABLE1」、「PROGRAMMABLE2」または「PROGRAMMABLE3」が選択されている場合は機能しません。
カラーコントロール	指定の色の色相を調節します。例えば赤色を黄色もしくは紫色に変化させることができます。
色相 *4 (MP、VIDEO 入力の場合のみ)	すべての色の色相を調節します。 ▶ ボタンを押すと緑がかった色、◀ ボタンを押すと紫がかった色になります。
コントラスト *2*3	コントラストを調節します。 ▶ ボタンと ◀ ボタンで画面をお好みのコントラストに調節してください。
シャープネス	文字や画像のキレを調節します。 ▶ ボタンを押すとシャープになり、◀ ボタンを押すとソフトになります。 お知らせ ・調節によっては線が二重になる場合があります。この場合はシャープネスの設定を下げてください。
UHD アップスケーリング	低解像度の信号を UHD 信号に近づけて表示する機能です。大きい数値ほど画像がシャープになります。

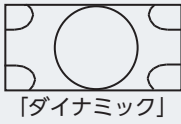
*2：「SPECTRAVIEW ENGINE」が「オフ」の場合動作します。

*3：「ピクチャーモード」で「sRGB」が選択されている場合は機能しません。

*4：MP 入力の場合は動画にのみ有効です。

映像設定	
画面調節	
オートセットアップ (VGA (RGB) 入力の場合のみ)	本体の INPUT/SET ボタンまたはリモコンの SET ボタンを押すと画面の水平／垂直位置、クロック周波数、位相、ホワイトレベルを自動的に調節します。
オートアジャスト (VGA (RGB) 入力の場合のみ)	「オン」を選択すると、新規タイミング検出時に「水平位置」／「垂直位置」、「位相」を自動的に調節します。
水平位置 (VGA (RGB)、VGA (YPbPr) 入力の場合のみ)	画面の水平位置を調節します。 ▶ ボタンを押すと画面が右へ移動し、◀ ボタンを押すと画面が左へ移動します。
垂直位置 (VGA (RGB)、VGA (YPbPr) 入力の場合のみ)	画面の垂直位置を調節します。 ▶ ボタンを押すと画面が上へ移動し、◀ ボタンを押すと画面が下へ移動します。
クロック周波数 (VGA (RGB) 入力の場合のみ)	画面に縦縞が現れるときや左右の画面サイズがあっていないときに調節します。 ▶ ボタンを押すと画面が広がります。 ◀ ボタンを押すと画面が縮みます。
位相 (VGA (RGB)、VGA (YPbPr) 入力の場合のみ)	画面に横方向のノイズが表示されたり、文字のにじみ、輪郭の表示がぼやけたときに調節します。
水平解像度 *5 (VGA (RGB) 入力の場合のみ)	入力タイミングの水平解像度を設定します。
垂直解像度 *5 (VGA (RGB) 入力の場合のみ)	入力タイミングの垂直解像度を設定します。
カラーシステム (VIDEO 入力の場合のみ)	使用するビデオ機器の映像信号フォーマットを選択します。
自動	NTSC、PAL、SECAM、4.43NTSC あるいは PAL60 のビデオ入力方式により自動的に選択します。
NTSC	
PAL	
SECAM	
4.43 NTSC	
PAL-60	
入力解像度 (VGA (RGB) 入力の場合のみ)	走査周波数が類似した、自動判別が難しい信号が入力された場合に解像度を強制的に指定します。表示中の入力信号の解像度によって設定項目は変化します。問題が無い場合は自動のみが表示されます。 「自動」を選ぶと解像度を自動的に選択します。

*5： 個別調節後は「オートセットアップ」をおこなうことを推奨します。

映像設定	
アスペクト	画像のアスペクトを選択します。詳細は本取扱説明書の機能「アスペクト変更」を参照ください。 お知らせ ・「アスペクト」の「ダイナミック」またはダイナミック動作時に「タイルマトリクス」を設定した場合、「ダイナミック」または「ZOOM」は解除され、「フル」の表示で動作します。タイルマトリクス解除後は、元の設定に戻ります。 ・「タイルマトリクス」動作時に「アスペクト」を「ダイナミック」または「ZOOM」に設定を変更した場合、タイルマトリクス解除後に反映されます。 ・ポイントズーム機能の使用には制限があります。詳細は本取扱説明書の「ポイントズーム機能」を参照ください。 ・「映像反転」でオフ以外を選択すると、「ダイナミック」は解除され、「フル」の表示で動作します。「映像反転」で「オフ」を選択すると、設定したアスペクトを実行します。 ・ZOOM 機能において画面を縮小して使用した場合、画像が劣化する可能性があります。 ・画面を縮小して表示している場合、「水平位置」、「垂直位置」の設定を変更しても表示されている画像に変化はありません。 ・解像度 3840 × 2160 (60Hz) の信号を入力している場合、「ZOOM」は使用できません。 ・OSD メニューの「ターミナルモード」→「HDMI」で「設定 2」を選択している場合、ズームは動作しません。
標準	比率を変えずに、できるだけ大きく表示します。
フル	比率を変えて、画面いっぱいに表示します。
ワイド	16:9 のレターボックス信号を画面いっぱいになるよう表示します。 画像のアスペクトによっては画像の一部が表示されない場合があります。
ダイナミック	画面中央部と外側で伸張比率を変えて、自然なワイド表示にできます。 ただし画像によっては上下がカットされたイメージになります。HDTV 映像の場合はフルと同じ表示になります。 
1:1	画像サイズそのままに表示します。入力信号の解像度が推奨解像度を超える場合、画像サイズを小さくし画面に合うよう表示します。
ズーム	画像を拡大 / 縮小します。 お知らせ ・拡大表示した場合、表示エリアから出た部分の画像は表示しません。縮小で表示した場合、画像が劣化することがあります。
ZOOM	水平、垂直比を維持して画像を拡大します。
HZOOM	水平のみが拡大／縮小します。
VZOOM	垂直のみが拡大／縮小します。
H POS	[▶] で右へ移動、[◀] で左へ移動します。
V POS	[▶] で上へ移動、[◀] で下へ移動します。

映像設定		
アドバンスト		
オーバースキャン (HDMI1、HDMI2、VIDEO、MP、OPTION*6、VGA (YPbPr) 入力の場合のみ)		画像表示エリアを選択します。
オン		入力信号の約 95% を表示します。
オフ		入力信号のほぼ 100% を表示します。信号によっては、画面の端にノイズが出る場合があります。 お知らせ • HDMI 出力に対応したコンピューターと接続して使用する場合は、「オフ」にしてください。
自動		入力画像表示エリアを自動設定します。 お知らせ • 入力信号が「VGA(YPbPr)」、「VIDEO」または「MP」の場合選択できません。
デインターレース		インターレース信号の処理を選択します。 お知らせ • プログレッシブ信号は設定によらずそのまま表示します。 • 「入力切替」で「スーパー」を選択している場合は機能しません。 • 「映像反転」が「オフ」以外に設定された場合、「デインターレース」は動作しません。
オン		通常はこちらを選択してください。 動画によっては画像がちらつく場合があります。
オフ		動画を表示する場合に適しています。静止画の場合、文字がちらつく場合があります。
ノイズリダクション (VIDEO 系入力の場合のみ)		画像のざらつきなど、ノイズを抑えて滑らかに表示します。
テレシネモード (HDMI1、HDMI2、VIDEO、VGA (YPbPr)、MP 入力の場合のみ)		インターレース信号の処理を選択します。 「自動」または「オフ」でちらつきが低減する設定を選んでください。 自動：映画など 24 フレーム / 秒の映像を自動検出し、信号処理をおこないます。 自動を選択する場合、「デインターレース」を「オン」に設定してください。 オフ：映像の動きが不自然な場合にお試しください。
アダプティブ コントラスト *2 (HDMI1、HDMI2、VIDEO、VGA (YPbPr)、MP 入力の場合のみ)		画像に合わせてコントラストを自動的に調節する機能です。「強」を選択すると明暗がはっきりした表示になりますが、明るさの変化が不自然になる場合があります。
ユニフォミティ *2		全白表示時などに目立ちやすい液晶ディスプレイ特有の色ムラ特性を補正します。

*2：「SPECTRAVIEW ENGINE」が「オフ」の場合動作します。

*6：対応するオプションボード装着時のみ。対応可能なオプションボードについては販売店へお問い合わせください。

映像設定			
回転		画像を左右反転、上下反転、180°回転して表示する機能です。	
映像反転		お知らせ 「映像反転」でオフ以外を選択すると、以下の機能は解除されます。 「マルチ画面モード」、「スチル機能」、「テキストティッカー」、「ポイントズーム」、「タイトルマトリクス」、「FRAME COMP」 - 画像の「アスペクト」の「ダイナミック」は解除され、「フル」の表示で動作します。 - インターレース信号を入力している場合、映像が乱れることがあります。	
オフ		通常の表示状態です。	AB
左右反転		左右反転して表示されます。	BA
上下反転		上下反転して表示されます。	VB
180°回転		180°回転して表示されます。	BA
OSD 反転		OSD メニューの反転を設定する機能です。	
SPECTRAVIEW ENGINE		「オン」を選択すると、高度な色補正機能が利用できます。詳細は本取扱説明書の機能「高度な色補正機能」を参照ください。	
ピクチャーモード使用数		選択可能な「ピクチャーモード」を制限します。以下のような目的で使うことができます。 - ロック 「1」を設定することでピクチャーモードを1つに固定し、他の設定になることを防ぎます。 - スキップ リモコンなどでピクチャーモードを切り替える際に使わないモードをスキップすることができます。「ピクチャーモード使用数」で「3」を設定した場合、選択できるピクチャーモードは「1, 2, 3」となります。	
メタメリズム		当社製のディスプレイを複数台使用する場合に、視覚的な色のマッチングを改善する機能です。正確な色再現が必要な際は「オフ」に設定してください。	
カラースタビライザー (本機は動作しません)			
キャリブレーション		USB カラーセンサーを使用してキャリブレーションをおこないます。	
リセット		SPECTRAVIEW ENGINE のオン / オフ以外の映像設定の各設定が工場出荷時の状態に戻ります。	

音声設定

音声設定	
音量	音量を調節します。ラインアウトの音量は「サラウンド」が「オフ」で、「ラインアウト」が「連動」のときのみ調節できます。
バランス	
バランス	音声の出力を「ステレオ」か「モノラル」かを設定します。「ステレオ」に設定すると左右の音声バランスが調節できます。 ► ボタンを押すと右側の音が大きくなり、◄ ボタンを押すと左側の音が大きくなります。 「ステレオ / モノラル」で「モノラル」を設定した場合、バランスは動作しません。
サラウンド	スピーカー出力音声疑似サラウンドになります。 「サラウンド」を「オン」にすると「ラインアウト」は無効になります。
イコライザー	
高音	高音域の音量を調節します。 ► ボタンを押すと高い音が強くなり、◄ ボタンを押すと高い音が弱くなります。
低音	低音域の音量を調節します。 ► ボタンを押すと低い音が強くなり、◄ ボタンを押すと低い音が弱くなります。

音声設定	
音声入力	音声入力を各映像入力ごとに切り替えることができます。 アナログ音声「IN1」「IN2」はどの映像入力でも出力できます。 デジタル音声は映像と対に出力されるため、デジタル入力の選択肢はその映像入力選択時のみ設定可能です。 「OPTION」は、OSD メニューの「オプション」→「音声」→「デジタル」を選択し、映像入力で「OPTION」が選択されている場合のみ選択可能です。
マルチ画面音声	「マルチ画面モード」を使用しているときの音声を選択します。 画面を選択すると、その画面の音声が出力されます。
ラインアウト	「連動」を選択すると本体の▶/◀ボタンまたはリモコンのVOL + /VOL - ボタンでオーディオ音量を調節できます。「固定」を選択すると音量は固定されます。
音声遅延	音声と映像の出力タイミングに差が生じた場合に音声の出力タイミングを調節し双方の出力タイミングを合わせる機能です。
音声遅延	「オン」を選択すると遅延時間が反映されます。
遅延時間	音声出力されるまでの遅延時間を調節します。遅延時間は0～100ミリ秒の間で設定できます。
リセット	「音量」以外の音声設定の各設定が工場出荷時の状態に戻ります。

スケジュール

スケジュール	
スケジュール設定	本機の動作スケジュールを設定します。 ▲/▼ ボタンで項目を移動し、▶/◀ ボタンで調節します。 本体のINPUT/SET ボタンまたはリモコンのSET ボタンでチェックボックスのチェックを「オン」/「オフ」することができます。 お知らせ ・「スケジュール」を設定する前に、必ず「日付／時刻設定」で現在の日付を設定してください。 ・スケジュール設定画面を閉じると設定した値が保存されます。 ・複数のスケジュールが同時刻に設定されている場合は、プログラム番号の大きいスケジュールを優先します。 ・「オフタイマー」が動作中の場合は、「スケジュール設定」を実行しません。 ・現在の設定で選択できない入力またはピクチャーモードが設定されている場合は赤色で表示します。 例：「入力」を設定した後にその入力に関する「ターミナルモード」の設定を変更し、設定した入力が無効になる。 ・スケジュール設定画面を開いている間スケジュールは実行されません。
設定	最大 30 件設定することができます。チェックボックスをチェックするとスケジュールが有効になります。
電源制御	電源制御の「オン」/「オフ」を設定します。 スケジュールを設定した各チェックボックスごとにオンまたはオフを設定してください。
時刻	スケジュールを実行する時間を設定します。
入力	スケジュールを実行時に使用する入力信号を設定します。スケジュール実行前に選択されていた入力信号から変更しない場合は「ー」を設定してください。 入力を設定する際は「電源制御」を「オン」に設定してください。
PIC.MODE ^{*1}	スケジュール実行時に使用する「ピクチャーモード」を設定します。PIC. MODE を設定する際は「電源」を「オン」に設定してください。スケジュール実行前に選択されていた「ピクチャーモード」から変更しない場合は「ー」を設定してください。

*1：「SPECTRAVIEW ENGINE」が「オン」の場合、この機能は動作しません。

スケジュール	
以下から 1 項目選択します。複数項目の選択はできません。	
日付	特定の日付を指定する場合に年 / 月 / 日を設定します。
毎日	設定したスケジュールを毎日実行する場合、「毎日」のチェックボックスにチェックを付けます。
毎週	毎週同じ曜日にスケジュールを実行する場合は、「毎週」のチェックボックスにチェックを付け、スケジュールを実行する曜日のチェックボックスにチェックを付けます。
平日	「休日設定」と「週末設定」で設定した「日付」と「曜日」以外の日付にスケジュールを実行します。
週末	「週末設定」で設定した曜日にスケジュールを実行します。
休日	「休日設定」で設定した日付にスケジュールを実行します。
スケジュール一覧	設定中のスケジュールの一覧が表示されます。順番が表示されるのは現在時刻から 30 日以内のスケジュールです。
休日設定	
No.	最大 50 件設定することができます。
年 月 日 週	日： 日を設定する場合は「日」を選択し設定します。 週： 週と曜日を設定する場合は「週」を選択します。毎月設定した第何週目の何曜日が休日として設定されます。 お知らせ 「年」と「月」の設定を「――」とすると、設定した「日」または「週」が毎年または毎月休日として設定されます。
終了日	休日を期間で設定する場合休日の終了日を設定します。 年をまたいで設定をする際は年内の設定と翌年の設定を分けて登録してください。 お知らせ 「日」が選択されていないと終了日は設定できません。「休日設定」で設定した「月」または「日」に「――」が設定している場合は選択できません。
決定 / 削除	選択スケジュールを登録または削除します。
週末設定	
週末	曜日を設定します。
日付 / 時刻設定	
日付と時刻を設定します。スケジュール機能を使用する場合は必ず設定してください。 お知らせ 本機の主電源オフのまま約 2 週間以上経過すると「日付 / 時刻設定」が工場出荷状態に戻り時計機能が停止します。	
年	年 / 月 / 日 / 時間を設定します。
月	
日	
時刻	
日付	現在の時刻を表示します。

スケジュール	
サマータイム	サマータイム（日本で使用する場合は設定しないでください）
サマータイム	「オン」を設定した場合、以下で設定した「サマータイム」を実行します。
開始 月 日 時刻	サマータイムの開始月 / 日 / 時間を設定します。
終了 月 日 時刻	サマータイムの終了月 / 日 / 時間を設定します。
時差	「現在時刻」と「サマータイム」の時差を設定します。
オフタイマー	自動的に本機が電源待機状態になるまでの時間を設定します。設定可能時間は 1 時間～ 24 時間です。 お知らせ ・「オフタイマー」を「オン」にすると、スケジュールは動作しません。
リセット	「日付/時刻設定」と「サマータイム」以外のスケジュールの各設定が工場出荷時の状態に戻ります。

マルチ入力

マルチ入力	
マルチ画面モード * ¹ 保持	「マルチ画面」と「テキストティッカー」を電源オンまたは電源待機状態でも保持し、次回起動時にも再現する機能です。
マルチ画面モード * ¹ * ³	マルチ画面の表示形態を切り替えます。
マルチ画面	「オン」を選択した場合、「PIP」または「PBP」からマルチ画面の表示形態を選択します。 お知らせ ・「テキストティッカー」、「クローズドキャプション」、「タイルマトリクス」、「スクリーンセーバー」の「モーション」、「映像反転」のオフ以外、「入力切替」の「スーパー」は解除されます。
選択画面 * ¹ * ²	
選択	「マルチ画面」の中から画面を選択します。「マルチ画面」で「オフ」を設定した場合、「画面 1」が選択画面になります。
選択枠	「オン」を選択した場合、選択した画面に枠を表示します。
入力選択 * ³ * ⁵	「マルチ画面」の入力を設定します。
画面 1	お知らせ ・選択枠のある画面の入力を切り替える場合は、入力にカーソルを合わせ SET ボタンを押してください。
画面 2	
画面サイズ * ¹ * ² * ⁴	「選択画面」の画面サイズを調節します。 本体の ► ボタンまたはリモコンの CH + ボタンを押すと拡大し、本体の ◀ ボタンまたはリモコンの CH - ボタンを押すと縮小します。
画面位置 * ¹ * ² * ⁴	「選択画面」の表示位置を移動します。 ► ボタンを押すと画面の右へ移動し、◀ ボタンを押すと画面の左へ移動します。 ▲ ボタンを押すと画面の上へ移動し、▼ ボタンを押すと画面の下へ移動します。

*1：「スクリーンセーバー」の「モーション」、「映像反転」のオフ以外、「タイルマトリクス」、「FRAME COMP」のオフ以外、「入力切替」の「スーパー」が選択されている場合は動作しません。

*2：「テキストティッカー」がオフ以外または「マルチ画面モード」の「マルチ画面」が「オフ」の場合は動作しません。

*3：入力信号に「OPTION」を選択している場合は、対応するオプションボード装着時のみ設定可能です。対応可能なオプションボードについては販売店へお問い合わせください。

*4：「マルチ画面モード」の「マルチ画面」で「PIP」が選択されていて「選択画面」で「画面 1」が選択されている場合は動作しません。

*5：「入力切替」の「スーパー」または「テキストティッカー」でオフ以外が選択されている場合は動作しません。

マルチ入力	
アスペクト *1*2*4	「選択画面」の表示枠のアスペクトを設定します。 画像のアスペクトを変更する場合は OSD メニューの「映像設定」→「アスペクト」を設定してください。
テキストティッカー *1*3	「マルチ画面」の映像を、設定に応じてテロップ状に合成表示する機能です。マルチ画面の信号の一部を、表示する方向とサイズに合わせ、左上を基準にトリミングして親画面に合成表示します。表示する方向、位置、サイズ、マルチ画面の入力が無くなった場合の処理、画面 1、画面 2 の入力信号が設定できます。 お知らせ 「テキストティッカー」を「オフ」以外に設定すると、「マルチ画面モード」と「スチル機能」が「オフ」になります。 「テキストティッカー」動作時に「マルチ画面モード」、「タイルマトリクス」、「スクリーンセーバー」の「モーション」、「映像反転」でオフ以外、「入力切替」の「スーパー」、「クローズドキャプション」を実行すると「テキストティッカー」は解除されます。 「テキストティッカー」が動作している場合、「スチル機能」、「ポイントズーム」は選択動作しません。
モード	「テキストティッカー」の表示の有無および表示方向を設定します。
位置	▶ ボタンまたは ◀ ボタンでテキストティッカーの表示位置と表示サイズを設定します。
サイズ	
信号検出	「自動」を選択すると画面の入力信号があるときに「テキストティッカー」を表示します。
入力選択	「画面 1」または「画面 2」の入力信号を設定します。
入力信号検出 *6	複数の入力がある場合に、入力信号があるコネクタに自動的に切り替える機能です。選択されているコネクタはリモコンの DISPLAY ボタンを押すとインフォメーション OSD に表示されます。 お知らせ 「入力信号検出」の動作時に「人感センサー」を実行すると「入力信号検出」は解除されます。 「入力切替」で「スーパー」を選択している場合は機能しません。
オフ	入力端子を手動で切替えます。
FIRST DETECT *3*5	現在表示しているコネクタの入力信号が無くなった場合は、入力信号のある他の端子を探して自動的に切り替えます。 現在表示している端子とは別の端子から新たに信号が入力された場合でも、表示は切り替えません。
LAST DETECT *3*5	現在表示しているコネクタの入力信号が無くなった場合は、入力信号のある他の端子を探して自動的に切り替えます。 現在表示している端子とは別の端子から新たに信号が入力された場合は、表示を切り替えます。
CUSTOM DETECT *3	入力信号を自動で切り替えるときの優先順位を設定できます。 お知らせ 「CUSTOM DETECT」を選択すると、「優先順位」を設定していない入力信号には切り替えられません。 - スロット 2 タイプ PC オプション以外の場合、OPTION 入力端子は「優先順位」3 にのみ設定可能です。 「優先順位」1～3 で「DisplayPort1」を選択した場合、OPTION（スロット 2 タイプ PC オプション（DP）使用時）は選択できません。「優先順位」1～3 で OPTION（スロット 2 タイプ PC オプション（DP）使用時）を選択した場合、「DisplayPort1」は選択できません。

*1： ボタンを押すごとに映像入力を切り替えます。

*2： 「テキストティッカー」がオフ以外または「マルチ画面モード」の「マルチ画面」が「オフ」の場合は動作しません。

*3： 入力信号に「OPTION」を選択している場合は、対応するオプションボード装着時のみ設定可能です。対応可能なオプションボードについては販売店へお問い合わせください。

*4： 「マルチ画面モード」の「マルチ画面」で「PIP」が選択されていて「選択画面」で「画面 1」が選択されている場合は動作しません。

*5： 「入力切替」の「スーパー」または「テキストティッカー」でオフ以外が選択されている場合は動作しません。

*6： 機器によっては正しく検出できない場合があります。

マルチ入力	
入力切替	入力端子を切り替えるときの速さを設定します。 「高速」を選択すると、通常時より早く切り替えられます。切り替え時にノイズが出る場合があります。 「スーパー」を選択すると、選択した 2 つの入力端子のみを高速より速く切り替えます。 お知らせ 「スーパー」が設定されている場合、「マルチ画面モード」、「テキストティッカー」、「スチル機能」、「ポイントズーム機能」は動作しません。 - オプションボードの種類によっては「スーパー」は動作しません。 「高速」選択時に DisplayPort に入力を切り替えると画像が乱れる場合があります。 - HDMI 出力コネクタにケーブルを接続している場合、「高速」または「スーパー」設定時に入力信号を切り替えると映像が乱れることがあります。 - HDMI 出力コネクタにケーブルを接続している場合、入力切替の「高速」または「スーパー」は動作しない場合があります。
ターミナルモード	入力端子ごとの信号設定を選択します。
DVI モード	PC やその他のコンピューターと DVI 入力コネクタを使用して接続する場合、「DVI-PC」を選択します。 DVD プレーヤーと DVI 入力コネクタを使用して接続する場合、「DVI-HD」を選択します。
VGA モード	VGA 入力コネクタに接続している信号によって「RGB」または「YPbPr」を選択します。
SYNC TYPE	VGA(RGB) 信号の同期信号の種類を選択します。 自動：自動を選択した場合、同期信号の種類の自動判別をおこないます。 H/V SYNC：H/V SYNC 信号を入力していて「自動」で画像が乱れる場合は「H/V SYNC」を選択します。 SOG：SOG 信号を入力していて「自動」で画像が乱れる場合は「SOG」を選択します。 お知らせ 「VGA モード」で「YPbPr」を選択している場合、「SYNC TYPE」は設定できません。
DisplayPort	「DisplayPort1.1a」を選択した場合「SST」に自動的に設定されます。 「DisplayPort1.2」を選択した場合「SST」または「MST*」を選択します。 *：マルチストリームの使用には、マルチストリーム対応のビデオカードが必要です。マルチストリーム使用の際の制限については販売店にお問い合わせください。 DisplayPort2 入力の場合は「MST」は選択できません。
ビットレート	「DisplayPort1.1a」を選択した場合は「HBR」を自動的に設定します。 「DisplayPort1.2」を選択し「SST」を選択した場合は「HBR」または「HBR2」を選択します。 「DisplayPort1.2」を選択し「MST」を選択した場合は「HBR2」を自動的に設定します。
HDMI	HDMI 入力の機能を選択します。 設定 1：最大解像度 3840 x 2160 (30Hz) 設定 2：最大解像度 3840 x 2160 (60Hz)、HDCP 2.2 または HDR
ビデオレベル	表示する階調範囲を映像信号にあわせ、映像の白飛びや黒浮きを改善します。 ノーマル：コンピューター用の設定です。入力信号の 0 ～ 255 階調をすべて表示します。 エキスパンド：AV 機器用の設定です。入力信号の 16 ～ 235 階調を 0 ～ 255 階調に拡張して表示します。 自動：映像信号を検出し「ノーマル」と「エキスパンド」を自動的に切り替えます。 通常はこちらを選択してください。 お知らせ 入力信号が HDMI, DisplayPort または OPTION の場合のみ設定できます。
シグナルフォーマット HDMI1、HDMI2、 DisplayPort1、DisplayPort2、 OPTION 入力の場合のみ	HDMI/Displayport 入力時、信号の種類を RGB と色差から選択できます。通常は「自動」を選択してください。 お知らせ 「オプション」の「スロット 2 CH 設定」が「2CH」の場合、動作しません。
リセット	「入力信号検出」、「入力切替（入力 1、入力 2）」、「入力選択」、「アスペクト」、「ビットレート」以外のマルチ入力の各設定が工場出荷時の状態に戻ります。

OSD	
言語選択	OSD に使用する言語を選択します。
ENGLISH	
DEUTSCH	
FRANÇAIS	
ITALIANO	
ESPAÑOL	
SVENSKA	
РУССКИЙ	
中文	
日本語	
OSD 時間	OSD メニューを表示する時間の設定をします。 10 秒～ 240 秒の間で設定ができます。
OSD 位置	OSD メニューを表示する位置を調節します。 ▶ ボタンを押すと画面の右へ移動し、◀ ボタンを押すと画面の左へ移動します。 ▲ ボタンを押すと画面の上へ移動し、▼ ボタンを押すと画面の下へ移動します。
UP	
DOWN	
RIGHT	
LEFT	
インフォメーション OSD	インフォメーション OSD の表示および表示時間を設定します。「インフォメーション OSD」は 入力の切替えや入力信号の状態が変化したとき、または入力信号が異常なときに画面に表示され るメッセージです。 3 秒～ 10 秒間の表示時間設定ができます。
IP/ID 情報	「IP アドレス」と「モニター ID」設定の表示を「オン」/「オフ」で設定します。 表示される内容は OSD メニューの「マルチディスプレイ」→「ID コントロール」または「コ ントロール」→「ネットワーク情報」の設定です。
OSD 透過	OSD メニューを表示しているときに背景映像の透過をするかしないかを設定します。
OSD 方向	OSD メニューの表示方向を設定します。
ランドスケープ	横型設置した場合に見やすい方向で OSD メニューを表示します。
ポートレート	縦型設置した場合に見やすい方向で OSD メニューを表示します。
	お知らせ ・「ポートレート」が選択されている場合、「クローズドキャプション」は選択できません。
キーガイド	OSD メニューを表示しているときにキーガイドを表示する機能です。
	お知らせ ・「映像反転」が「オフ」以外で、「OSD 反転」が「オン」に設定されている場合は動作しません。
メモ	HTTP サーバーからお好みのタイトルと表示内容を設定できます。 詳細は本取扱説明書の「LAN コントロール」内の「MEMO 設定」を参照ください。
入力名称	現在表示中の入力端子名称を変更できます。アルファベット、数字、一部の記号が使えます。最 大文字数は 14 文字です。
クローズドキャプション (VIDEO 入力の場合のみ)	クローズドキャプションを設定します。
	お知らせ ・「クローズドキャプション」動作時に以下の機能を設定すると「クローズドキャプション」 は解除されます。 「マルチ画面モード」、「テキストティッカー」、「OSD 方向」の「ポートレート」、「タイルマ トリクス」、「スクリーンセーバー」、「スチル・ポイントズーム」、「入力切替」の「スーパー」
リセット	OSD の以下の設定が工場出荷時の状態に戻ります。 「OSD 時間」、「OSD 位置」、「インフォメーション OSD」、「OSD 透過」、「クローズドキャプション」

マルチディスプレイ

マルチディスプレイ

簡単タイルマトリクス設定

100 台までのディスプレイを使用して単一画面が表示できます。
親機で「水平モニター数」と「垂直モニター数」を入力することにより、マルチスクリーンを自動設定する機能です。以下の項目が自動設定されます。
「モニター ID」、「タイルマトリクス」、「タイルマトリクス設定保存」、「入力端子」、「ターミナルモード」の「DisplayPort」と映像出力の設定。
以下は LAN ケーブルによるマルチ接続の接続例です。マルチ接続については本取扱説明書の「マルチ接続について」を参照ください。

お知らせ

- 「AUTO ID」が実行されていない場合は、自動的に「AUTO ID」が実行されます。
- 「簡単タイルマトリクス設定」を使用するときは、DisplayPort ケーブルでのマルチ接続（数珠つなぎ）をおすすめします。
- 「簡単タイルマトリクス設定」の実行時に「スクリーンセーバー」の「モーション」を実行すると「簡単タイルマトリクス設定」は解除されます。

簡単タイルマトリクス設定例:

縦長設置

親機

ID : 7	ID : 6	ID : 1
7	4	1
ID : 8	ID : 5	ID : 2
8	5	2
ID : 9	ID : 4	ID : 3
9	6	3

横長設置

親機

ID : 1	ID : 2	ID : 3
1	2	3
ID : 6	ID : 5	ID : 4
4	5	6
ID : 7	ID : 8	ID : 9
7	8	9

設定コピー

現在制御中のディスプレイの設定値を LAN を使ってマルチ接続（数珠つなぎ）した他のディスプレイにコピーできます。
「コピー開始」で、「する」を選択し、本体の INPUT/SET ボタンまたはリモコンの SET ボタンを押すとチェックが付いている項目の設定内容がマルチ接続されている他のディスプレイすべてにコピーされます。
全入力信号にチェックを付けると、すべての入力端子に対する設定値がコピーされます。

お願い

- 設定コピーを使用するときは、LAN ケーブルでマルチ接続（数珠つなぎ）をしてください。

お知らせ

- 使用するケーブルにより接続可能台数は変わります。

コピー開始	「する」にカーソルを合わせ、SET ボタンを押してコピーを開始します。
全入力信号	すべての入力ターミナルの設定をコピーします。初期設定は「しない」です。

マルチディスプレイ	
タイルマトリクス	タイルマトリクスは画面を分割してマルチスクリーンで表示する機能です。また、画像を水平および垂直に最大 10 分割できます。 お知らせ 「タイルマトリクス」を実行しているときに、メディアプレーヤーの画像を再生すると、各ディスプレイは同期していないため、表示タイミングに差が生じることがあります。 - 分配器または DisplayPort 出力コネクタを使って、映像信号を各々のディスプレイへ接続する必要があります。「タイルマトリクス」動作時は、「マルチ画面モード」、「テキストティッカー」、「クローズドキャプション」、「スチル機能」、「ポイントズーム機能」は動作しません。 「アスペクト」で「ダイナミック」または「ZOOM」が設定されている場合、「フル」の設定になります。「タイルマトリクス」実行後は設定された「アスペクト」の表示に戻ります。 「タイルマトリクス」動作時に「アスペクト」の設定を「ダイナミック」または「ZOOM」に変更した場合、「タイルマトリクス」解除後に反映されます。 - 低い解像度の映像信号は多数のディスプレイを使用するマルチスクリーン表示には適していません。 - ポイントズーム機能の使用には制限があります。詳細は本取扱説明書の「ポイントズーム機能」を参照ください。 「タイルマトリクス」動作時に「スクリーンセーバー」の「モーション」または「映像反転」でオフ以外を実行すると「タイルマトリクス」は解除されます。 「スクリーンセーバー」の「モーション」動作時は「タイルマトリクス」は動作しません。 - 入力信号が HDMI 信号で 3840 × 2160 (60Hz) の場合、「タイルマトリクス」は動作しません。
水平モニター数	水平分割数を設定します。
垂直モニター数	垂直分割数を設定します。
位置	拡大したい部分を選択します。
TILE COMP	画面を複数のディスプレイに分割して表示する場合、より自然に見えるようにディスプレイのつなぎ目の表示方法を変更する機能を選択します。 ▶ ボタンまたは ◀ ボタンで表示画面の位置やサイズを微調節することもできます。
タイルカット	画像を分割し、その中の一部分を表示する機能です。 分割枠の大きさは「水平モニター数」「垂直モニター数」で設定します。 分割された画像から表示する部分を「位置」で選択します。 ▶ ボタンまたは ◀ ボタンで選択した枠の位置を調節し、表示部分を設定します。
タイルマトリクス実行	「する」を選択した場合、タイルマトリクスの各設定を適用します。
FRAME COMP	複数のディスプレイで 1 画面を表示した場合、表示した動画がより自然に見えるように画像表示タイミングを調節します。設定する数値が大きいくほど画像表示の調節量が大きくなります。 お知らせ - 電源を入れた時、または設定を変更したときに画像が乱れることがあります。 「垂直スキャン反転」で「自動」または「手動」が選択されている場合、「FRAME COMP」は機能しません。
オフ	「FRAME COMP」機能は動作しません。
自動	縦列に対し画像表示の調節を自動設定します。
手動	画像表示の調節量を個別に設定できます。(数値の単位 F はフレームの略称です。)
垂直スキャン反転	複数のディスプレイで 1 画面を表示した場合、動画がより自然に見えるように表示する画像のスキャン方向を反転させます。通常時のスキャン方向は上から下です。 お知らせ 「FRAME COMP」で「自動」または「手動」が選択されている場合、「垂直スキャン反転」は機能しません。
オフ	「垂直スキャン反転」は作動しません。
自動	縦列に対し画像のスキャン方向を自動算出し設定します。
手動	画像のスキャン方向を個別に設定できます。
通常	画像スキャン方向は通常と同様で、1 フレーム分画像表示タイミングを調節します。
反転	画像のスキャン方向を反転します。

マルチディスプレイ	
タイルマトリクス設定保存	お知らせ ・「スクリーンセーバー」の「モーション」または「映像反転」でオフ以外を実行すると「タイルマトリクス設定」は保存されません。
共通	「タイルマトリクス」での設定をすべての入力信号に適用します。
入力	「タイルマトリクス」での設定を個々の入力信号ごとに適用します。
ID コントロール	コントロール用の ID 番号を与えます。モニター ID 番号は 1 ～ 100、グループ ID 番号は A ～ J の間で選べます。 モニター ID 番号は以下の場合に使用します。 ・ リモコンを ID モードで使用する場合 ・ LAN を使ってマルチ接続（数珠つなぎ）をした場合 グループ ID 番号は LAN を使ってマルチ接続（数珠つなぎ）する場合に使用します。グループ ID 番号は 1 つのディスプレイに複数設定できます。 お知らせ ・ 「AUTO ID/IP 設定」、「AUTO ID/IP リセット」を実行中に主電源オフまたは電源待機状態にしないでください。
AUTO ID/IP 設定	「開始」を選択すると、「AUTO ID/IP 設定」の設定画面が表示されます。 マルチ接続（数珠つなぎ）をしているディスプレイ間にネットワーク機器を接続しないでください。
モード選択	「モニター ID」、「IP アドレス」、「ID and IP」から設定する項目を選択します。
モニター ID	設定中のディスプレイ以下のマルチ接続（数珠つなぎ）されているすべてのディスプレイにモニター ID が自動的に設定されます。 設定されていた「モニター ID」は上書きされます。グループ ID は変更されません。
IP アドレス	設定中のディスプレイ以下のマルチ接続（数珠つなぎ）されているすべてのディスプレイに IP アドレスが自動的に設定されます。 設定されていた「IP アドレス」は上書きされます。
ID and IP	「モニター ID」と「IP アドレス」を設定します。
先頭番号	親機のベース番号を 1 ～ 100 の間で設定します。親機のベース番号を基準にマルチ接続されているすべてのディスプレイのモニター ID を昇順に自動設定します。モニター ID の最大値が 100 となるため、マルチ接続されているすべてのディスプレイに設定されるモニター ID が 100 に納まるように親機のベース番号を設定してください。
BASE ADDRESS	BASE ADDRESS の第 1 オクテットから第 3 オクテットを設定してください。 第 4 オクテットはディスプレイが接続されている順にベース番号から昇順に自動設定します。 BASE ADDRESS はモード選択で「IP アドレス」もしくは「ID and IP」を設定したときのみ表示されます。
ID/IP 設定開始	「する」を選択した場合、マルチ接続されているすべてのディスプレイに対して「AUTO ID/IP 設定」が実行されます。
モニター検出数	モード選択を選択し ID/IP 設定開始を実行するとモニター検出数が表示されます。 接続台数と異なる場合は「リトライ」を選択し再度実行してください。 接続台数が正しい場合は「続ける」を選択してください。
AUTO ID/IP リセット	「リセット」を選択すると、「AUTO ID/IP リセット」の設定画面が表示されます。
リセットモード選択	「モニター ID」、「IP アドレス」、「ID and IP」からリセットする項目を選択します。 マルチ接続（数珠つなぎ）する台数を変更する場合は、「AUTO ID/IP 設定」の「モード選択」で選択した項目を「リセットモード選択」で選択してください。
ID/IP リセット開始	「する」を選択すると、リセットモード選択で選択した項目を初期値に戻します。 お知らせ ・ 「AUTO ID/IP リセット」を実行した場合、マルチ接続（数珠つなぎ）をしていても「モニター ID」や「IP アドレス」の設定は個々の設定になります。
モニター検出数	モニター ID が設定されたディスプレイの台数を表示します。
コマンド転送	「オン」を設定した場合、コマンドをマルチ接続（数珠つなぎ）しているディスプレイに転送します。 AUTO ID/IP リセットを実行すると、ディスプレイ間でのコマンド転送操作はできなくなります。
リセット	マルチディスプレイの各設定が工場出荷時の状態に戻ります。

保護設定

保護設定	
パワーセーブ	パワーセーブの「許可」/「禁止」を設定します。「有効」を設定した場合、入力信号が失われてから本機がパワーセーブに移行するまでの時間を設定することができます。パワーマネージメント機能については本取扱説明書の機能「電源オンモードと電源オフモード」を参照ください。 お知らせ ・「人感センサー」*¹で「オートオフ」または「CUSTOM」が選択されている場合、パワーセーブ機能は動作しません。 ・入力信号が無い場合でもビデオカードによっては信号を送り続けてしまうことがあります。この場合、パワーセーブに移行しません。
オートパワーセーブ 時間設定	オートパワーセーブに移行する時間を設定します。入力信号が失われ設定した時間が経過するとパワーセーブ機能が動作します。
パワーセーブメッセージ	パワーセーブに入るときに表示されるメッセージの表示 / 非表示を設定します。
ファン制御	冷却ファンの制御設定をおこないます。 「オン」を選択すると冷却ファンがファンスピードで設定された速さで常時動作します。 「自動」を選択すると内部センサー温度が設定温度以上になったときに、自動的に冷却ファンが動作します。 設定温度を超えたときのファンが回る速さを 2 種類から設定できます。 お知らせ ・冷却ファンは内部センサー温度が設定温度以上になったとき、またはファン制御で冷却ファン「オン」を選択したときに動作します。 ・内部センサー温度が動作保証温度以上になったときは、ファンは常に「高速」のスピードで回ります。
内部温度	冷却ファンの状態、内部温度の値を表示します。 お知らせ ・内部温度が動作保証温度以上になったとき、画面が暗くなります。この場合、画面上に「温度警告！！」の警告が表示されます。
スクリーンセーバー	「スクリーンセーバー」を設定します。 本機能は液晶パネルにかかる負担を軽減させるものです。
ガンマ * ² * ⁴	「オン」を選択すると残像になりにくいガンマに切替ります。(残像軽減機能)
バックライト * ²	「オン」を選択するとバックライトの明るさを自動的に下げます。 お知らせ ・「外光センサー」で「設定 1」または「設定 2」が選択されているときは動作しません。
モーション * ³	表示内容をわずかに上下左右に動かして、液晶パネルの残像を軽減させる機能です。 お知らせ ・「ターミナルモード」の「HDMI」が「設定 2」の場合、モーションは動作しません。 ・「スクリーンセーバー」が動作している場合、「マルチ画面モード」、「スチル機能」、「映像反転」、「テキスティブロッカー」、「タイルマトリクス」、「ポイントズーム機能」、「クローズドキャプション」は動作しません。 ・解像度 3840 × 2160 (60Hz) の信号を入力している場合、「スクリーンセーバー」は動作しません。

*1：別売のリモートコントロールキットのセンサーユニット接続時のみ。センサーユニットについては販売店にお問い合わせください。

*2：「SPECTRAVIEW ENGINE」が「オン」の場合、この機能は動作しません。

*3：入力信号に「OPTION」を選択している場合は、オプションボードの種類によっては設定できない場合があります。

*4：映像設定のガンマで設定した調整値をもとにした、残像軽減用ガンマを設定します。

保護設定	
サイドパネル	4:3 画面を表示した場合、両側の画像のない部分の色を調節します。 ▶ ボタンを押すと、白く（明るく）なり、◀ ボタンを押すと、黒く（暗く）なります。 メディアプレーヤーの背景の色も同期して変わります。
パワーオンディレイ	電源待機から電源オンモードになるまでの時間を設定します。
遅延時間	遅延時間は 0 ～ 50 秒の間で設定できます。
ID 連動	ID 連動で「オン」を選択すると、遅延時間がモニター ID と関連付けされます。 ID 番号が大きいほど、遅延時間が長くなります。
ALERT MAIL	有効にする場合は「オン」を選択してください。 詳細は本取扱説明書の機能「LAN コントロール」内の「メール通知設定」を参照ください。
リセット	「パワーオンディレイ」以外の保護設定の各設定が工場出荷時の状態に戻ります。

コントロール

コントロール	
ネットワーク情報	ネットワークの設定を表示します。
LAN	お知らせ LAN 設定を変更した場合は、設定が適用されるまで数秒かかります。
IP 設定	本機を接続するネットワークが、DHCP サーバーによって IP アドレスを自動的に割り当てる場合は、「自動」を選択します。自動的に割り当てられない場合は、「手動」を選択し、下の「IP アドレス」、「サブネットマスク」、および「デフォルトゲートウェイ」を設定してください。 お知らせ 「IP 設定」を「自動」にしている場合の IP アドレスは、ネットワーク管理者にご確認ください。
IP アドレス	「IP 設定」が「手動」の場合に、本機を接続するネットワークにおける本機の IP アドレスを設定します。
サブネットマスク	「IP 設定」が「手動」の場合に、本機を接続するネットワークのサブネットマスクを設定します。
デフォルトゲートウェイ	「IP 設定」が「手動」の場合に、本機を接続するネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。 お知らせ 設定を削除する場合は、[0.0.0.0] を設定します。
DNS	本機を接続するネットワークが DHCP サーバーによって IP アドレスを自動的に割り当てる場合は、「自動」を選択します。自動的に割り当てられない場合は「手動」を選択し、下の「優先 DNS サーバー」および「代替 DNS サーバー」を設定してください。 お知らせ 「DNS」を「自動」に設定している場合の IP アドレスは、ネットワーク管理者にご確認ください。
優先 DNS サーバー	本機を接続するネットワークの優先 DNS サーバーの IP アドレスを設定します。 お知らせ 設定を削除する場合は、[0.0.0.0] を設定します。
代替 DNS サーバー	本機を接続するネットワークの代替 DNS サーバーの IP アドレスを設定します。 お知らせ 設定を削除する場合は、[0.0.0.0] を設定します。
パスワード変更	セキュリティ機能のパスワードを変更します。パスワードの初期値は「0000」です。

コントロール	
セキュリティ	セキュリティ機能を設定します。 お知らせ セキュリティ機能は本機の画面表示を制限するためのものであり、本機への入力信号および、本機に接続されている外部機器に対するアクセスやウィルス侵入などを制限、防止するものではありません。
パスワード	パスワードを入力します。
SECURE MODE	
オフ	セキュリティ機能のパスワードを要求しないようにします。
START-UP LOCK	主電源オン時にセキュリティ機能のパスワードを要求します。
CONTROL LOCK	本体のボタンまたはリモコンのボタンを押したときにセキュリティ機能のパスワードを要求します。
BOTH LOCK	主電源オン時または、本体やリモコンのボタンを押したときにセキュリティ機能のパスワードを要求します。
リモコンロック設定	リモコンのボタン操作をロックする機能です。 お知らせ 「リモコンロック設定」はリモコンのボタンロック機能です。本体コントロールパネルのボタン操作を制限する機能ではありません。 - リモコンの DISPLAY ボタンを 5 秒以上押し続けると、すべてのリモコンボタン操作が有効になります。
モード選択	モード選択で「UNLOCK」、「ALL LOCK」または「CUSTOM LOCK」を選択します。「実行」を選択すると設定が反映されます。
UNLOCK	すべてのリモコンボタンの操作が可能です。
ALL LOCK	すべてのリモコンボタンの操作がロックされます。
CUSTOM LOCK	電源、音量、入力の各ボタン操作を個別にロックすることができます。他のボタンの操作はロックされます。 電源： 「無効」を選択した場合、POWER ON ボタンがロックされます。 音量： 「有効」を選択した場合、VOL + ボタンと VOL - ボタンは動作します。最小音量と最大音量に設定した範囲内で、音量の調節ができます。「無効」を選択すると、VOL + ボタンと VOL - ボタンはロックされます。 入力： 「有効」を選択した場合、動作する入力切替ボタンを選択します。DVI、HDMI1、HDMI2、DisplayPort1、DisplayPort2、VGA (RGB/YPbPr)、VIDEO、MEDIA PLAYER、OPTION の中から 3 つまで選択することができます。「無効」を選択すると、すべての入力切替ボタンがロックされます。 チャンネル： 無効を選択し実行を選択すると CH + ボタン、CH - ボタンがロックされます。

コントロール	
キーロック設定	本体にあるボタン操作をロックする機能です。 お知らせ ・「キーロック設定」は本体のボタンロック機能です。リモコンのボタン操作を制限する機能ではありません。 ・コントロールロックモード機能により、ボタンをさわっても調節した画面が変わらないように操作ボタンをロックします。本体の▽ボタンと△ボタンを同時に 3 秒間以上押すと「ALL LOCK」が設定されます。本体の▽ボタンと△ボタンを再度同時に 3 秒間以上押すとロックを解除します。
モード選択	モード選択で「UNLOCK」、「ALL LOCK」または「CUSTOM LOCK」を選択します。「実行」を選択すると設定が反映されます。
UNLOCK	ボタンの操作を有効にします。
ALL LOCK	すべてのボタンの操作がロックされます。
CUSTOM LOCK	電源、音量、入力の各ボタン操作を個別にロックすることができます。他のリモコンボタンの操作はロックされます。 電源： 「無効」を選択した場合、 ボタンがロックされます。 音量： 「有効」を選択した場合、本体の▶ ボタンと◀ ボタンは動作します。最小音量と最大音量に設定した範囲内で、音量の調節ができます。「無効」を選択すると、本体の▶ ボタンと◀ ボタンはロックされます。 入力： INPUT/SET ボタンの有効 / 無効を設定します。 チャンネル： 無効を選択し実行を選択すると、本体の△ボタンと▽ボタンをロックします。
DDC/CI (DisplayPort2、DVI、VGA(RGB) 入力の場合のみ)	本機とコンピューターでの設定情報のやり取りを「許可」、「禁止」するかを選択します。
PING	
IP アドレス	PING を送る「IP アドレス」を設定します。
実行	設定した「IP アドレス」に対して PING を送信し、返答の有無を確認します。
IP アドレスリセット	「IP アドレス」の設定が工場出荷の状態に戻ります。

コントロール	
オートデミング	画面の明るさを自動的に調節する機能です。
オートブライトネス *2 (DVI、DisplayPort1、DisplayPort2、VGA (RGB)、MP、OPTION*3 入力の場合のみ)	映像内容に応じて画面の明るさを自動的に調節する機能です。 お知らせ ・「外光センサー」で「オフ」以外が選択されているときは動作しません。
バックライトデミング *2	「オン」を選択すると、映像内容に応じてバックライト制御を細分化し、画面の明るさを自動的に調節します。 「オートブライトネス」で「設定 2」が選択されているときは動作しません。
外光センサー *1*2	本機は周囲の明るさを検知するセンサーを搭載しており、室内の明るさに応じて画面の明るさを自動的に調節する機能をもっています。 「設定 1」または「設定 2」を選び、それぞれのモードにおいて、バックライトの最大値、明るいときと暗いときのバックライト値を設定します。 最大値： バックライトの調節範囲の最大値を設定します。 明るい時： 室内が明るい状態でのバックライト値 暗い時： 室内が暗い状態でのバックライト値 設定 1 または設定 2 に設定すると、室内の明るさの状態に応じてディスプレイの明るさを自動的に調節します。図はそのイメージです。 工場出荷時の状態 「暗い時」でのバックライト設定値 暗い時 明るい時 室内の明るさ 暗い 明るい 「設定 1」によるディスプレイのバックライトの値 ——— 「設定 2」によるディスプレイのバックライトの値 お知らせ ・「外光センサー」を設定すると、「バックライト」、「オートブライトネス」および「スクリーンセーバー」のバックライト機能は動作しません。 ・「オートブライトネス」で「オフ」以外が選択されているときは動作しません。 お願い ・「外光センサー」選択時には、センサーが障害物の陰にならないよう注意してください。
人感センサー *2	人感センサーによる省電力機能を選択します。 お知らせ ・「人感センサー」で「オートオフ」または「CUSTOM」が選択されている場合、パワーセーブ機能は動作しません。 ・「人感センサー」動作時に「入力信号検出」を実行すると「人感センサー」は解除されます。
オフ	「人感センサー」を使用しません。
オートオフ	人が離れたことを感知し、設定した時間が経過すると、自動的にパワーオフの状態になります。人を感知すると元の状態に復帰します。
CUSTOM	人が離れたことを感知し、設定した時間が経過すると、自動的に画面の明るさと音量がバックライト、音量で設定した数値になります。人を感知すると明るさと音量は元の状態に戻り、入力選択で設定した入力信号が表示されます。

*1：「SPECTRAVIEW ENGINE」が「オン」の場合、この機能は動作しません。

*2：別売のリモートコントロールキットのセンサーユニット接続時のみ。センサーユニットについては販売店にお問い合わせください。

*3：対応するオプションボード装着時のみ。対応可能なオプションボードについては販売店へお問い合わせください。

コントロール	
電源ランプ	
電源ランプ	「オフ」を選択すると電源ボタン入（青色点灯）のとき、電源ランプを消灯することができます。
スケジュールランプ	「オフ」を選択するとスケジュール待機時（緑色と橙色交互の点滅）のランプを消灯することができます。
NETWORK FUNCTIONS	ネットワーク経由でおこなう機能の「有効」 / 「無効」を設定します。 DISPLAY：ディスプレイを制御する機能の「有効」 / 「無効」を設定します。 無効に設定すると以下の機能が無効になります。 外部制御、メール通知、マルチ接続機能、HTTP サーバー機能、SNMP、AMX、PJLink お知らせ - 無効に設定した場合、マルチ接続機能を用いたディスプレイの操作ができなくなります。 無効にする際はご注意ください。 MEDIA PLAYER：MEDIA PLAYER のネットワーク機能の「有効」 / 「無効」を設定します。 無効に設定すると「共有フォルダ」、「共有 SD カード」が無効になります。 APPLY で「YES」を選択すると設定した内容が反映されます。 お知らせ - ネットワーク経由でファームウェアのリビジョン更新をおこなう際は、「DISPLAY」と「MEDIA PLAYER」を有効にしてください。
USB	
タッチパネル電源 (本機は動作しません)	
外部制御	USB2 ポートに接続した専用ソフトウェアをインストールした PC からのディスプレイの制御を「許可」 / 「禁止」にする機能です。
PC ソース	USB1 (SENSOR) ポートに接続した USB 周辺機器と本機を制御する機器を選択します。制御する機器を固定する場合は「外部 PC」または「OPTION」を選択します。 「OPTION」はオプション用スロットにスロット 2 タイプ PC オプションが接続されているときのみ設定できます。
USB 電源	USB CM1(2A) ポートへの電源供給の設定ができます。 電源を供給する場合は「オン」を選択してください。 お知らせ 接続している USB 機器により消費電力は変わります。

コントロール	
CEC	HDMI CEC 対応機器を本機に接続する場合に設定します。HDMI2(CEC) ポートに機器を接続してください。 CEC は Consumer Electronics Control の略称です。
CEC	「設定 1」または「設定 2」を選択すると HDMI コネクタに接続した HDMI CEC 対応機器をリモコン（オプション）で操作することができます。オンを選択した場合、以下の項目を設定します。 お知らせ CEC で「設定 1」または「設定 2」を選択すると以下の動作を実行します。接続する機器によっては正しく動作しない場合があります。 ・ HDMI コネクタに接続している HDMI CEC 対応機器を再生すると、本機の電源が連動してオンし入力信号を HDMI に切り替えます。本機の電源がオンの場合は、入力信号を HDMI に切り替えます。 ・ リモコン（オプション）で HDMI 2 (CEC) コネクタに接続している HDMI CEC 対応機器を操作することができます。
自動電源オフ	本機をリモコンの STANDBY ボタンまたは本体の  ボタンで電源待機状態にしたときに接続している HDMI CEC 対応機器の状態も連動して電源待機状態にします。 お知らせ ・ 接続している HDMI CEC 対応機器が録画など作動中の場合は本機の状態に連動しない場合があります。
オーディオレシーバー	HDMI CEC 対応音声機器を接続する場合、本機と本機に接続する HDMI CEC 対応機器の間に HDMI CEC 対応音声機器を接続してください。 「する」を選択した場合は、接続した HDMI CEC 対応音声機器から接続している HDMI CEC 対応機器の音声を出力し、本機の外部スピーカーはミュート（消音）となります。 「しない」を選択した場合は、本機の外部のスピーカーから接続している HDMI CEC 対応機器の音声を出力し、接続している HDMI CEC 対応音声機器はミュート（消音）となります。 お知らせ ・ HDMI CEC 対応音声機器を接続していない場合は「しない」を選択してください。
デバイス検索	本体の HDMI コネクタに接続されている HDMI CEC 対応機器を検索します。 「する」を選択すると接続されている HDMI CEC 対応機器を検索し、その種類と登録名称を表示します。 検索が完了した場合または検索できなかった場合はデバイス検索の選択が「しない」に移動します。再度検索をおこなう場合は「する」を選択してください。検索後に表示されるデバイスを選択することで入力を切り替えることができます。
リセット	「LAN」、「パスワード変更」、「セキュリティ」、「PING」以外のコントロールの設定が工場出荷時の状態に戻ります。

オプション

オプション	
オプション電源	オプション用スロットに接続されている機器への電力供給を設定します。 オン： 本機がパワーセーブモードまたは電源待機状態のときでもオプション用スロットに接続されている機器に電力を供給します。 オフ： 本機がパワーセーブモードに移行した場合には、オプション用スロットに接続されている機器に電力は供給されません。 自動： オプション用スロットに機器が接続されている場合は、本機がパワーセーブ、電源待機時でもオプション用スロットに接続されている機器に電力を供給します。オプション用スロットに機器が接続されていない場合は、本機がパワーセーブモードに移行した場合に、オプション用スロットに接続されている機器に電力は供給されません。 お願い ・ スロット 2 タイプオプションからの入力が無くなったときにパワーセーブ機能を使用する場合は、「自動」または「オン」に設定してください。

オプション	
音声 * ¹	デジタルを選択すると、音声入力をデジタル入力に切り替えることができます。スロット 2 タイプオプションの音声出力の仕様に合わせて設定してください。設定を有効にするためには、「入力」を「OPTION」、「音声入力」を「OPTION」に設定してください。 お知らせ デジタルの設定は、「入力」に「OPTION」、「音声入力」に「OPTION」が設定されている場合のみ有効となります。
INTERNAL PC * ¹	オプション用スロットにスロット 2 タイプ PC オプションが接続されているときのみ設定できます。
OFF WARNING	オプション用スロットに接続されているスロット 2 タイプ PC オプションへの電力供給が無くなるときにメッセージを表示するかどうかを設定します。「オプション電源」が「オフ」の時のみ設定できます。
オートオフ	オプション用スロットに接続されているスロット 2 タイプ PC オプションを電源待機状態にしたり、パワーセーブモードになるときに本機も同期してオフするかどうかを設定します。 お知らせ オートオフを「オン」に設定した場合、オプション用スロットに接続されているスロット 2 タイプオプションの電源がオンされても、本機の電源は自動的にオンになりません。
START UP PC	「する」を選択するとオプション用スロットに接続されているスロット 2 タイプ PC オプションを起動します。
FORCE QUIT	「する」を選択するとオプション用スロットに接続されているスロット 2 タイプ PC オプションの電源を強制的に切ります。オペレーティングシステムの問題などにより、手動で電源を切ることができない場合のみ使用してください。
スロット 2 CH 設定	スロット 2 タイプオプションの DisplayPort および TMDS の 2 系統の映像信号を表示できます。装着しているスロット 2 タイプオプションの仕様により画面表示を設定します。
自動	接続されたスロット 2 タイプオプションに合わせ、自動的に設定されます。
CH1	「スロット 2 CH 選択」で選択された映像信号を全画面に表示します。
CH2	左画面に DisplayPort、右画面に TMDS の映像信号を表示します。どちらかの入力信号がない場合、入力のある信号が自動的に全画面に表示されます。
スロット 2 CH 選択	「スロット 2 CH 設定」が「CH1」の場合のみ設定可能です。
DisplayPort	スロット 2 タイプオプションの DisplayPort 信号を全画面に表示します。
TMDS	スロット 2 タイプオプションの TMDS 信号を全画面に表示します。
リセット	オプションの各設定の「音声」のみが工場出荷時の状態に戻ります。

*1： オプション用スロットに対応するオプションボードが装着されているときのみ設定できます。対応可能なオプションボードについては販売店にお問い合わせください。設定を変更した場合は、本機の主電源を入れなおしてください。

システム

システム	
モニターインフォメーション	モデル名、シリアルナンバー、CO₂ 削減量、CO₂ 排出量を表示します。CO₂ 削減量は電源オン時およびパワーマネージメント機能動作時の積算した省エネ効果を CO₂ 削減量 (kg-CO₂) で表示します。CO₂ 排出量は計算によって求めた概算値であり、実測値とは異なります。またオプション機器を接続していない場合の計算値です。 注： CO₂ 削減量は、OECD(経済協力開発機構)2008 年 Edition の世界標準 CO₂- 電力量換算値に基づいて算出しています。
ファームウェア	ファームウェアのバージョンを表示します。
MAC アドレス	MAC アドレスを表示します。
オールリセット	すべての設定が工場出荷の状態に戻ります。 リセット完了後、主電源を入れ直してください。 お知らせ リモコンの設定によってはすべてのマルチ接続されているディスプレイに同時に機能が実行される場合があります。オールリセットの実行には特にご注意ください。すべてのマルチ接続されているディスプレイでオールリセットが実行された場合、再度接続を有効にするためにはすべてのディスプレイで再設定が必要となります。

付録 C その他

保証とアフターサービス

■ 製品の保証について

この製品には保証書がついています。保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡ししますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。

保証期間はご購入の日から3年間です（ただし、光源のLEDバックライトは消耗品ですので、保証の対象になりません）。

保証期間中でも修理は有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

保証書が適用される範囲は、製品のハードウェア部分に限らせていただきます。

修理の際の取り外し、再設置に要する費用は、別途お客様負担となります。

製品のハードウェア部分に起因しない不具合について復旧作業を行う場合は、別途作業費を申し受けます。

■ 補修用性能部品について

当社は、原則として、本製品の補修用性能部品を製造打切後、5年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。

■ 修理を依頼されるときは（出張修理）

先に「故障かな？と思ったら」（100ページ）をお読みのうえ、もう一度お調べください。それでも異常があるときは、使用をやめて、電源コードをコンセントから抜き、ご購入のの販売店またはもよりのお客様ご相談窓口（セットアップマニュアル）にご連絡ください。ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

ご連絡していただきたい内容

- ・品名：インフォメーションディスプレイ
- ・形名：PN-UN553S / PN-UN553V
（取り付けている別売品があれば、その形名も連絡ください。）
- ・ご購入日（年月日）
- ・故障の状況（できるだけ具体的に）
- ・ご住所（付近の目印も併せてお知らせください。）
- ・お名前
- ・電話番号
- ・ご訪問希望日

保証期間中

保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

アフターサービスについてわからないことは、ご購入の販売店またはもよりのお客様ご相談窓口（セットアップマニュアル）にお問い合わせください。

シャープ株式会社

本社 〒590-8522 大阪府堺市堺区匠町1番地

●住所などは変わることがあります。(2025.8)

PN-UN553S-UN553V M JA25H(1)